ELF CORPORATION 監修
for Windows 95/98
リフレインブルー
完全ガイド
Refrain Blue
Perfect Guide
ASOCOM BOOKS

# [リフレインブルー] 気付いた人だけのカバー内 修羅場だより

門井亜矢

※1 小林さん…背景担当の人

原画
原画描いてるときはねー
かわいくなれーかわいくなれーって呪いかけて描いてね
出来上がったらね、自分で
天才!!
これ、すごく可愛いー♥
とか言ってつけ上がんの
グラフィックその①
ばっかじゃねーの?

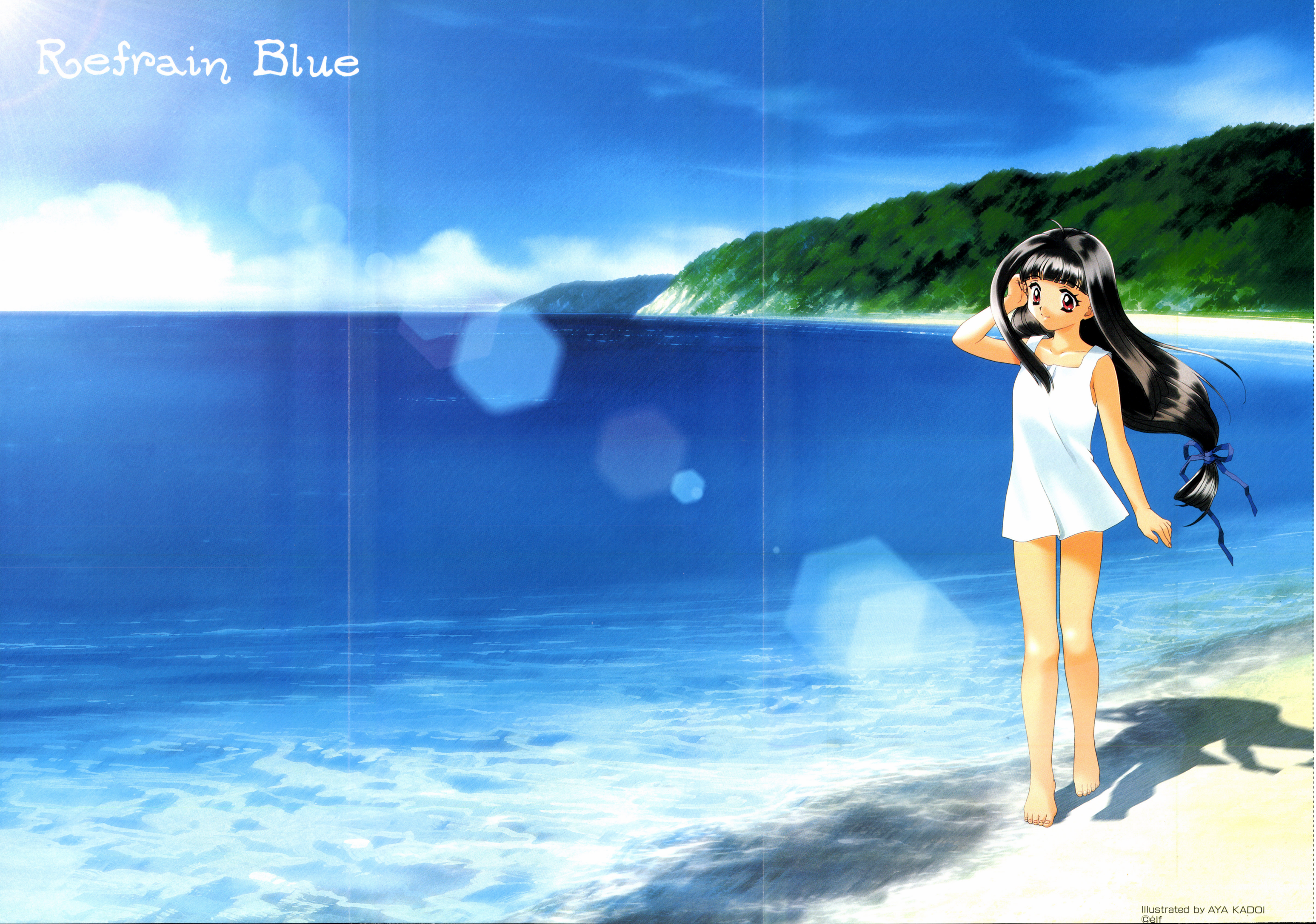
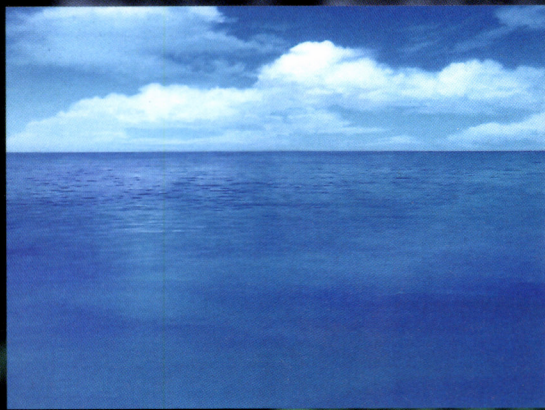
自分でほめながらやんの変かなー
は?自分もそうですよ

天才!!
いやーオレしか出来ないでしょー
ーとかいってやるの
はっはっはっは、
グラフィックその②
ほらみろいるじゃん
えー!?

オレはよくやったよ…
もういいだろ…?
えらいよ…
うん
うん
プログラマー
…
みんななにかにすがって生きてるようだ。

Illustrated by AYA KADOI/CG work by élf

CHINATSU SHIZUKU NAO TSUGUMI

Refrain Blue
Illustrated by AYA KADOI
©elf

海はどうして、繰り返すんだろうね。

繰り返して寄せる波……
幾たびも巡る夏……

どうして、繰り返すんだろうね。

それは呼んでいるから。
それは待っているから。

リフレインブルー　完全ガイド

# Refrain blue Perfect Guide

ASOCOM VISUAL COMPLETEBOOK●09

Refrain Blue
PERFECT GUIDE

# CONTENTS

# Prologue

…波の音が聞こえる。
繰り返して寄せる波の音。
俺は閉じていた瞼を、ゆっくりと開いた。
目の前にあるのは、波打ち際の光景。
俺はしゃがみ込んで、夏の日射しを背中に浴びながら、
波の寄せる様子を見つめていた。
白い泡になりながら、渚を洗う波。
ときに唸るような音と共に、大きな波が寄せてきて、
俺の足元を洗い流していく。
もうすっかり、靴の中までぐしょ濡れだった。
でも、そんなことも気にはならない。
どうでもよく思えた。
今はただ、ひとりでいたいような気分だった…。

~After 7years~

# 蜻蛉海岸
［かげろうかいがん］

## すべては、この海から リフレインする……

いちばん近い町まで、車で1時間。ただ静かに波が打ち寄せるこの海辺に、夏はまた訪れる……。
ある面影を追想しつつ、この夏だけの想い出を砂の上に刻みこんでいこう。

### 山道
片道約2時間の頂上はY字の大木が目印。虫さされに注意

### コスモス畑
海原をのぞむ一面のコスモス畑。風に揺れる情景は幻想的

### 岩場
自分だけの海を見ることができそうな、隠れ家的スポット

### 西の海岸
弓状に広がる白い砂がまぶしい、太陽の光があふれる海岸

### 岬
草の匂いと風を感じながら眼下に海を見渡せる絶好の場所

※掲載しているマップは、編集部が独自に想定したものであり、ゲーム中の設定とは必ずしも一致しませんので、あらかじめご了承ください。

### 松原の小径
寮から東の海岸へ続く道。落ちた松葉を踏みしめて歩こう

### 林
寮の裏手に広がる林。早朝の散歩には、もってこいの場所

### 東の海岸
人気のない静かな海岸。西側とは違い、青黒い砂が特徴的

### バス停
今は使われることのなくなってしまった、錆ついたバス停

### 宿の跡
荒れ果て、老朽化した旅館の跡。観光地だったのも今は昔

# 天山荘
「てんざんそう」

窓辺から、闇の覆い尽くす外の様子を眺める。
でも見えるのは、真っ黒な木立ちばかり。
この寮を除き、他にまったく建物のないこの海辺は、
夜になると真っ暗になってしまうのだ。

## Floor 1

緑に囲まれた2階建ての寮。花壇には、季節ごとに花が咲き乱れる。

A 広場

B 炊事場

C 寮の裏

D 食堂

F 浴室

H 庭

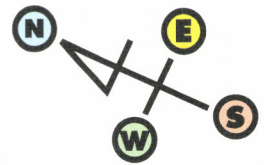
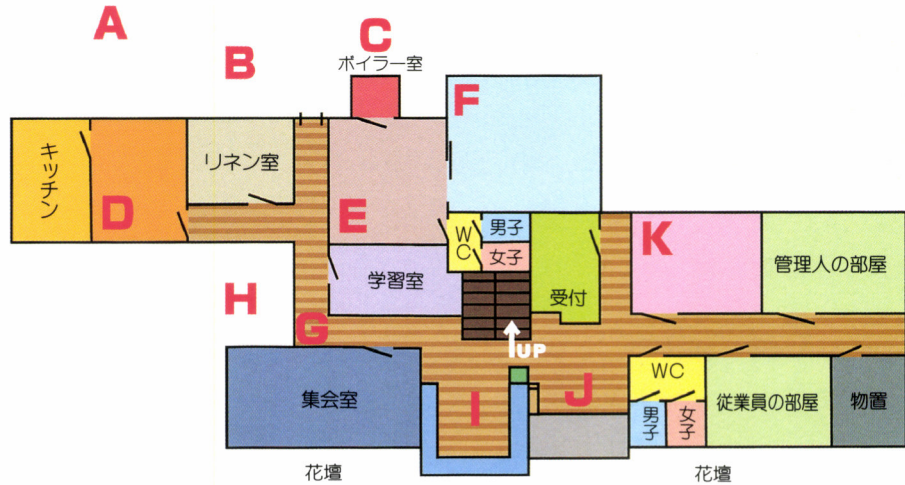
※掲載しているマップは、編集部が独自に想定したものであり、ゲーム中の設定とは必ずしも一致しませんので、あらかじめご了承ください。

E 脱衣場

G 廊下

I ラウンジ

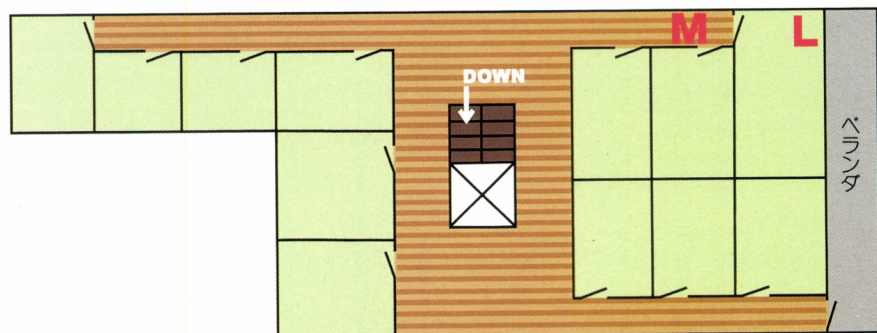
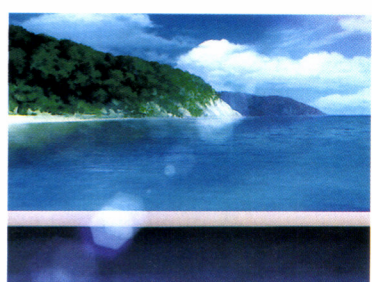
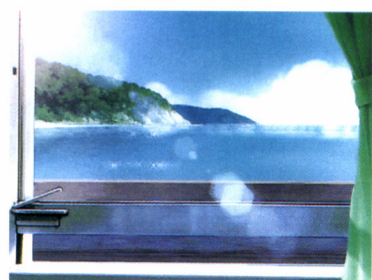
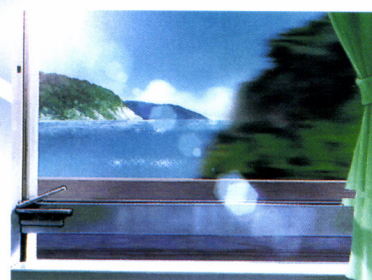
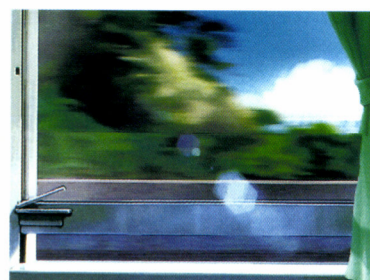
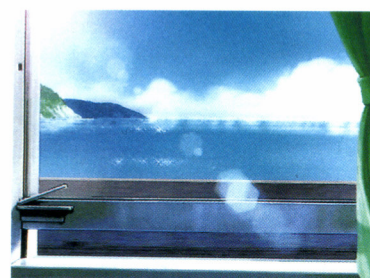
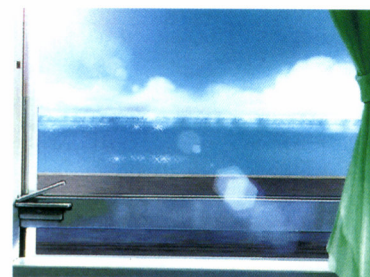
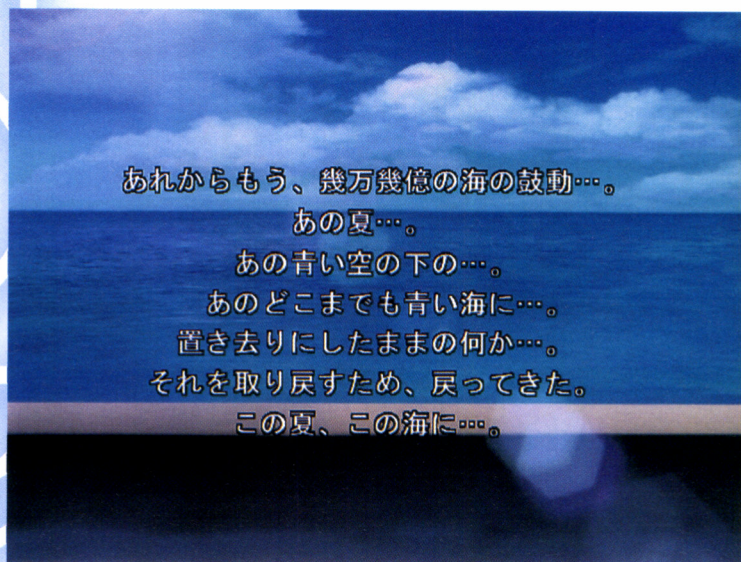
J 玄関

K 由織の部屋

## Floor 2

主人公が使っている来賓室があるのが、2階。林からの心地よい涼風が吹き抜ける。

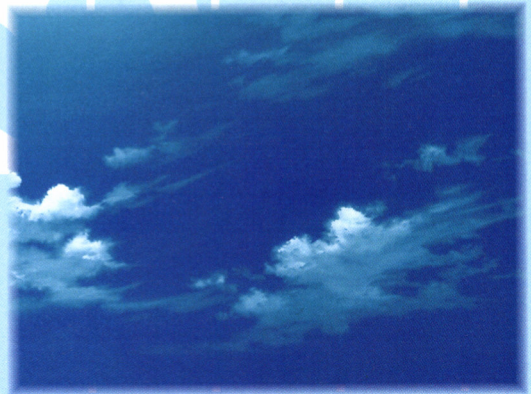
L 主人公の部屋

M 廊下

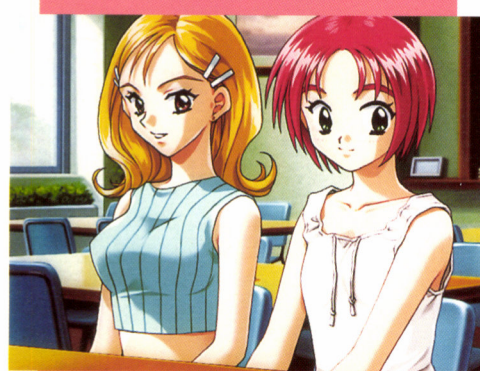
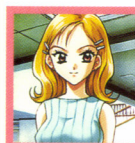
A STORY

寂れた海岸、真新しい寮。
水泳、飯ごう炊さん、山登り。
突然降りだした雨。
流されてったビーチサンダル。
草笛。
風鈴。
線香花火……。

## 7度目の夏、想い出の海……。

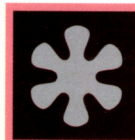
7年前の運命の出会いの場所「蜻蛉海岸」。時を経て、バス会社の添乗員となった主人公「松永善博」は、東陽学園の生徒たちと、想い出のあの海辺で夏を過ごすことになった……。

そこで彼を待っていたのは、すっかり寂れたこの地に伝わる織姫と彦星の伝説、夜ごと見る不思議な夢、変わらない海…。そして新たな出会いの中、波の音とともに過去への想いは静かに、強くくり返す。……追憶の夏の中で微笑んでいる面影。いまだ悲しい恋の傷を抱えたままの主人公は「愛する心」を取りもどし、真実の「運命」を見つけることができるのだろうか…。

遙か広がる、夏の空。
その青さに、自ずと目を細める。
本物の青空というのは、目に染みてくるものなのだ。
すっきりと澄み渡った空は、今日も訪れるであろう、
夏の暑さを予期させる。

# Refrain:one

**［キャラクター編］**

蜻蛉海岸の青い風に吹かれて、さまざまな表情を見せるキャラクターたち。彼女たちの「夏の想い出」の１ページはここから…。

## Relation Characters

### 杉野治美

ちなつの演劇部の先輩。幼い頃からのつきあいのふたりは、姉妹のような関係。ちなつのワガママな言動をたしなめる。

### 森先生

サマースクールを引率している、東陽学園の体育教師。ちなつに目をつけ「パパになってあげる」とせまるが…⁉

### 津賀島つぐみ

砂浜でちなつと治美に声をかける関西弁の少女。ちなつをモデルに撮影をする彼女は、ある人物から何かを依頼されて…。

「ねえねえ、ねえねえ」
「添乗員さんも、ちなつみたいな妹が欲しい？」
「じゃあ、ちなつが添乗員さんの妹になってあげる」
「これからは添乗員さんのこと、『おにーさん』って呼ぶことにするね」
「あははっ、じゃあ決まりだね！」
「おにーさん！」
「ううん、試しにちょっと言ってみただけ！」

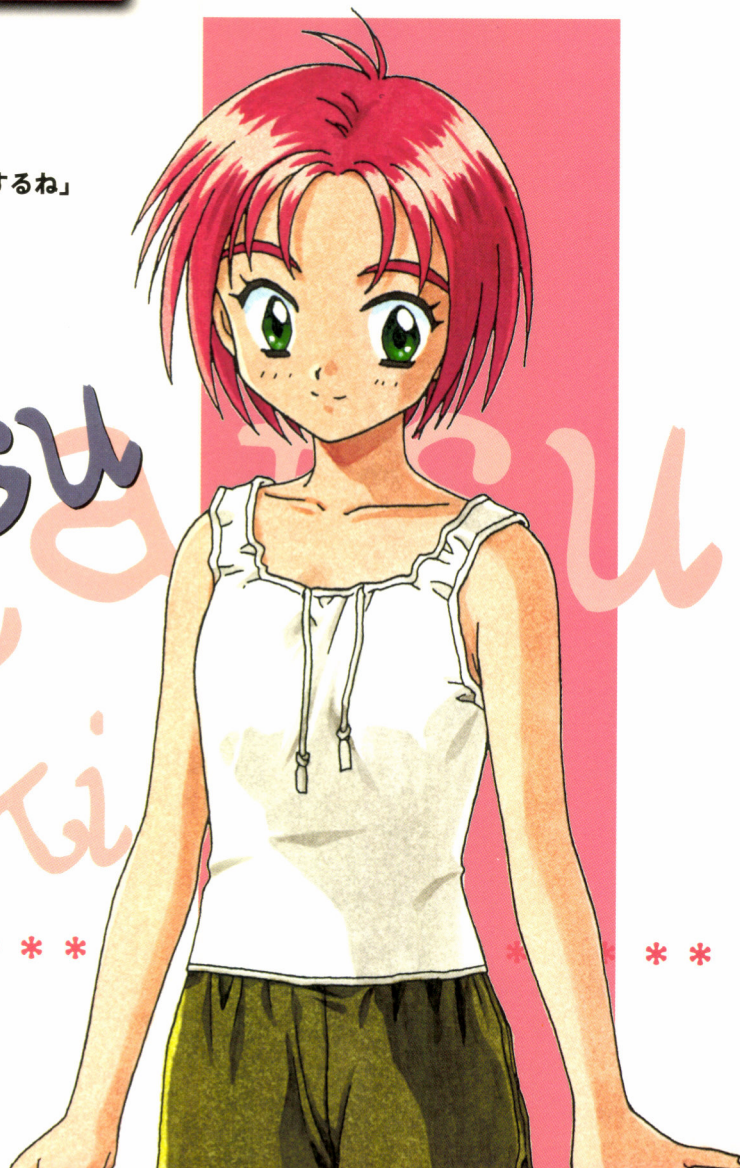
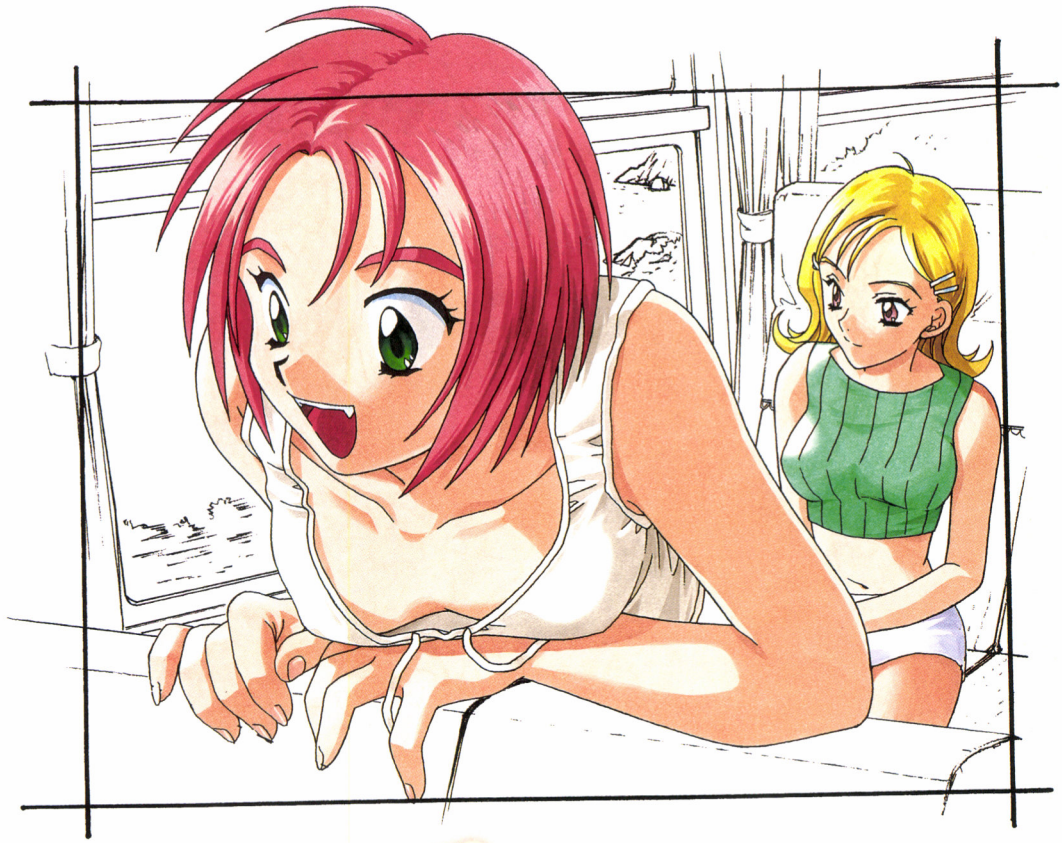
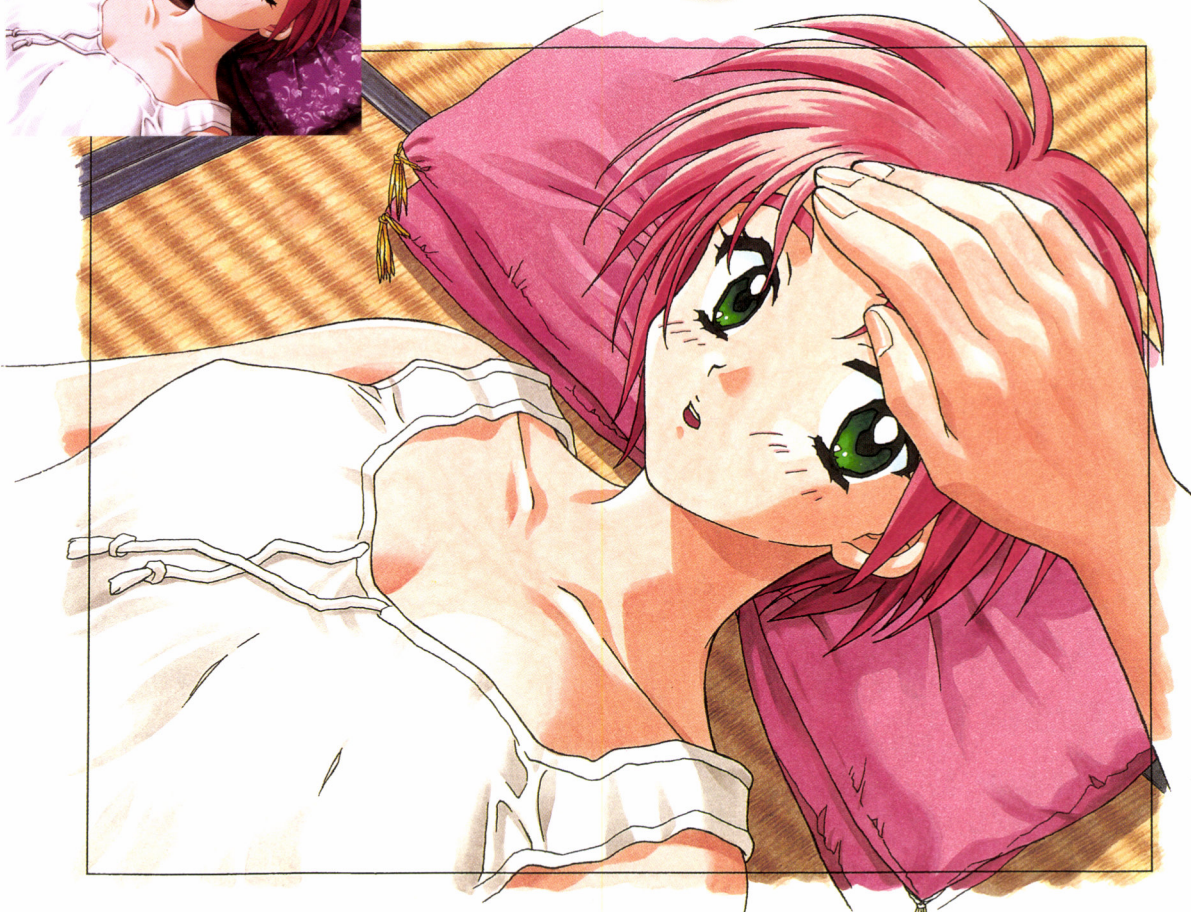
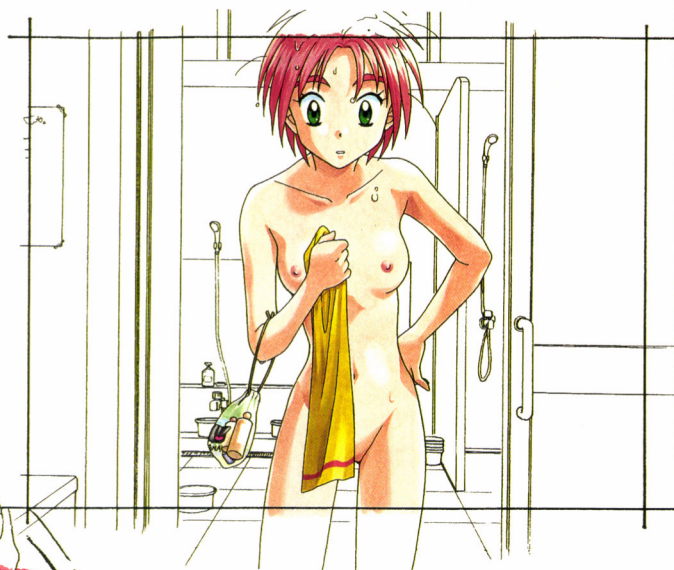
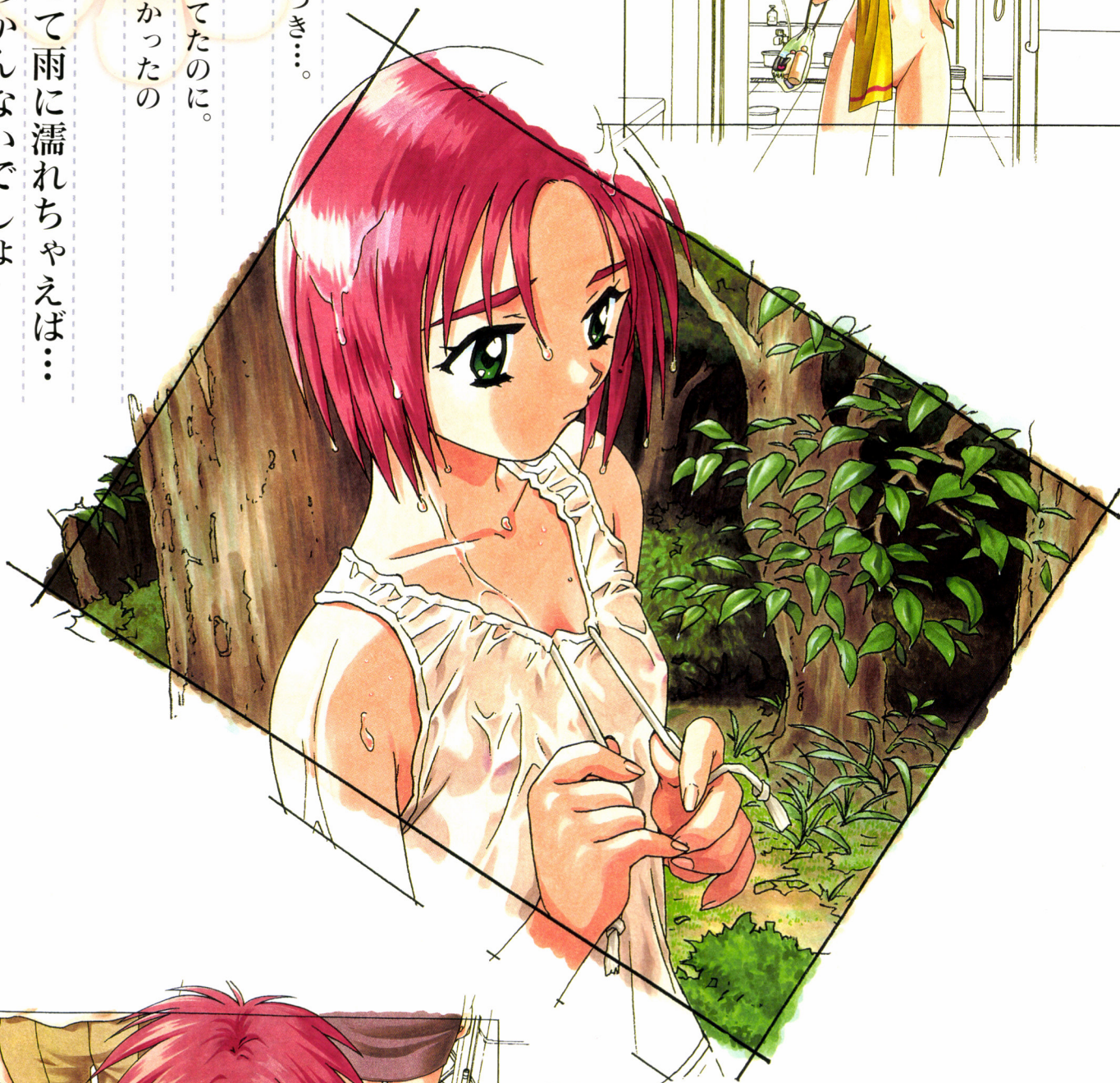
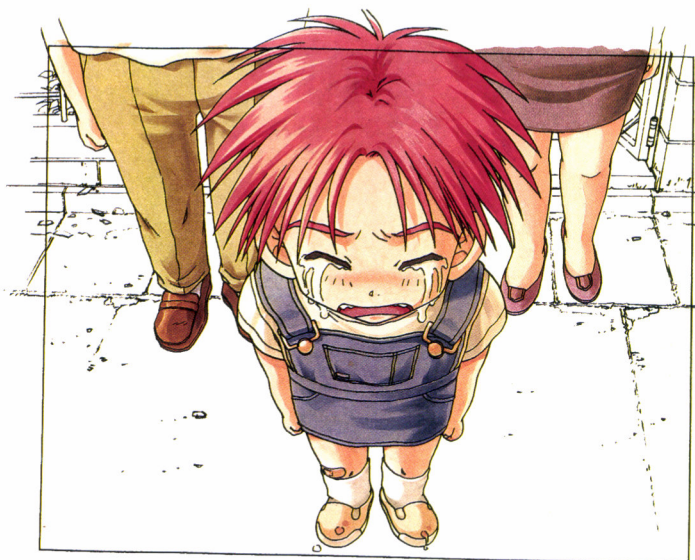
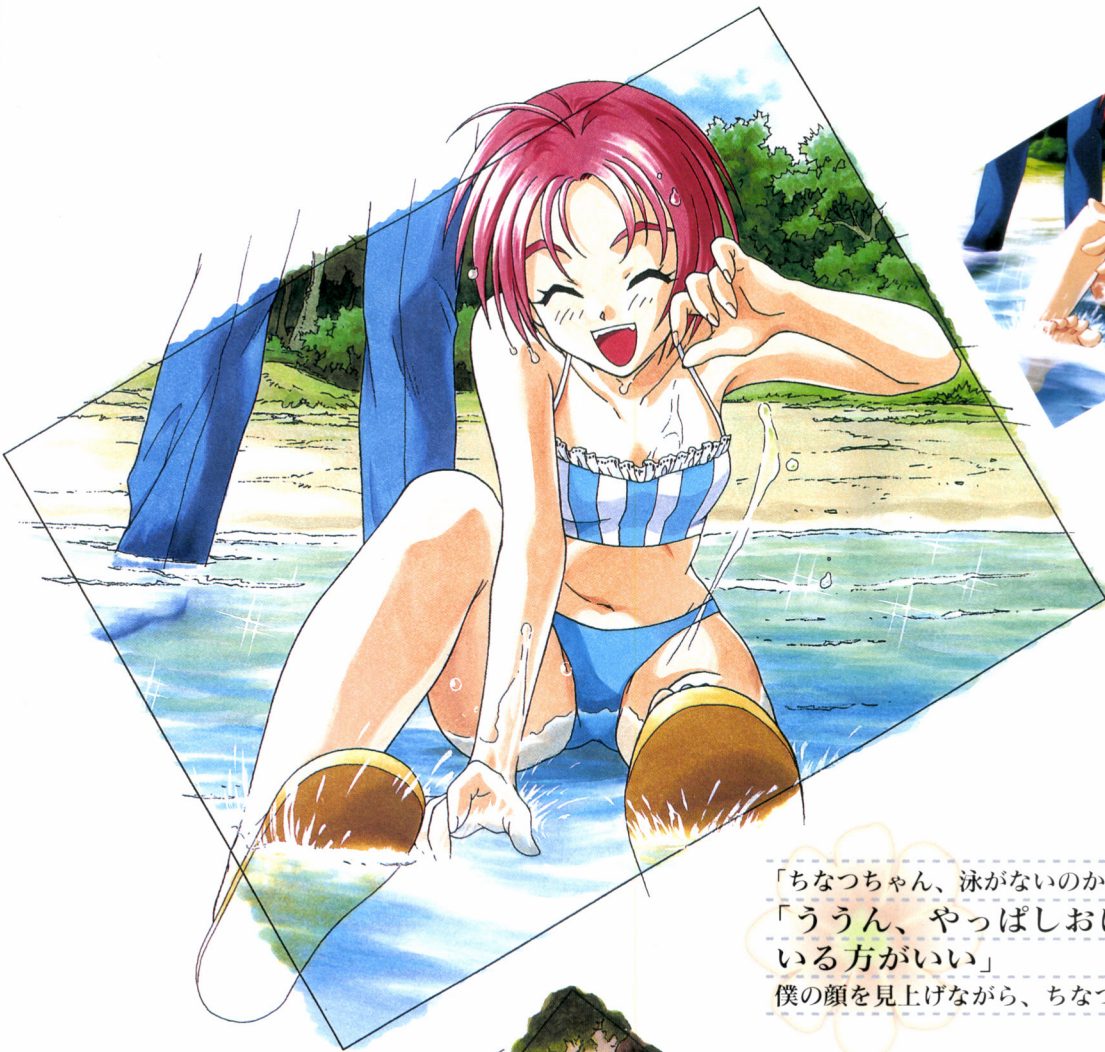
# Chinatsu Iwasaki

## 岩崎ちなつ

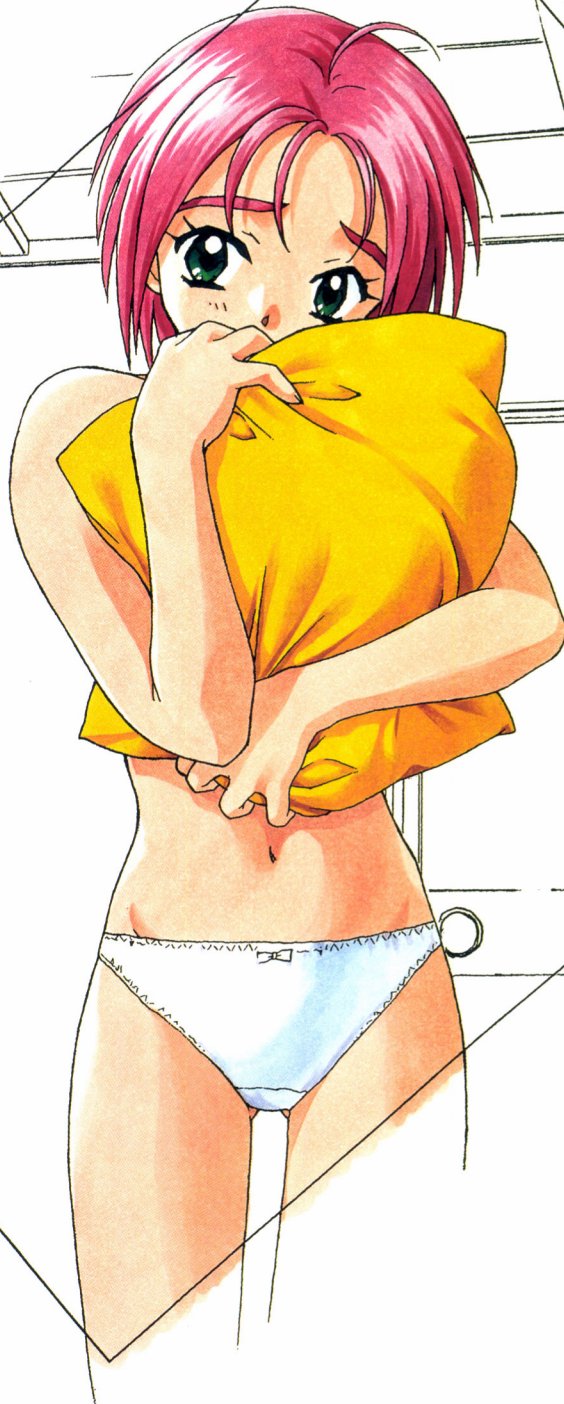
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

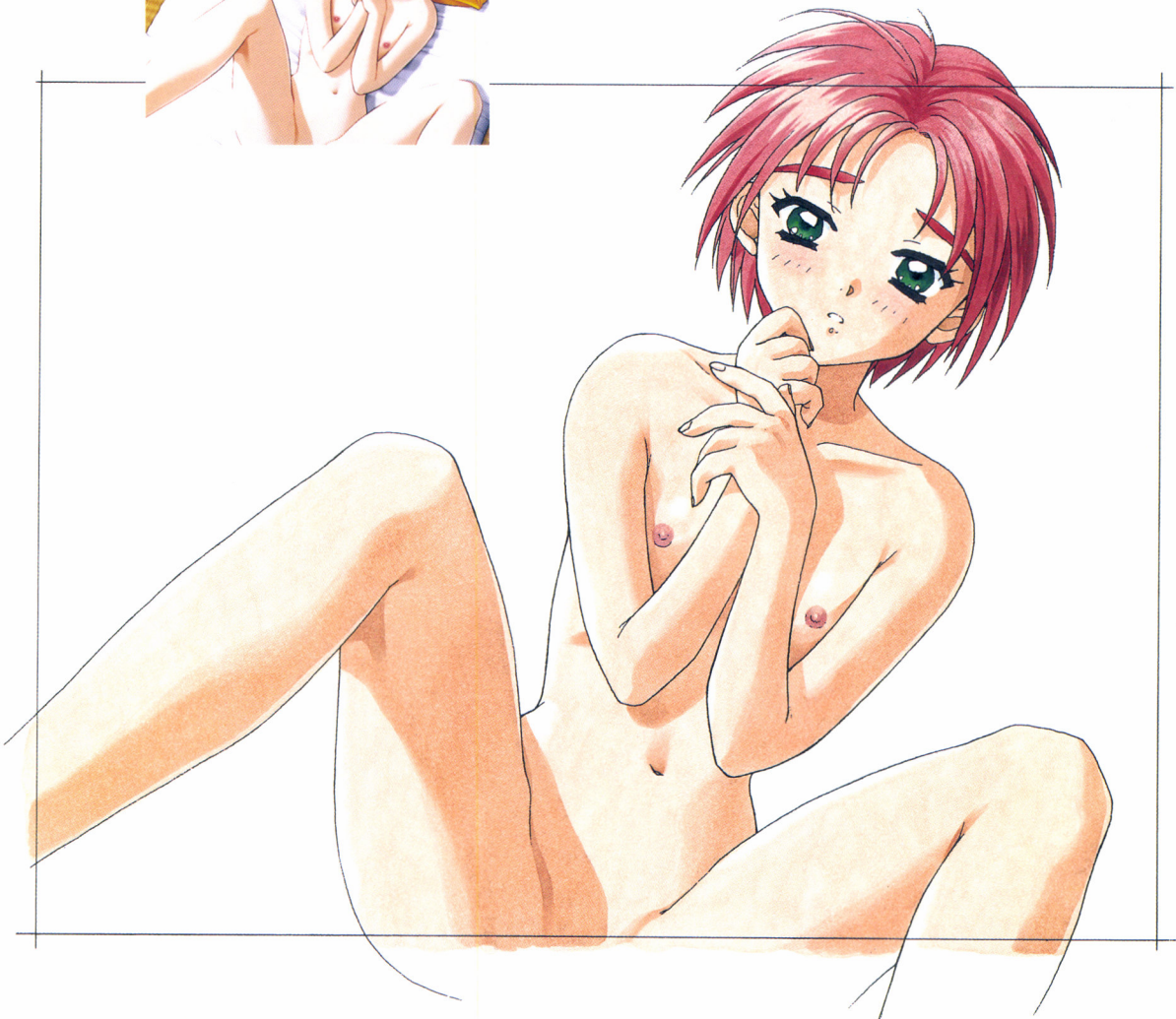
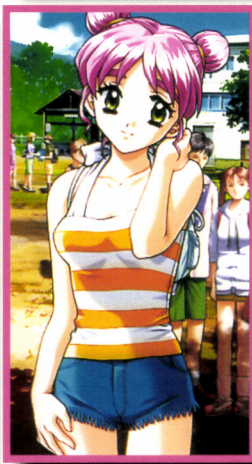
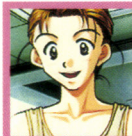
サマースクールに参加している元気いっぱいの女のコ。よく動く大きな瞳と、子犬のような人なつこい笑顔が魅力の彼女は、主人公を「おにーさん」と呼んで慕ってくる。外見はボーイッシュだが中身は甘えんぼう。食べ物の好き嫌いが激しく、感情表現も子どもっぽいため、いつも演劇部の先輩、治美にからかわれたり叱られたりしている。

「ねえねえ海だよ、添乗員さん！」

Chinatsu

やや肌寒さを覚えるほど、冷房の効いた部屋。
東向きのこの部屋には、日射しも射し込んでこない。
「すぅ…すぅ…すぅ…」
そんな中、静かな寝息、パタパタというウチワの音、
そしてエアコンの低い動作音だけが聞こえる。
「ちなつちゃん…」
ふたりきりとなった部屋。
僕はウチワを手に、ちなつちゃんの顔を扇いでいた。
…ぱたぱたぱたぱた。
汗混じりだった髪の毛も、部屋の涼しい空気で乾き、
小さな風にさらさらとそよぐ。

「おにーさんのウソつき…。
雨、降ってきたよ。
…晴れ男だって言ってたのに。
でも…雨が降ってよかったの
かもしんないね。
だってこうやって雨に濡れちゃえば…
泣いてたってわかんないでしょ」
「おとーさん、ちなつを…
きらいになったんじゃないよね？」

「ちなつちゃん、泳がないのかい？」
「ううん、やっぱしおにーさんの側にいる方がいい」
僕の顔を見上げながら、ちなつちゃんは答えた。

穏やかな夕暮れどきだった。
今は夏の太陽も水平線の間際でゆらめき、
辺り一面を優しいオレンジ色に染めている。
痛いほど眩しかった日射しも、だいぶ緩んでいた。
「おにーさん、ここ」

「もしかして…ちなつのせいで眠れなかったの？
もしそうだったら、ゴメンね。
ちなつって、ホント、ワガママばっかりだよね…。
おにーさんを困らせてばっかりだったよね…。
でもこれが、
最後のワガママだから…」

僕は再び、慎ましい膨らみに顔を寄せた。
今度は、先程とは反対側の方だ。
…ちゅっ。
慈しむように、その先端にそっと口づけする。
コロコロと小さなつぼみを、舌先でくすぐる。

「おにーさん、今のも…キスなの？」

「想い出だけでいいから…ちなつに残して欲しい」

## Relation Characters

**伊藤先輩**

東陽学園バスケ部の副キャプテンで、奈緒をマネージャーに誘い続けている。サマースクールでも行動をともにするが…。

**管理人**

前回もサマースクールに参加していた奈緒とは顔見知り。運動が苦手な奈緒の、昨夏のエピソードをよく覚えている。

**ジョナサン**

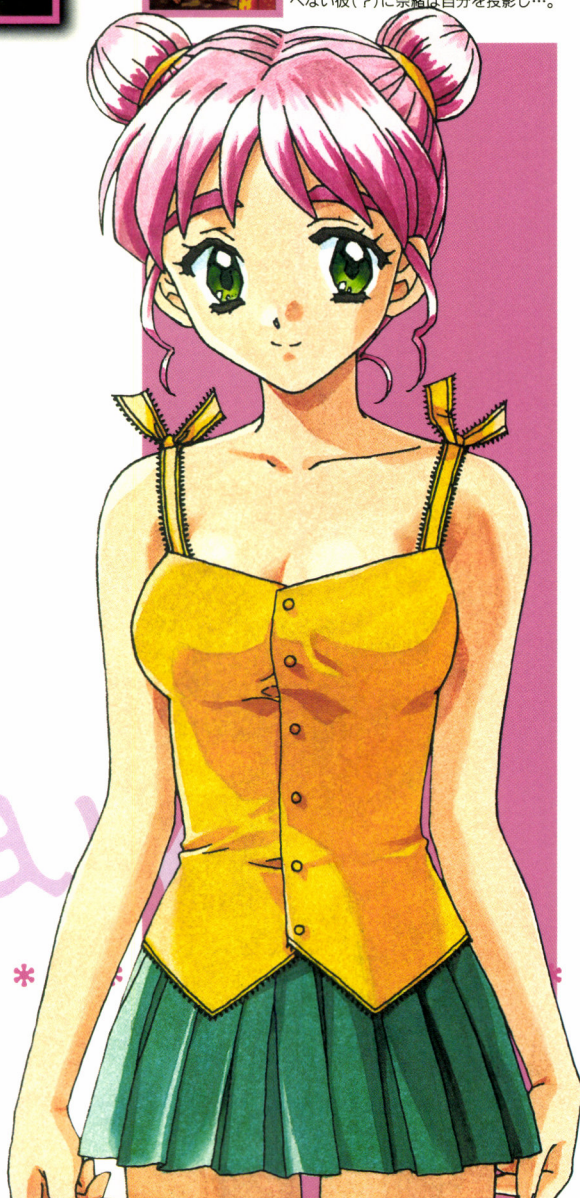
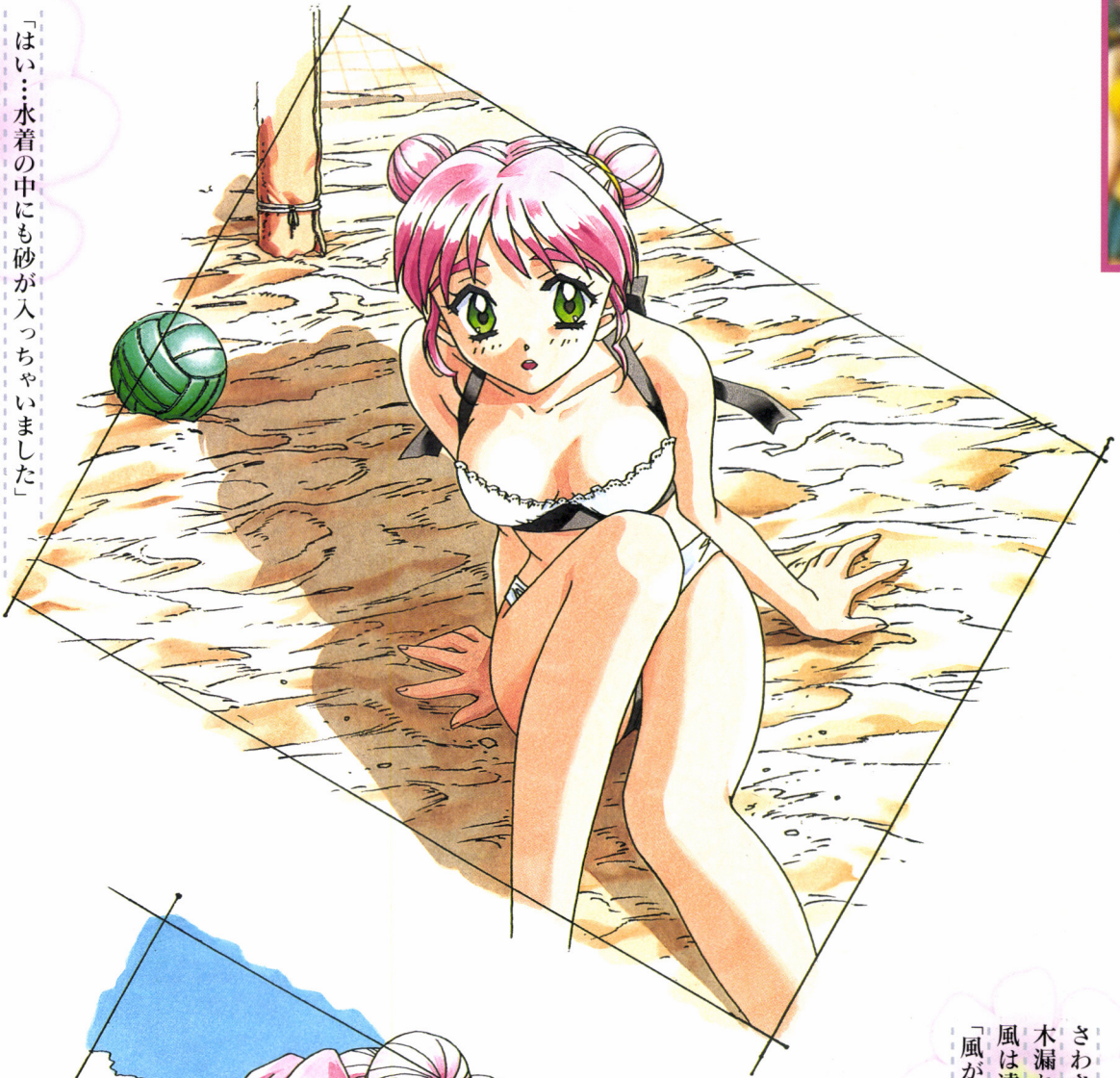
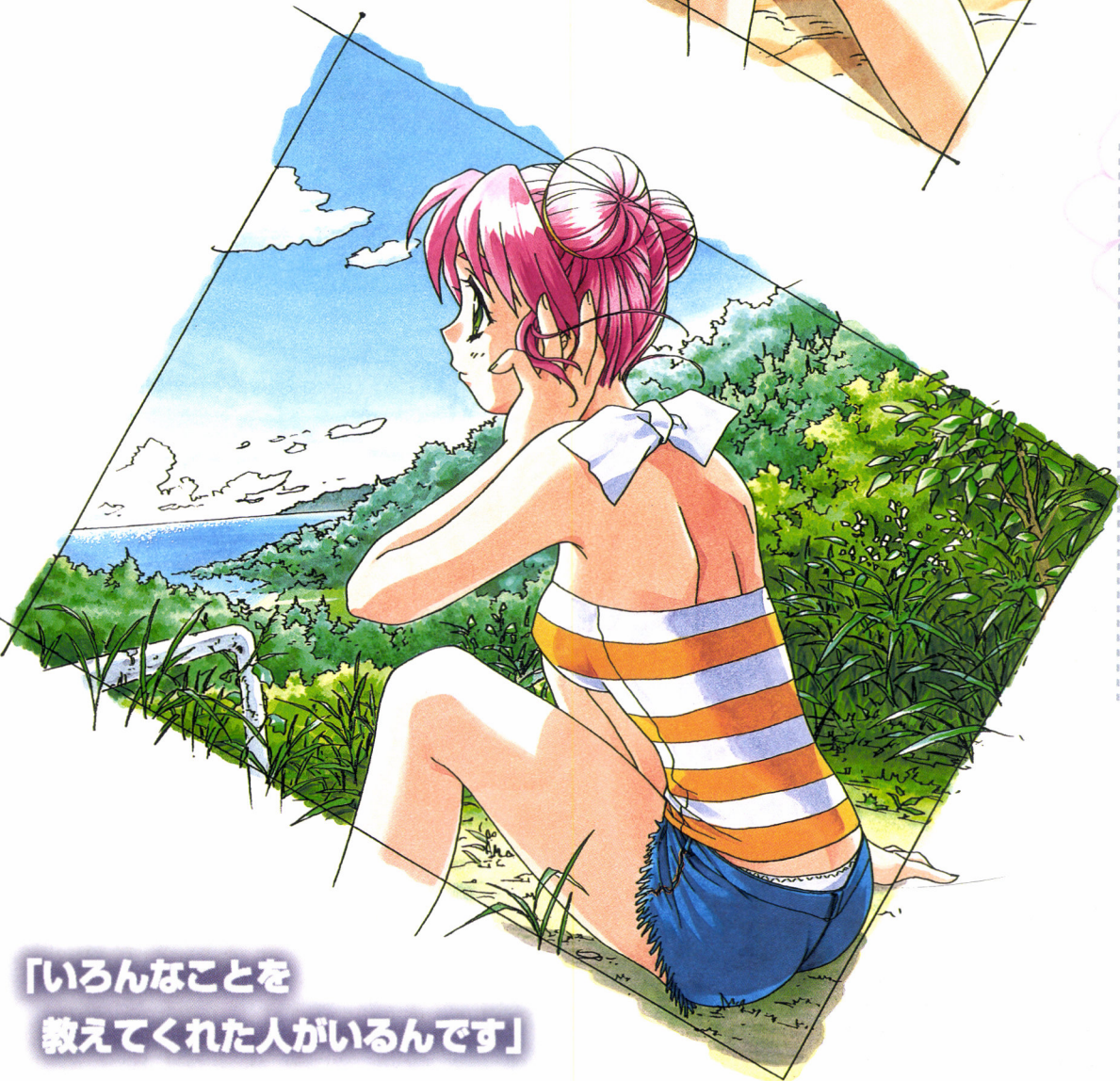
管理人が世話をしている傷ついたカモメ。「ジョナサン」とは奈緒による命名。飛べない彼(?)に奈緒は自分を投影し…。

**「こうして見上げてると…何だか空に手が届きそう」**
**「空って、こんなにも広かったんですね…」**
**「世界中のどこへ行っても、空は…同じ空ですよね」**
**「だからこうして見上げていれば、どんなに離れていても、同じ青空を見ていられるんですよね」**
**「ふたり、おんなじ空を見ていられるんですよね…」**

# Nao Morisawa

## 森沢奈緒

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

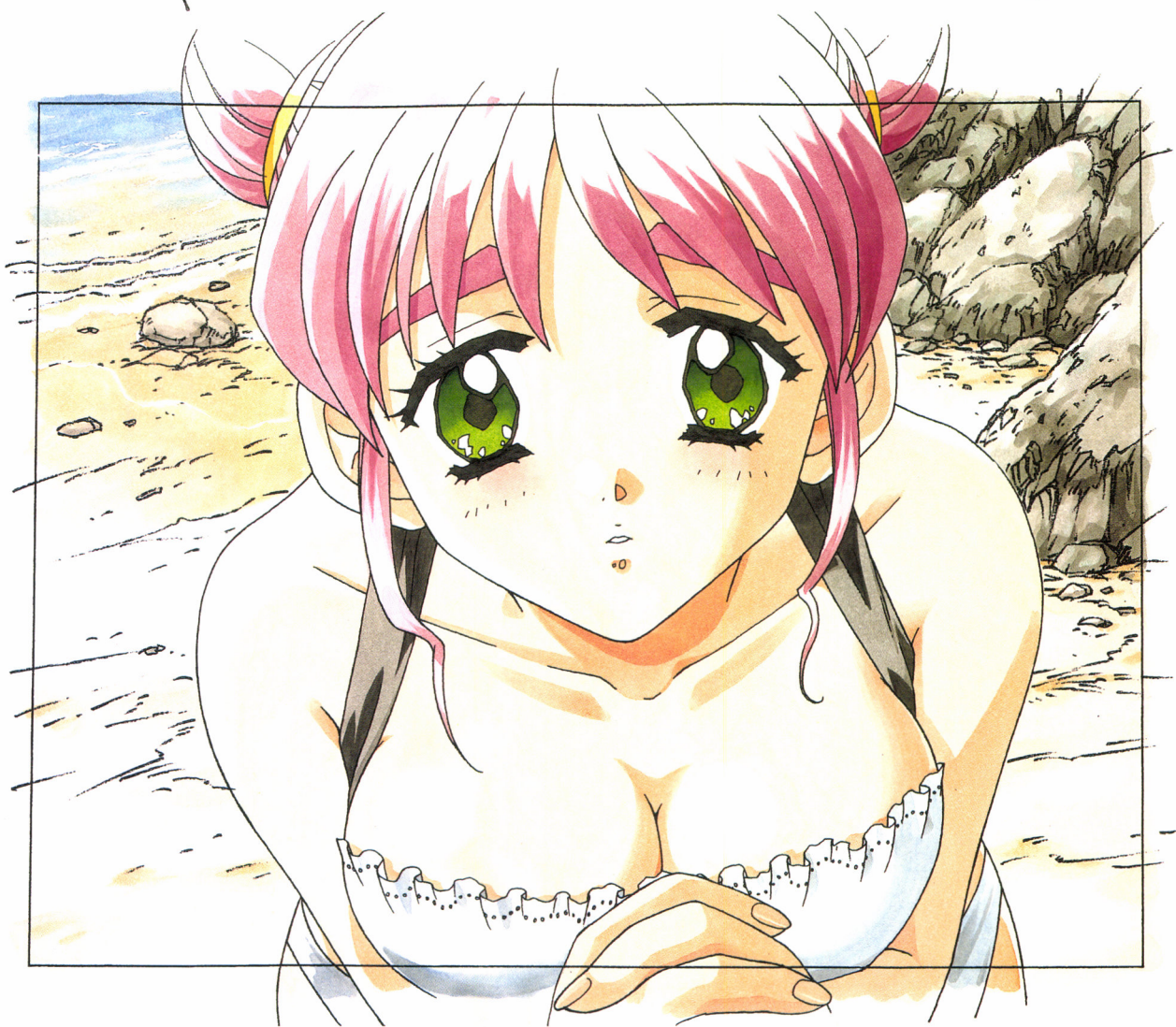
東陽学園の2年生。ブラスバンド部に所属し、フルートを担当する音楽少女だが、ある悲しい出来事をきっかけに現在は幽霊部員と化している。かわいらしいシニョン・ヘアと可憐で澄んだ声が印象的な彼女は、現実的でしっかりした面もあり、本来、前向きな性格の持ち主。この夏、蜻蛉海岸で過去と訣別しようと懸命になっている。

Nao
「はい…水着の中にも砂が入っちゃいました」
そう返事を返して、奈緒ちゃんは苦笑いした。
太股あたりにも、びっしり砂がついている。
奈緒ちゃんは、後ろ手でそれをはたき落とした。
しかし細かい粒子の砂は、薄い砂埃のようになって、
奈緒ちゃんの脚を白く化粧していた。
さわさわさわ…。
木漏れ日の醸す木陰が、青色の風に揺らめいている。
風は遠くから、かすかな潮の匂いを運んできた。
「風がすごく気持ちいいですね」
「いろんなことを
教えてくれた人がいるんです」

奈緒ちゃんの可憐な唇。
うっすらと、少女らしいピンク色に色づいている。
昨日の夜、この唇が僕に…。
「……」
奈緒ちゃんの唇は、何か特殊な存在感をともなって、
僕の目を引き付けていた。

不安げな瞳が、
真っ直ぐに見つめてくる。
「私といるのは…嫌ですか？」

Nao

僕は何度も名を呼び、必死で身体を揺すった。
しかし奈緒ちゃんは、糸の切れた操り人形のように、
ガクガクと首を振るばかりだ。
さながら魂の抜け落ちてしまった、抜け殻だった。
虚ろな心のままで、泣いてるようにも見えた。
血の気の失せた真っ青な顔。
まるで、死神に魅入られてしまったかのようだ。
蒼白い月光が、いっそう顔色を冷たく見せていた。

「…忘れさせて」

「違うんです…。上向いてないと…
そうしてないと、
涙がこぼれちゃいそうだから…」
「私を好きになってくれても、いいですよ」

真っ直ぐな瞳が、震えながら僕を見つめてくる。

**「私と一緒に、想い出を乗り越えていきましょう」**

「……」

そうだな、君となら…。

ふたりで、想い出を乗り越えて行けそうな気がする。

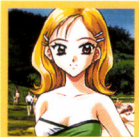
「奈緒ちゃん…」

僕は誘われるように、奈緒ちゃんの唇を求めた。

奈緒ちゃんも少し背伸びして、その求めに応じる。

「切なかったの…ずっとひとりで…
寂しかったの…」

Nao

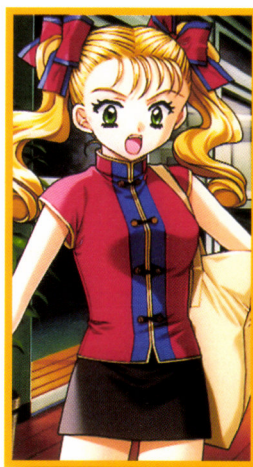
## Relation Characters

**杉野治美**

海岸でちなつと一緒にいるところに、つぐみが接近。みんなの想い出のため写真を撮るつぐみを、幼いちなつと比較する。

**岩崎ちなつ**

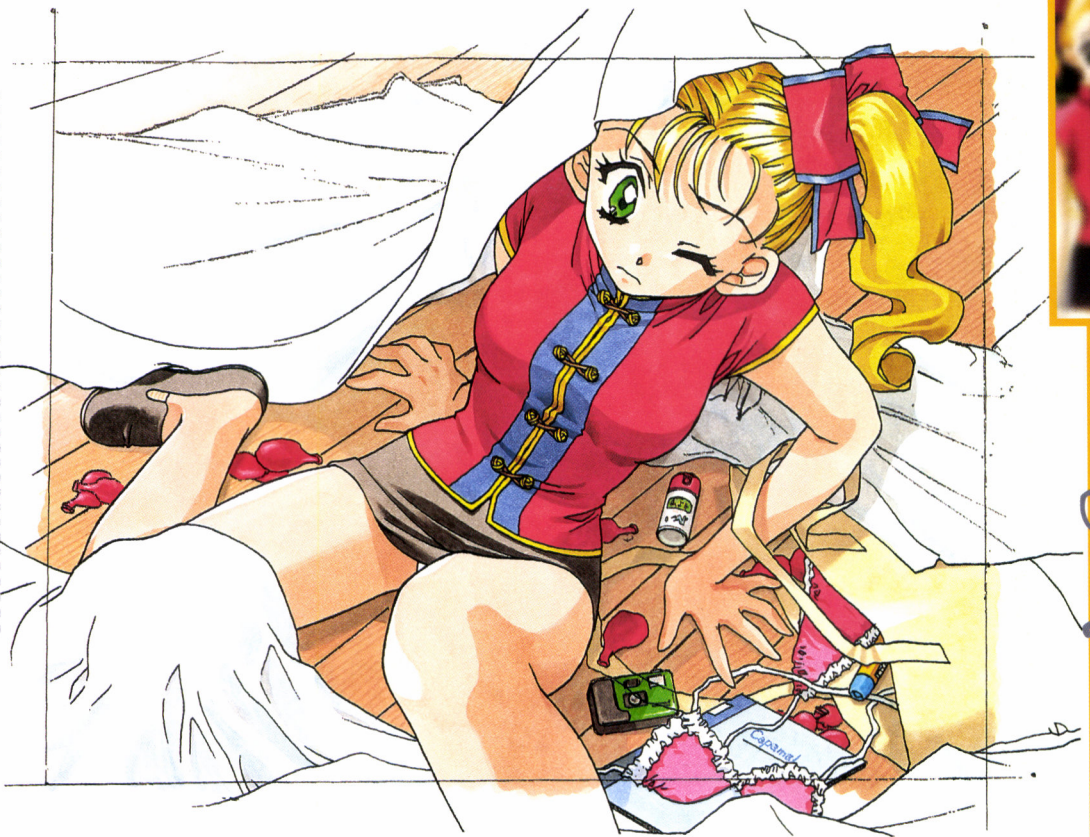
ビーチバレー大会の会場でつぐみと再会。新聞部の知り合いに頼まれたという、つぐみの言葉に、モデルを引き受ける。

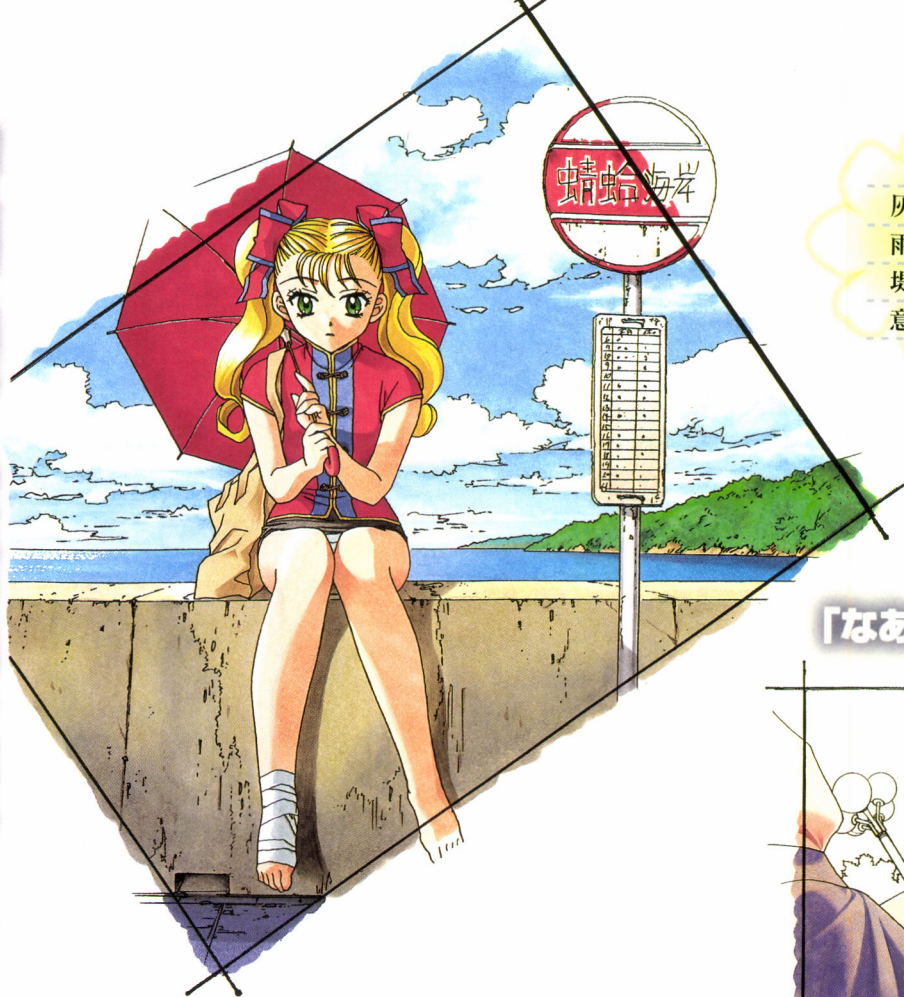
**森先生**

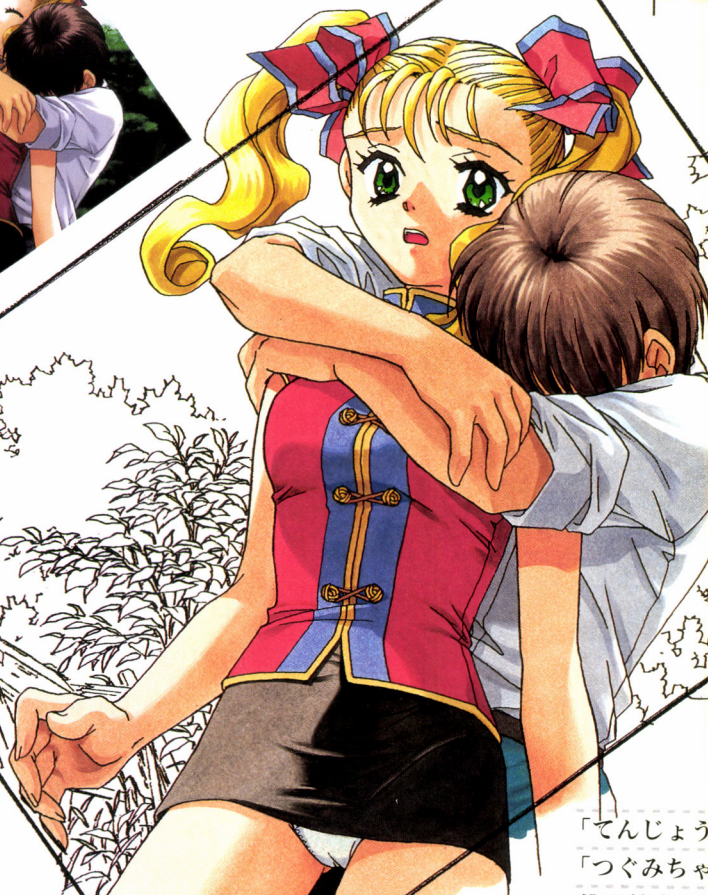
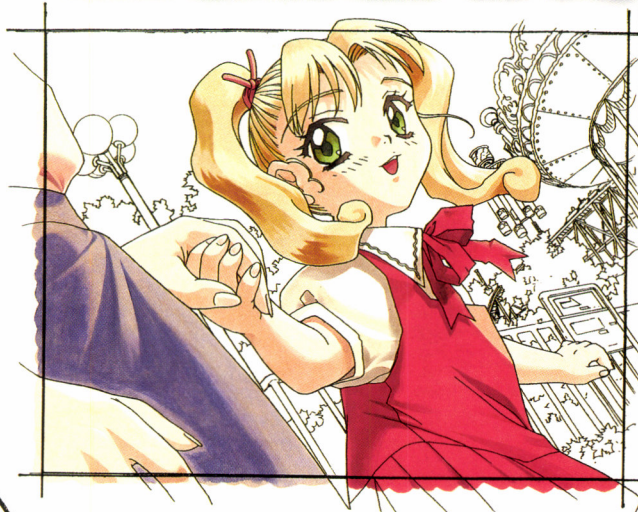
つぐみのクラス担任で、サマースクールを引率する体育教師。生徒たちのあいだでは、あまりよい評判はない様子……。

「失礼しま〜〜す！」
「添乗員さん、背中を流しに来たったよ！」
「昼間のお礼や。ほら、言うたやろ…ウチは借りを作るのは嫌いやて」
「ええのええの、サービスにしといたるから」
「あかんて…手の届かへん背中は、汚れとるもんや」
「ウチがしっかり洗ったるよ」
「は〜〜い、ウチに任せとき〜〜」

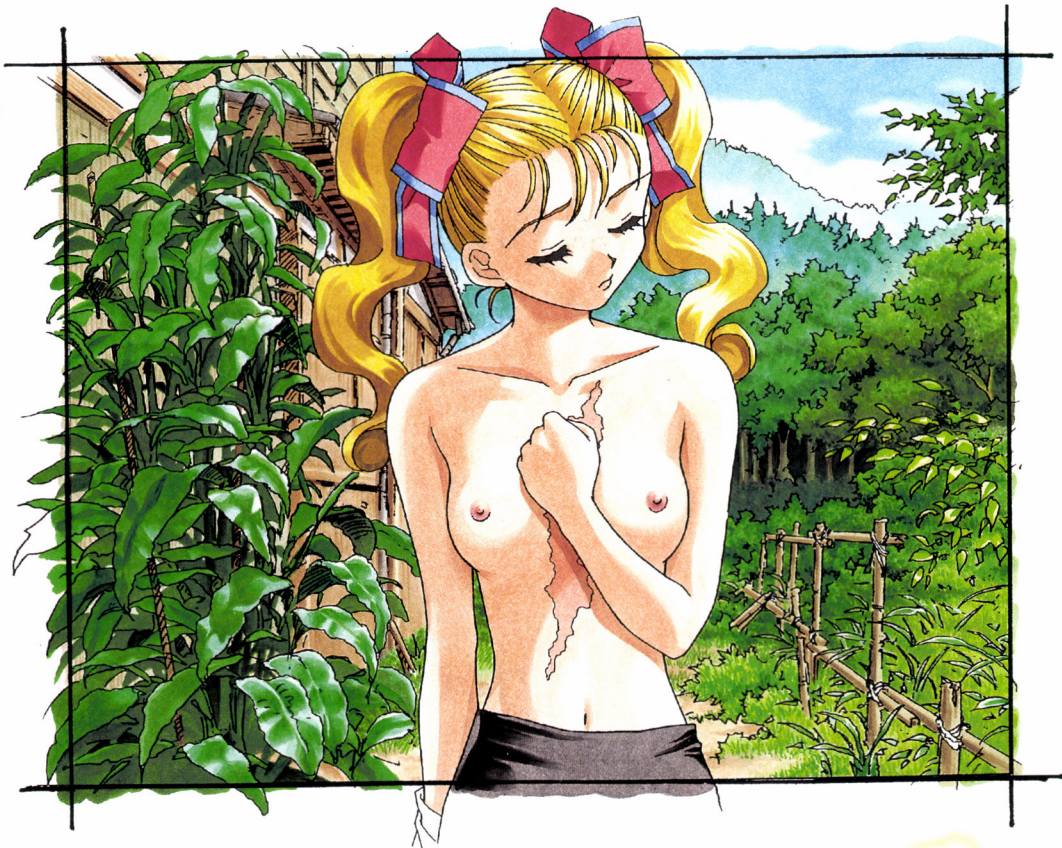
# Tsugumi Tsugashima

## 津賀島つぐみ

東陽学園1年3組31番。嵐のように浜辺に現れた、関西弁の女のコ。大きなカバンを下げ、みんなの夏の想い出を残そうとカメラを手に動き回り、お金もうけにも目がない。あざやかなチャイナ風の赤い服に赤いリボン、さらに手帳や傘も赤でそろえるつぐみ。ふだんの明るくさっぱりした言動とは裏腹に、彼女が心に抱える傷は深い……。

Tsugumi
「いろいろと持ち歩いてるんだなあ、君は」
「そ、そんなん…ウチの勝手やろ」
そうして最後のシーツを拾おうとして、
「……ん？」
僕はふと、その陰にあるものに気が付いた。
白いシーツの下に隠れて、小さく丸まっている。
「なんだこりゃ？」
女の子のかすかな息が、僕の首筋をくすぐっていた。
「ウチな…」
沈黙を破って、女の子が口を開く。
「あの…ウチ、誰かにおんぶなんて
してもらったん、これが初めてなんや…」

「みんな、ホンマ…いろいろとあるんやね〜…」

灰色のコンクリートに、赤い傘の花。
雨上がりの海辺を散策中だった僕は、
堤防に腰掛け、たたずむその人影を
意外に思った。

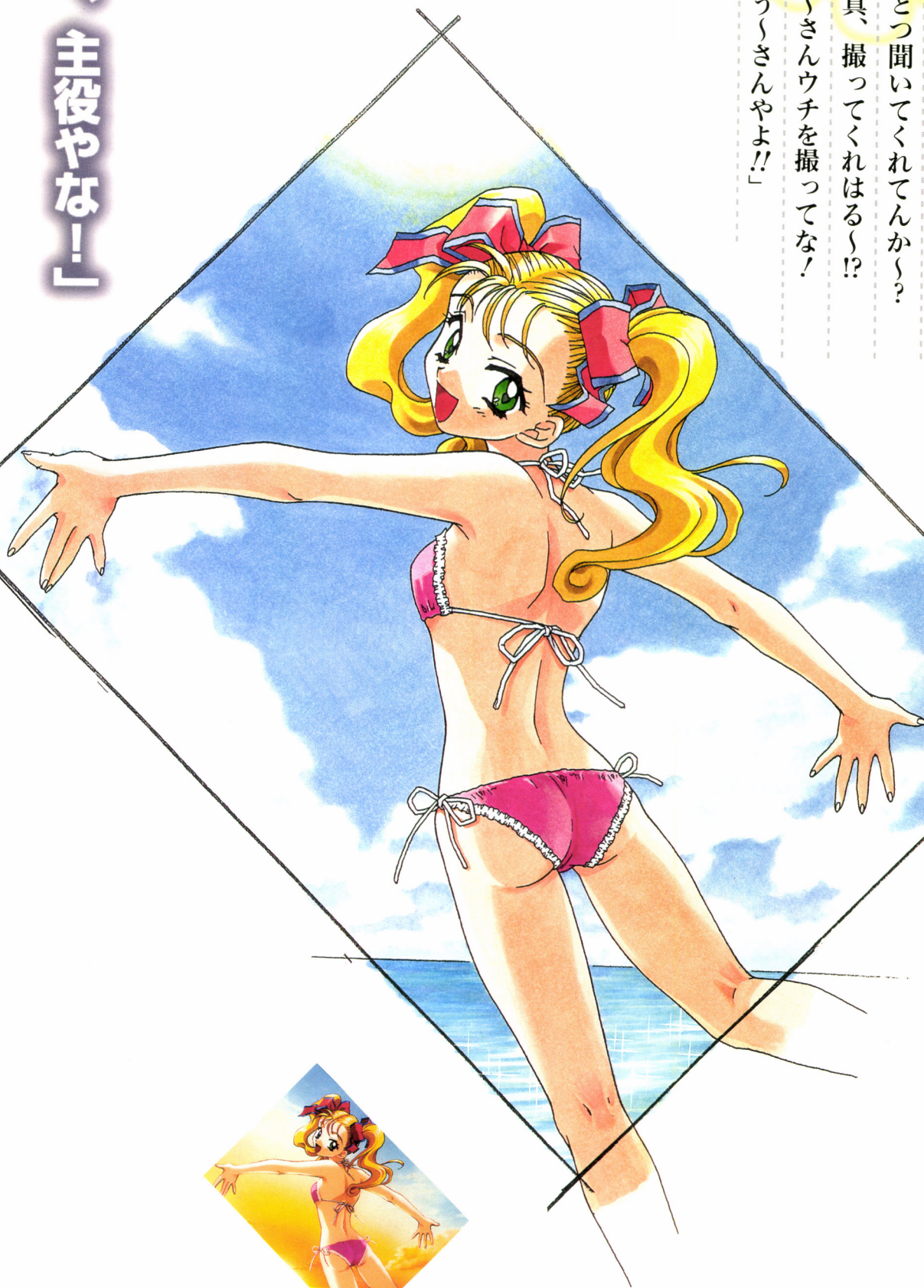
「なあ、赤いふうせん、こうて！」

「てんじょういんさん…てんじょういんさん…」
「つぐみちゃん…」
僕は彼女の肩に顔を埋め、さらに強く抱きしめた。
そうすることで、つぐみちゃんの痛みも悲しみも、
全部包み込んでしまいたかった。
せめて少しだけでも、その痛みを分かち合いたい…。

「ウチも…ホンマもんの想い出を作ろうとしたことはあったんよ。でもそのたびに…思い知らされるんや。この傷跡が…思い出させるんや…」

この傷跡…おそらく感覚はないだろう。
与えられる刺激によって、震えているのではない。
つぐみちゃんを震えさせているのは、戸惑いだった。
自分が最も忌み嫌っている場所。
そこを『愛される』ことを、どう受け取ればいいのか
戸惑っているのだ。
今まで、そうされたことがなかったから…。

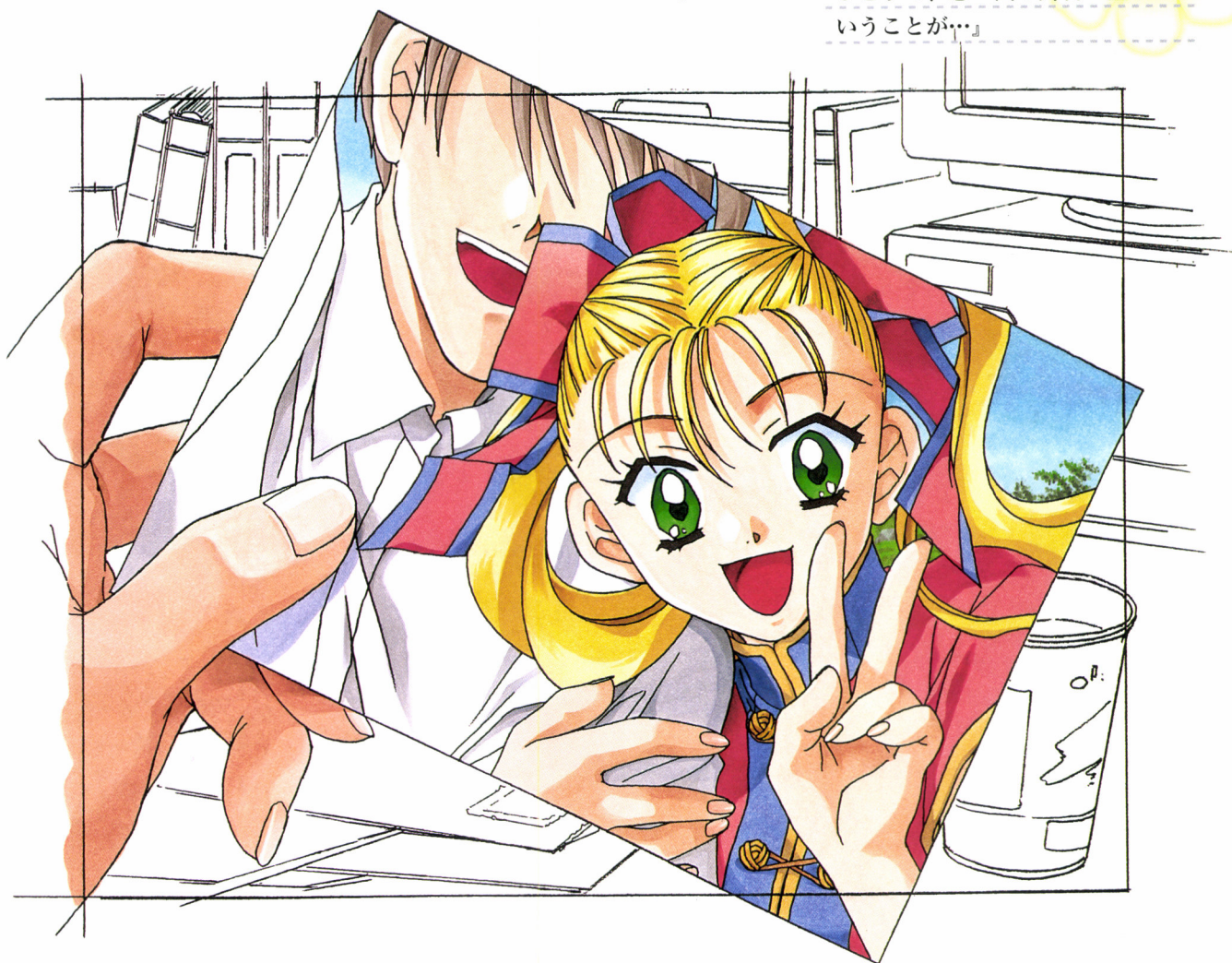
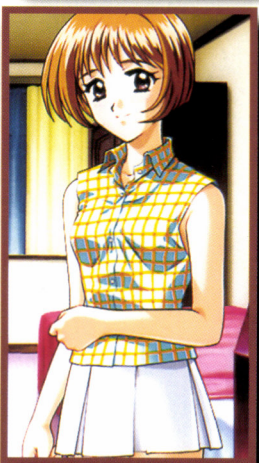
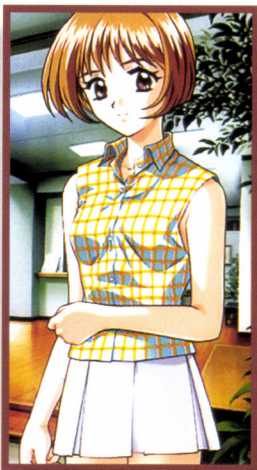
Tsugumi

「なんや…ウチ、不思議な気持ち…」

# 「今、ウチ、主役やな！」

「あはははははっ、ここはウチの貸し切りや〜！
なあなあ、添乗員さん！
ウチのお願い、ひとつ聞いてくれてんか〜？
あのな、ウチの写真、撮ってくれはる〜!?
添乗員さん、ぎょ〜さんウチを撮ってな！
ぎょうさん、ぎょう〜さんやよ!!」

水平線の彼方に向かって、落ちていく夕陽。
一日が終わりゆく、その名残を輝かせながら…。
夕陽は、今日という日の向こう側へと沈んでいく。
「おおきにな…」
ポツリと、つぐみちゃんが言った。

『ウチは、ずっと怖かったんです。
カメラの向こう側に行くことが…。
ひとりで、想い出の舞台に登るということが…』

Tsugumi

## Relation Characters

### 管理人

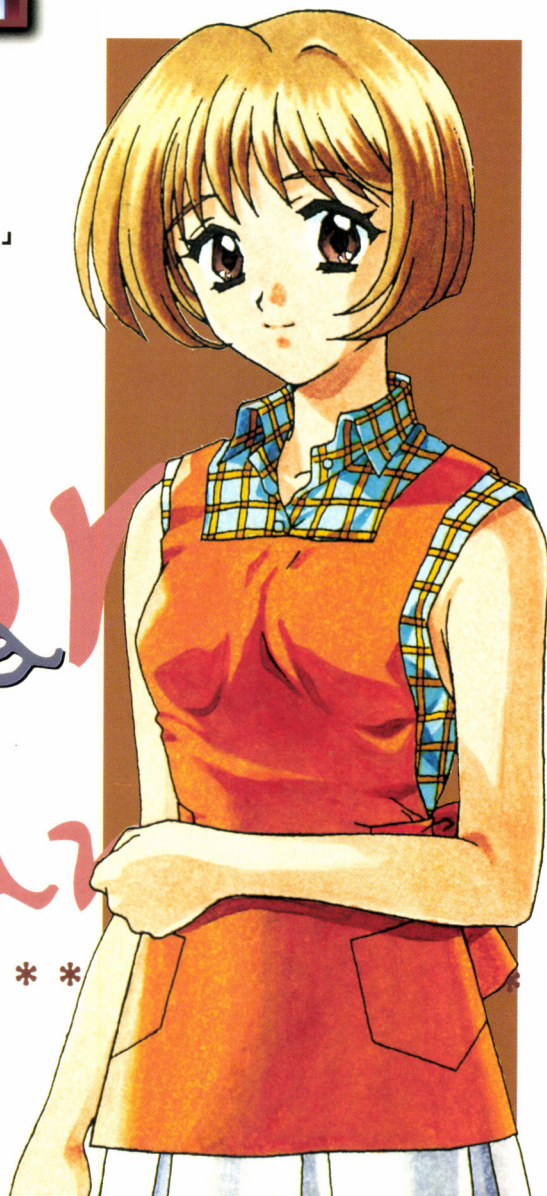
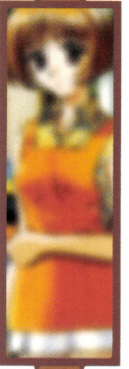
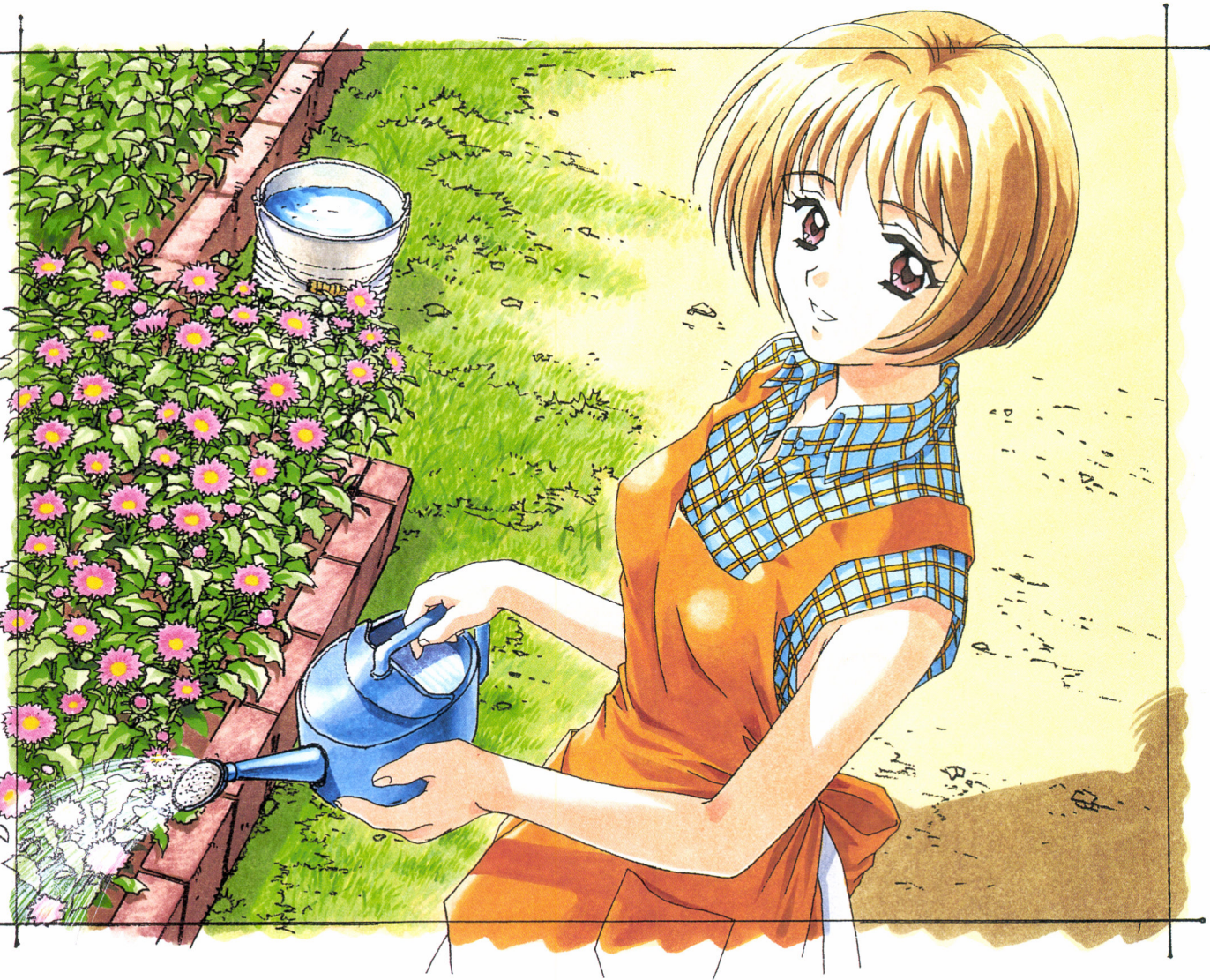
由織の働く「天山荘」の管理人。少し忘れっぽくてマイペースな由織を、関西弁でツッコミつつもサポートしてくれる。

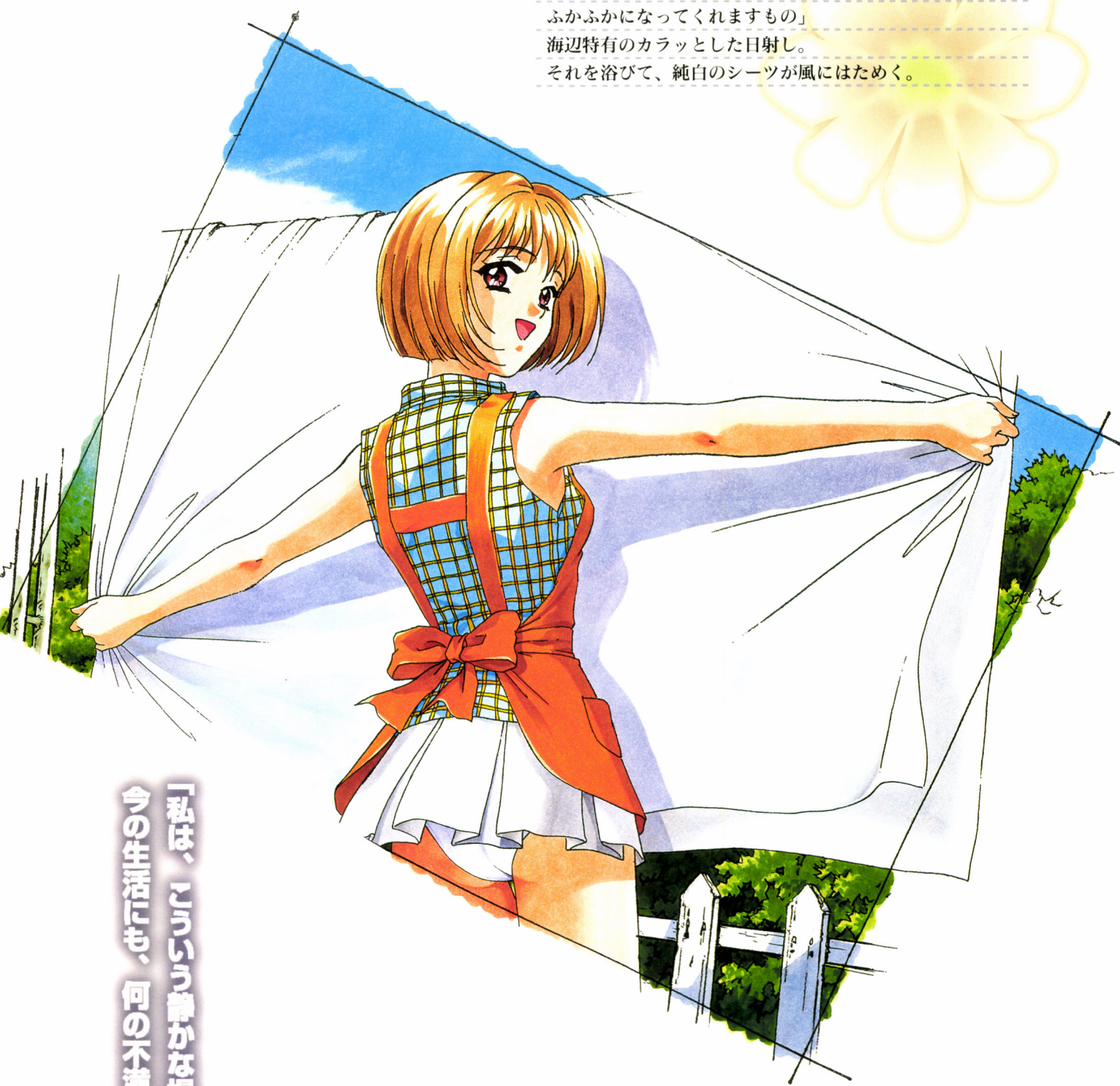
### ユウキ

管理人の息子。幼くしてアメリカ人の母親と離別したためか、父を憎み、由織のことを慕っている。誕生日も由織と一緒。

**「ゆっくり…本当にゆっくりとですけど、**
**だんだん東の空から、秋が追い掛けてきていますね…」**
**「季節は、海辺から変わり始めるんですよ」**
**「私のように、こうして毎日を海辺で過ごしているとわかるんです」**
**「すこしずつ空の色、風の匂い…それに海の潮音が変わっていくのが…」**
**「私は誰よりも真っ先に…**
**いちばんに季節の移ろいを感じることが出来るんです」**
**「今日は楽しかったですね」**

# 川奈由織

東陽学園がサマースクールで利用している臨海寮「天山荘」で働くお手伝いさん。朝の散歩とお風呂そうじが大好き。おっとりしていてどこか抜けているが、上品でていねいな口調としぐさ、なによりそのやわらかな笑顔で、まわりの人の心をほぐしてくれる。花々を慈しみ、静かな蜻蛉海岸で季節を感じながら生きている、純粋な女性。

「これはアスターと言います。アスターというのは、
『星の花』という意味なんですよ」
「へえ、星の花か…」
言われてみれば、放射状に広がった円形の花びらは、星の形にも見える。
「これを育ててるのは、由織さん？」
「はい」
頷くと、由織さんは花壇に向き直った。
じょうろを傾け、花の根本にシャワーを注ぐ。
土の上に出来た小さな水たまりが、
すぐに染み込み、薄い影のような染みとなった。

「お花は愛情を込めて育てると、
そのお礼にきれいに咲いてくれるんですよ。
私も、それがうれしいから…だから育てているんです」

「やっぱり、お天気の日はいいですよねー」
晴れ渡った空を仰いで、由織さん。
「お洗濯物も、お日様の匂いをいっぱい吸い込んで、
ふかふかになってくれますもの」
海辺特有のカラッとした日射し。
それを浴びて、純白のシーツが風にはためく。

「私は、こういう静かな場所の方が好きなんです…。
今の生活にも、何の不満もありませんよ」

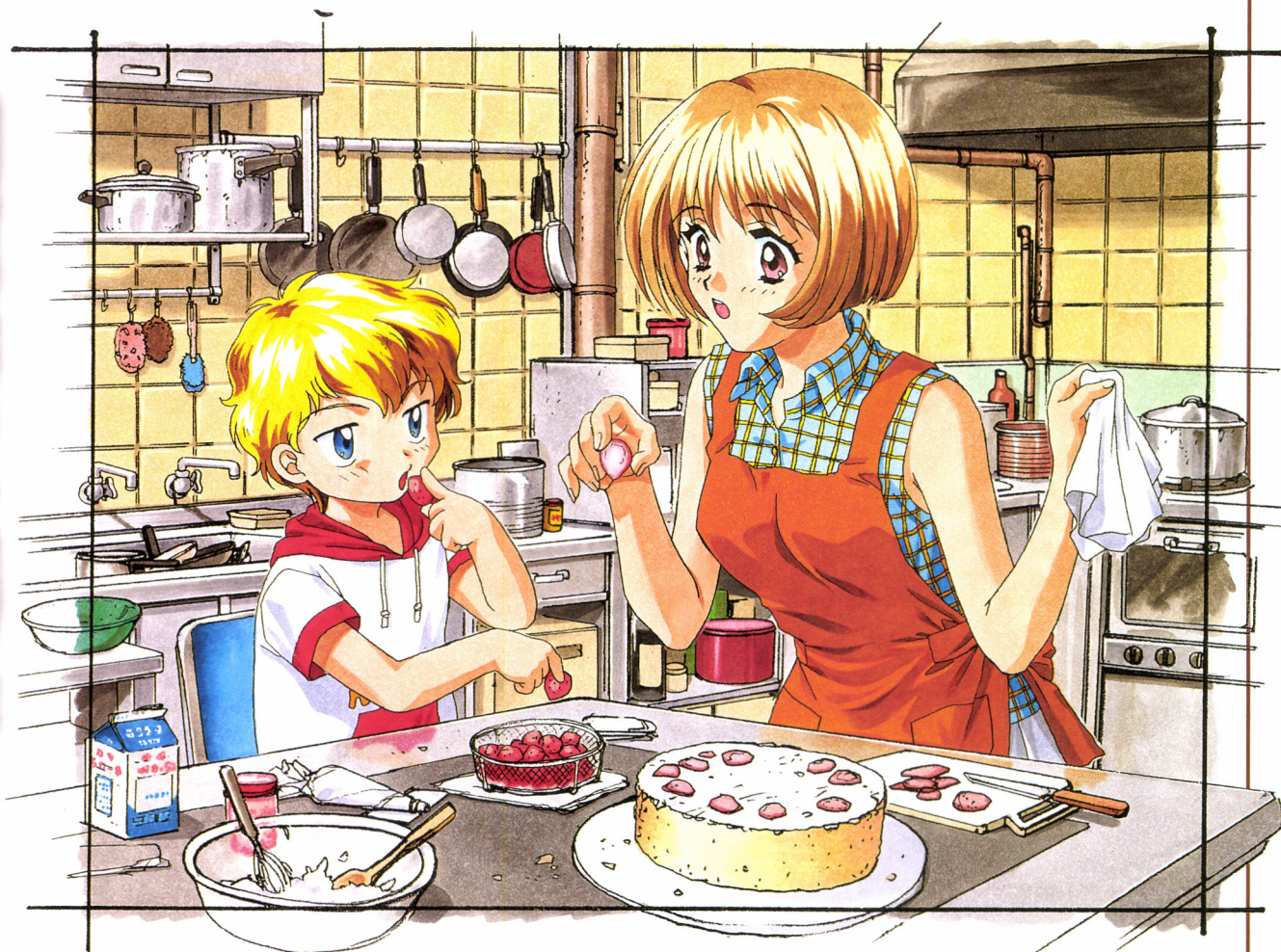
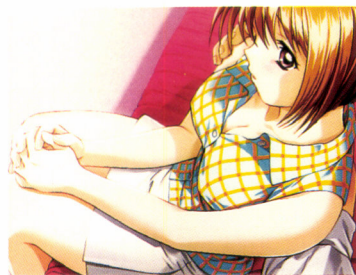
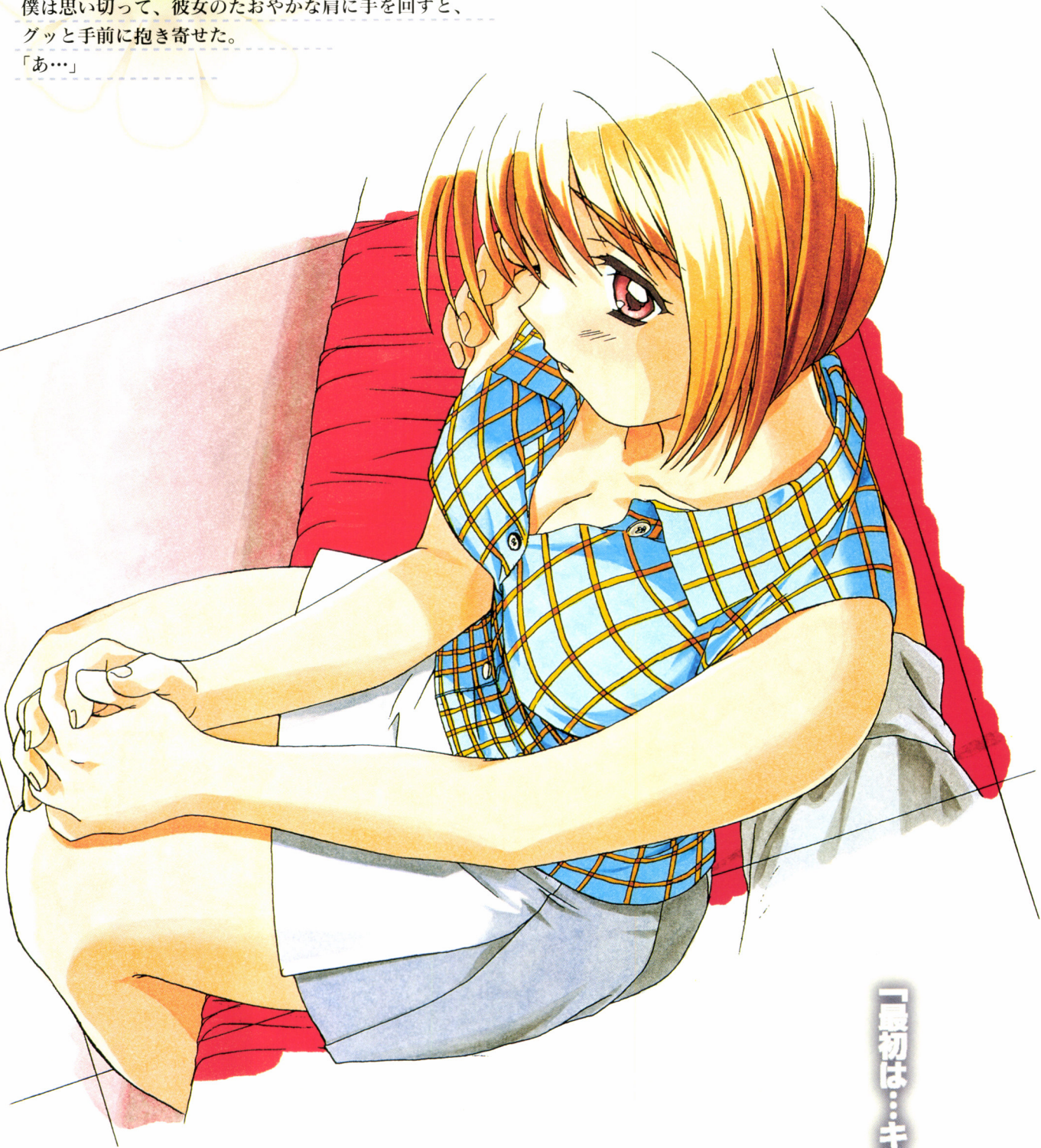
「ふふふ…お礼を言っています」
微笑む風の妖精は、花とおしゃべりしていた。
「見に来てくれて、ありがとうって…」
眩しく光る横顔。

「やっと、ふたりきりになれましたね」
「え…」
「ふふふっ」
少女のように微笑む由織さん。
その場でクルリと舞うと、僕の先に駆け出していた。

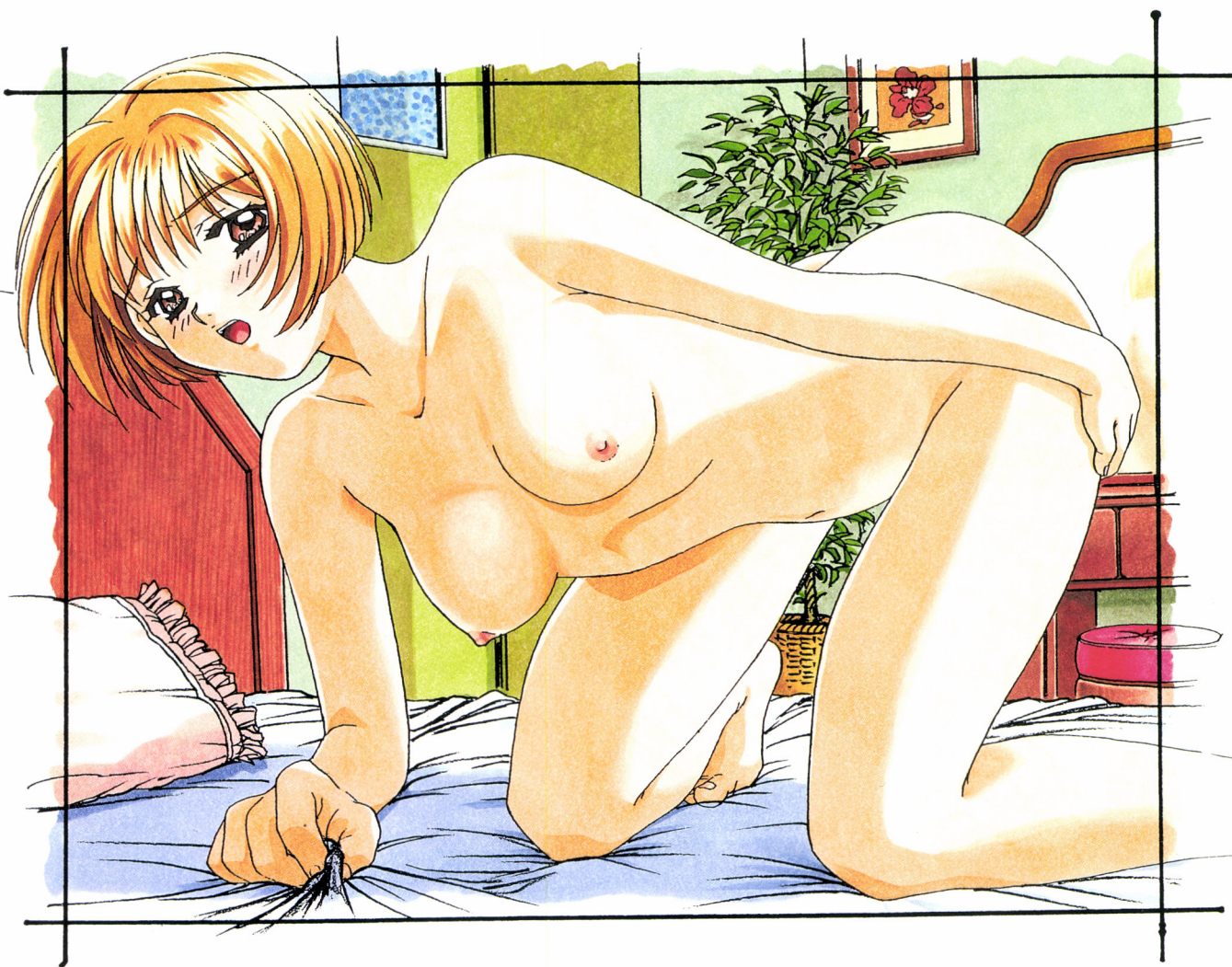
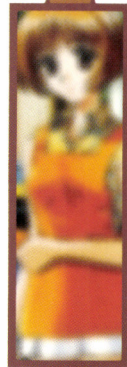
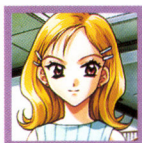
さらに僕らは、冷たい砂地に足跡を刻んでいった。
由織さんの残す小さな足跡。
それを追い掛ける僕の足跡。
ふたつの足跡はときに重なり、
交わり合った。

「優しいんですね」
「そんなことは…」
「優しい男の人って…私、嫌いじゃありません」
「……」
「……」
「由織さん、顔、赤いよ」
「すこし…酔ってますから」
「僕も…」
「……」
「いや、やっぱり僕は酔ってないかな」
「私も…です」

Yuori

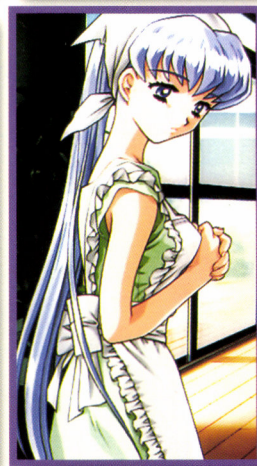
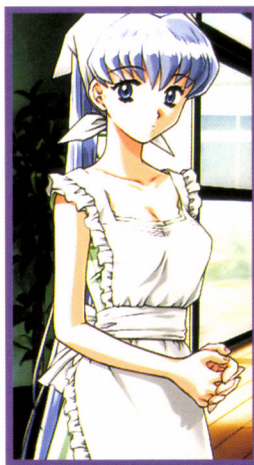
「誕生日おめでとう、由織さん」

すぐ隣にいる由織さん。
その存在感が、急に眩しくなってしまった。
指先を触れることすら、躊躇されるような…。
でもこの人を、もっと近くに感じていたい…。
「由織さん…」
僕は思い切って、彼女のたおやかな肩に手を回すと、
グッと手前に抱き寄せた。
「あ…」

## 「最初は…キスからがいいです」

…本当にいいのだろうか？
…僕がこの女性を抱いたりしても…。

「心から好きだと言える人だから…愛してください」

「わたしは、この海で待っています」

## Relation Characters

### 杉野治美

雫とはクラスメート。誰ともほとんど話したことのない雫が、なぜサマースクールに参加したのか不思議に思っている。

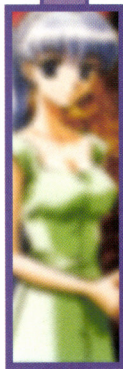
### ジョナサン

「天山荘」の管理人が飼っているカモメ。雫は檻の中にいるジョナサンに心を動かされたのか、エサを与えに行っている。

**うみは、とてもとてもふかいやみ…**
**よるのやみがこぼれおちてたまった、ふかいやみ…**
**だから…**
**ひかりもおとも…なにもとどかない**
**わたしのこえもとどかない**
**そんなところから、にいさんは…**
**「何を聴かせてくれると言うの…？」**

# Shizuku Mayase

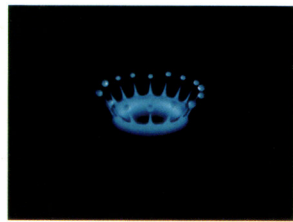
## 早瀬雫

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

東陽学園３年５組。無口で他人を寄せつけない雰囲気を漂わせている雫は、サマースクールに参加中も、いつもひとりきりで行動している。大切な兄を自分から奪った海と毎日向き合っては耳を傾け、誰にもその心を開こうとはしない。彼女は海の色をした自分の瞳を嫌っているが、主人公は、そこに懐かしい面影を重ねて見てしまう……。

「兄さんが…聴かせてくれるって…約束したから…」
だから…。
**海の詩を…聴いているの…。**
ふたりの間を、爽やかな海風が吹き抜けていった。
さわさわと、足元に緑の波が立つ。

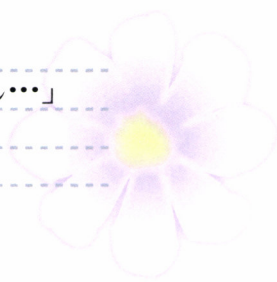
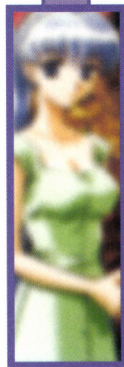
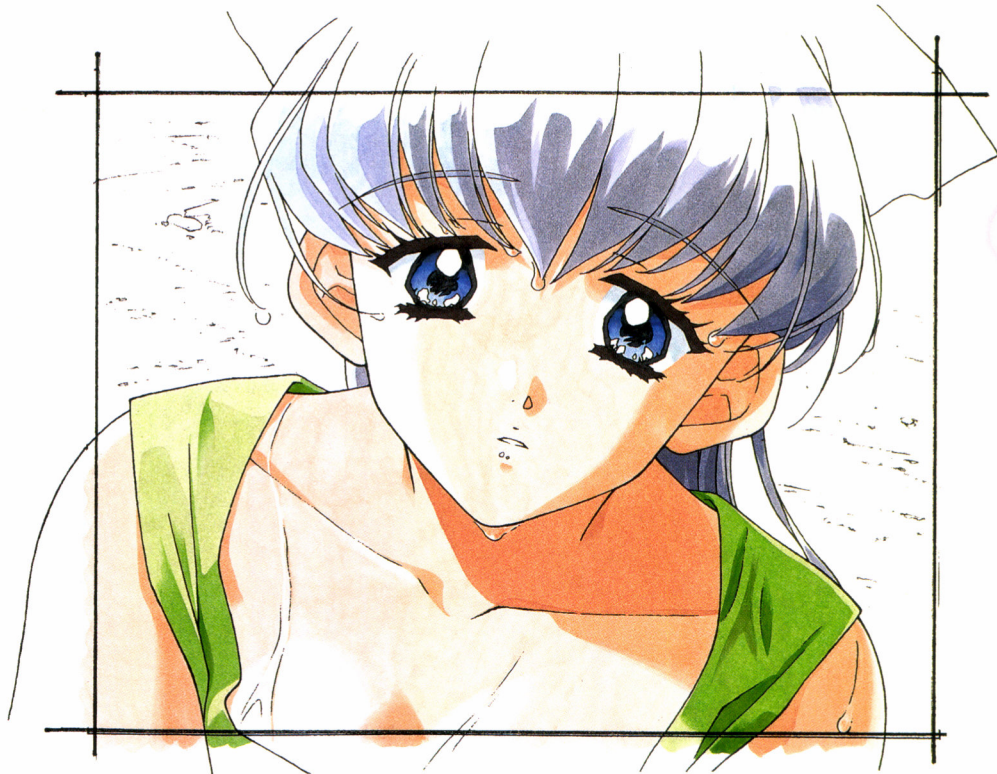
Shizuku

「兄さんは…」
僕はじっと、雫ちゃんの言葉の続きを待った。
少し経って、消え入りそうなか細い声で…。
「人魚に恋をして…行ってしまった…」
さわさわさわ…。
その言葉を運び去るように、風が吹き抜けていった。

# 私はいつになったら、このかごから出られるの…？

しずくを中心にして広がる輪。
わたしを中心にして広がる輪。
わたしはいつも、その真ん中にいる。
真ん中にいて、いつもかならず泣いている。
いつも、いつも、輪の真ん中で…。

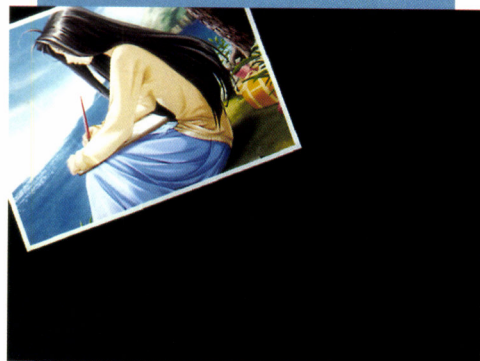
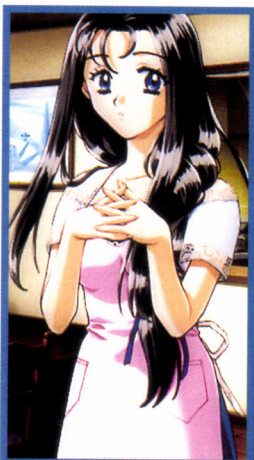
溜まっていた涙が、頬を滑り落ちていった。
瞼の下に隠されていた瞳。
思えばいつも、彼女の瞳は伏せられていた。
しかし今は、磨き込まれた水鏡のように、真っ直ぐに僕の顔を映し出している。

「私の目…嫌いだから…見ないで…」

Shizuku
「これが…海…」
「さようなら、兄さん…」
いつかまた、この海に…。
海の詩、聴きに来るね…。
「ふふ…ふふふ…」
波にくすぐられ、鈴のような声で笑う。
悲しみもわだかまりも…。
すべてを取り払われて…。
雫ちゃんは、ただ海と戯れる無邪気な
少女だった。
「ふふ…海…これが海…」

ああ、そうか…。
僕はやっと気が付いた。
つまりは、そういうことだったんだな…。
悲しいのは、僕の方だったんだ。
**この瞳に映る悲しみは、僕のものだったんだ。**

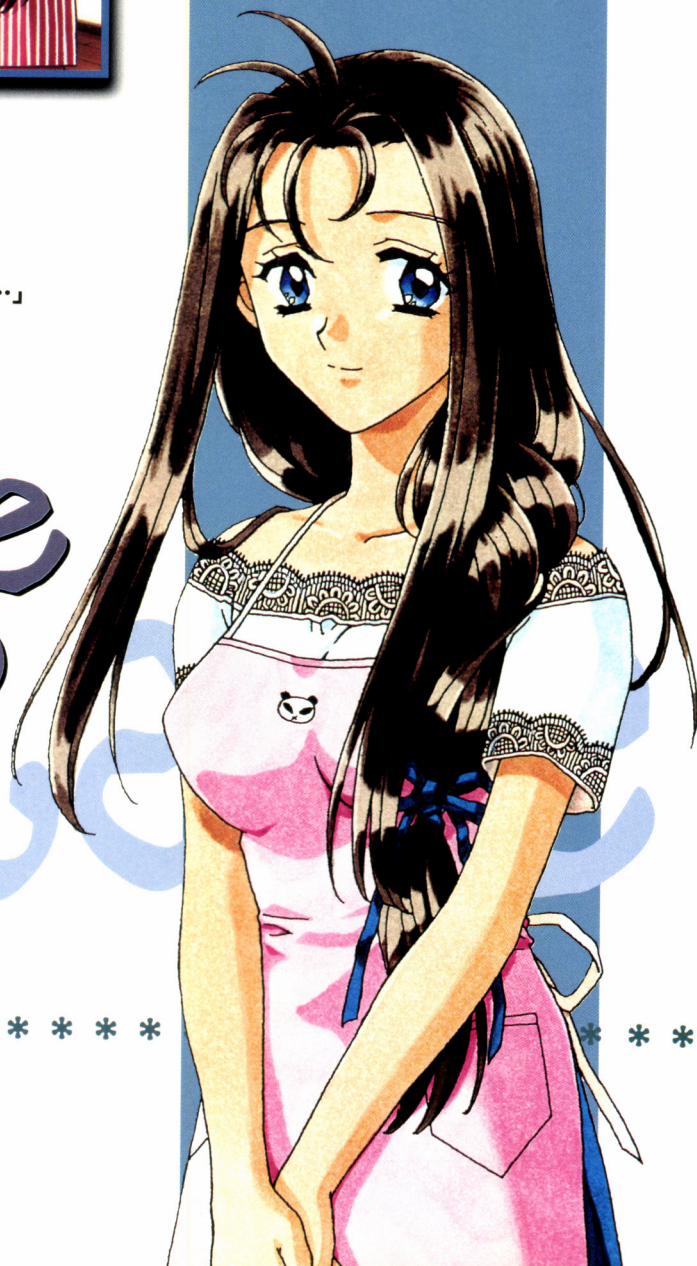
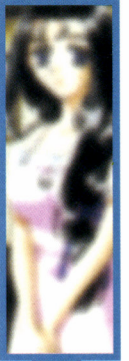
**「添乗員さんも…遠くを…見ていたから…」**

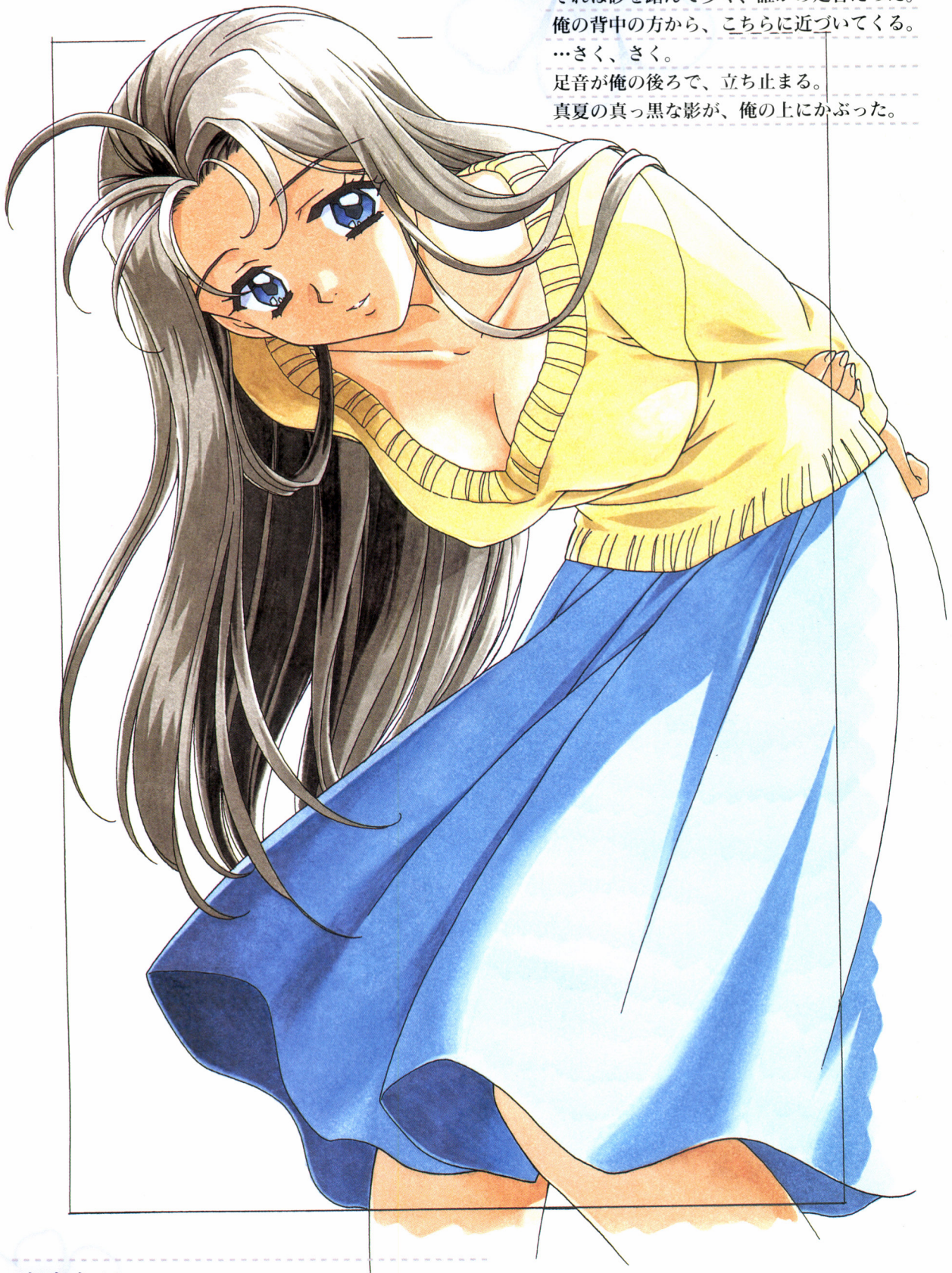
「私の気持ちは…自分でもわかりません…。
それより私は、今の私に…出来ることを…
添乗員さんのために出来ることを…したいんです」

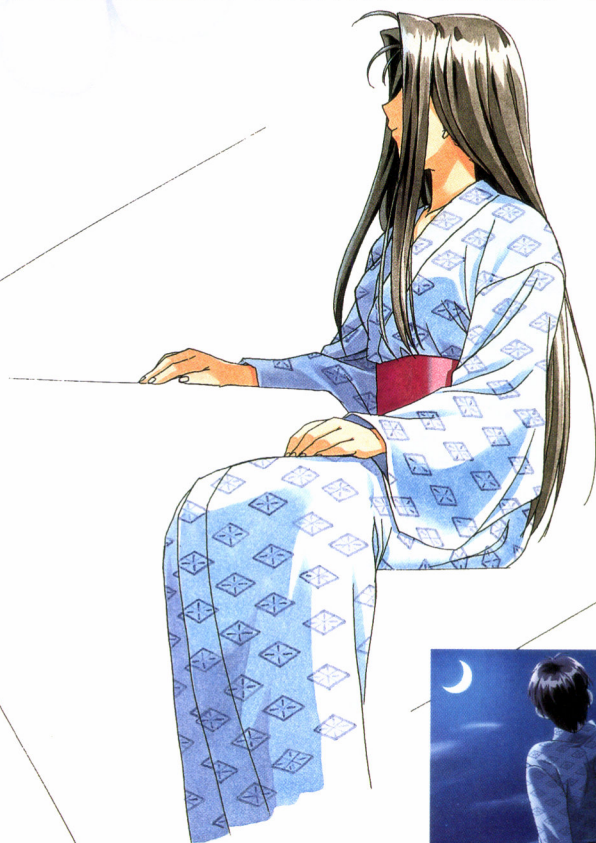
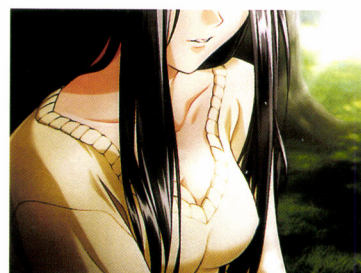
静脈が浮いて見えるほど、薄い皮膚。
その肌の下には、女性だけが持っている
柔らかみが、たっぷり詰め込まれている。
「…信じてます」
Shizuku
「雫ちゃん…」
「松…永…さん」
互いを互いの名で呼び合い…。
深く身体を抱きしめ合ったまま…。
僕は初めて、雫ちゃんとの口づけを
交わした…。
「人はいつか、心の中でも死んだ人とは
別れなくてはならないんですね。
それはとても辛いことですけど…
そうしないと、前へは進めないから…」

「絵の具はね」
「そのままじゃ無機質な物なんだけど」
「塗り方とか混ぜ方次第で、色に命がこもってくるの」
「私はそれに想いを込めて、ひとつの絵を仕上げる…」
「そうして想いを込めた絵を、誰かに受け取ってもらいたくて…」
「だから描いているのかなって」

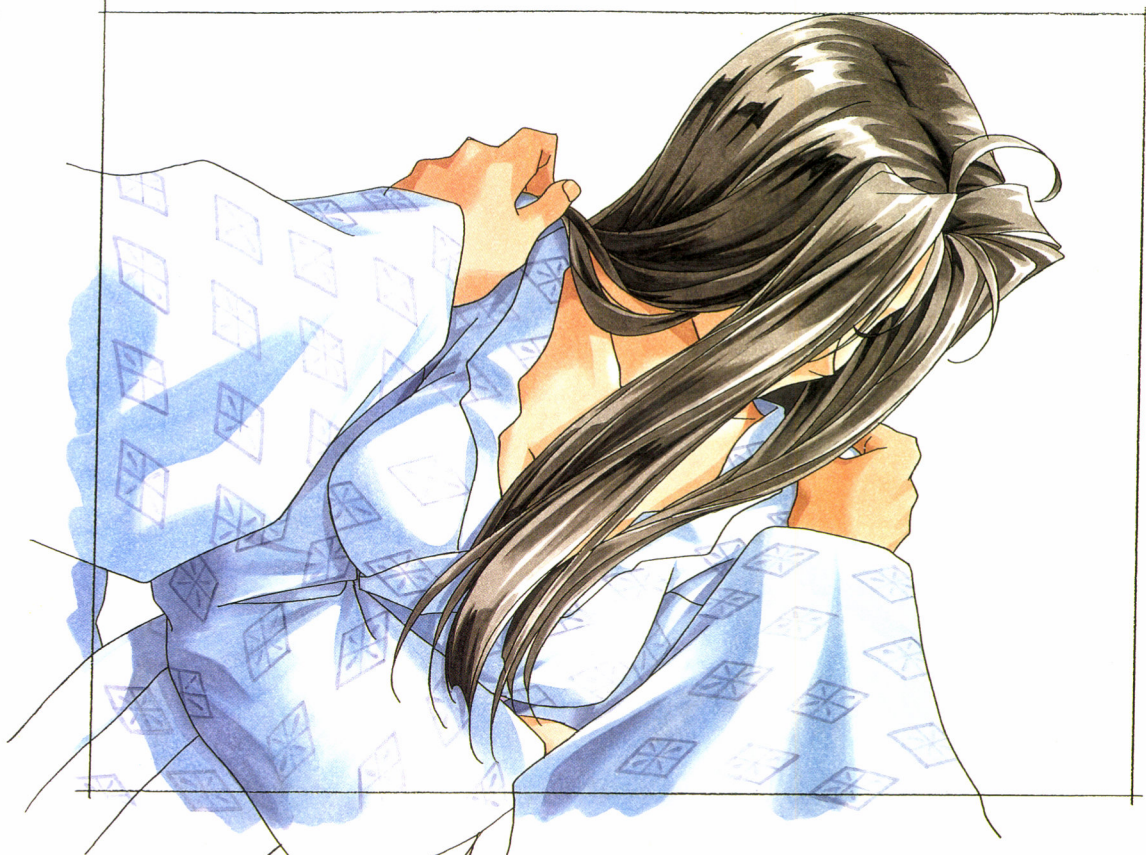
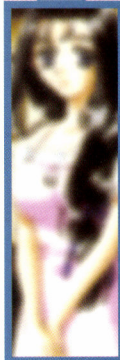
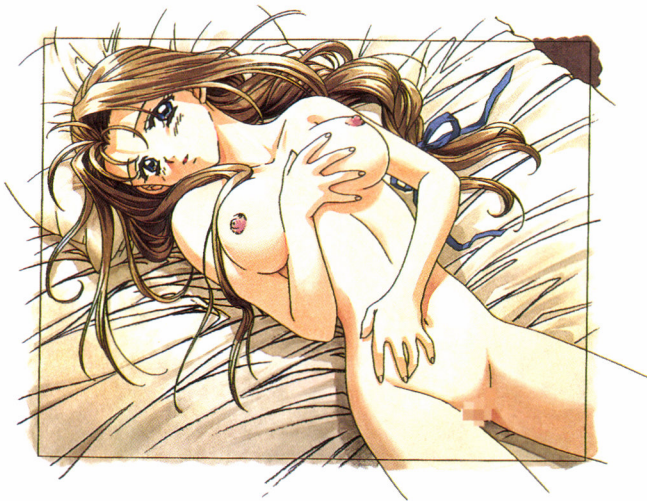
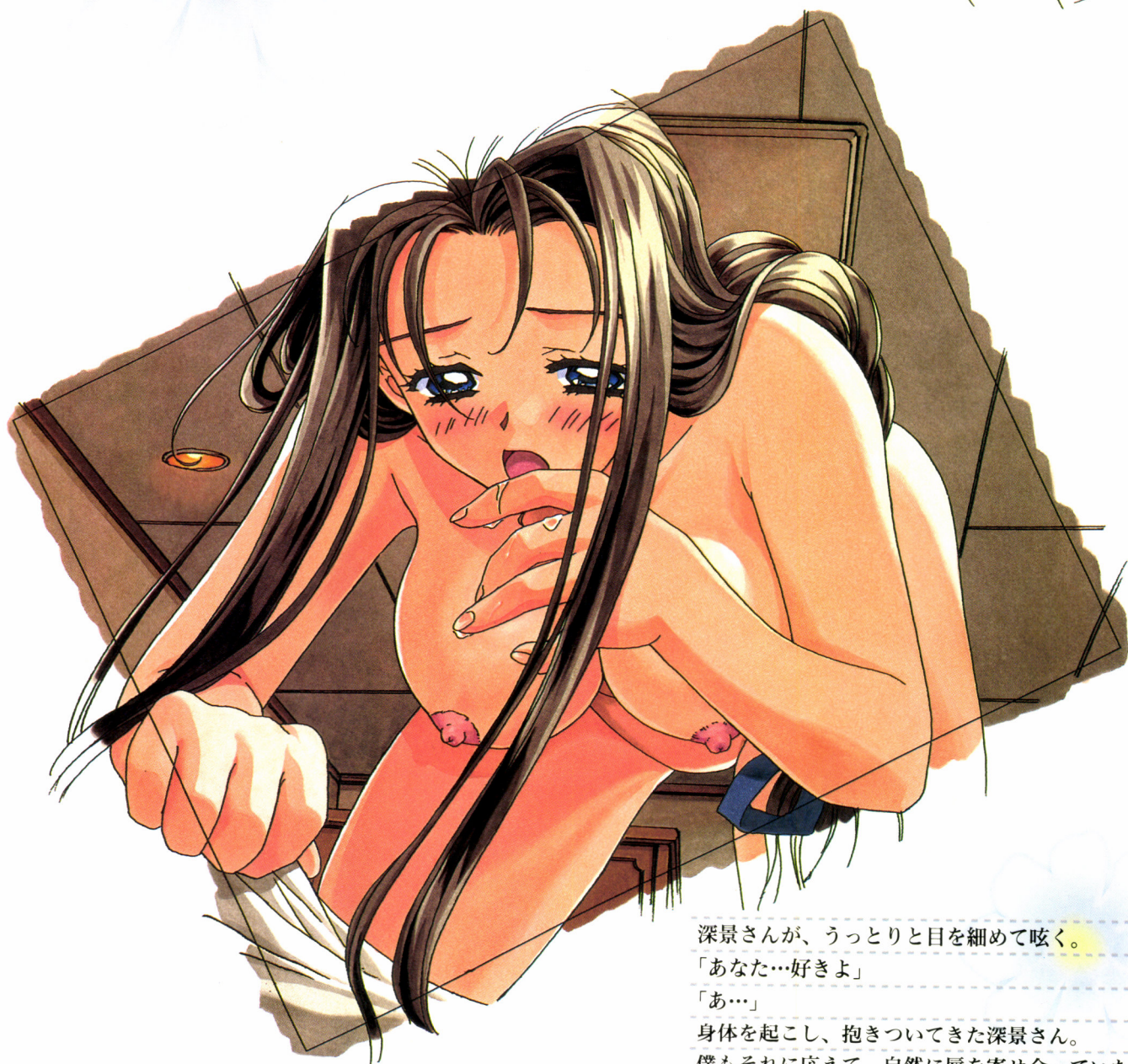
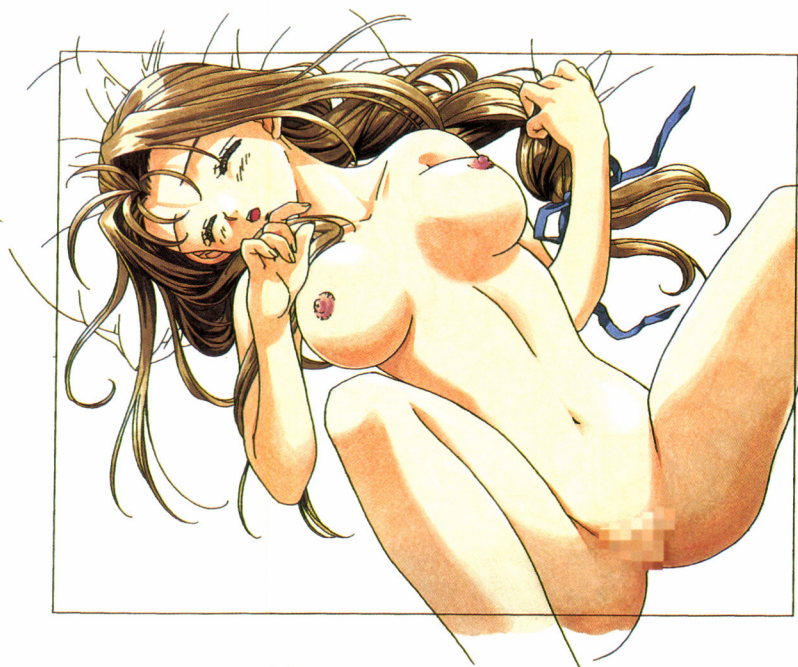
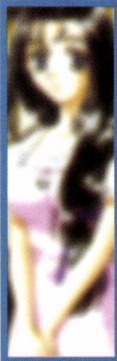
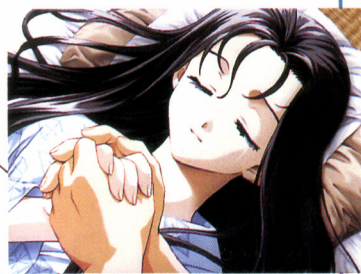
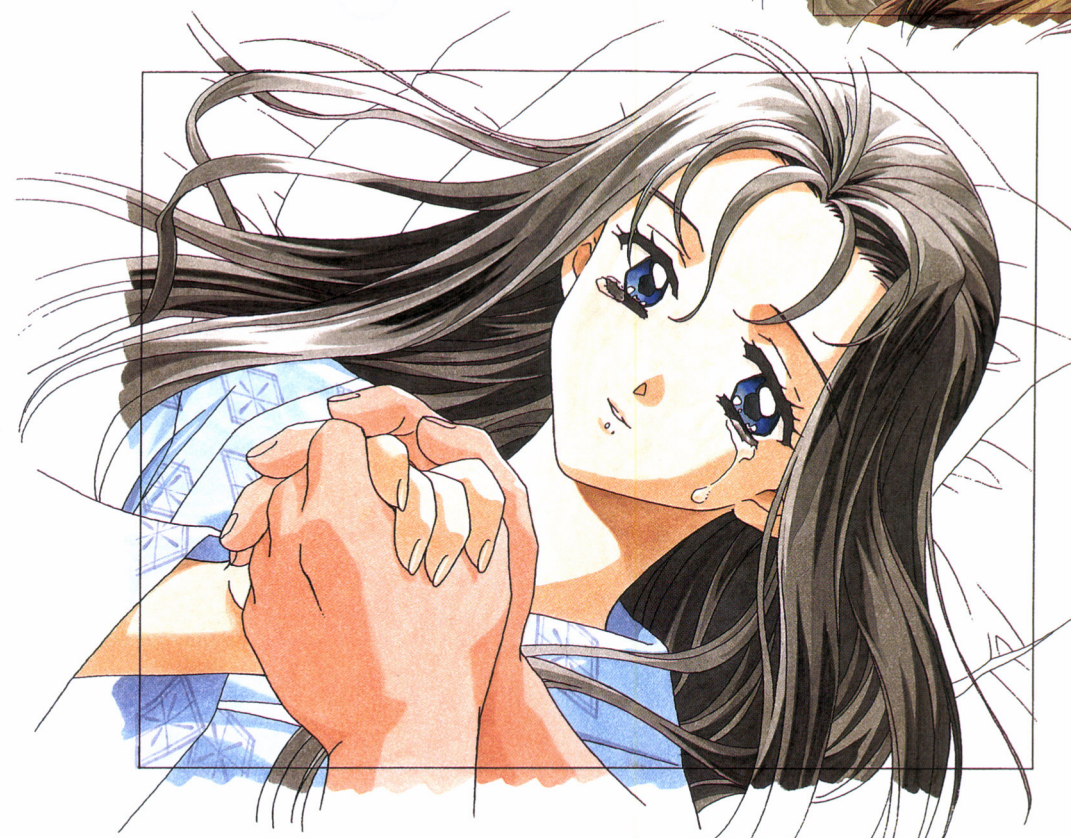
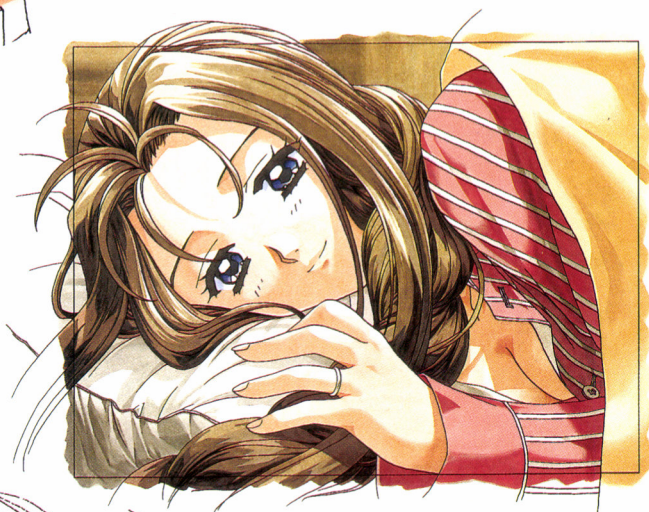
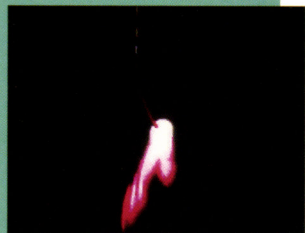
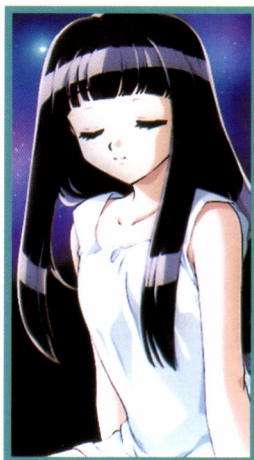
Mikage

## 深　景

7年前、蜻蛉海岸で主人公と運命的に出会った女性。艶やかな長い黒髪と、深くおだやかな海色の瞳が印象的。あてのない旅を続けている彼女は、自分をとりまく世界を愛し、それを美しい言葉で語り、やさしい絵を描いていた…。強く惹かれあい、想いあっていたふたりだが、深景は、主人公の心に大きな影を残して突然消えてしまう…。

…さく、さく、さく。
波の音に混じって、何かの音。
その音に、眠るような時間から目覚めた。
…さく、さく、さく。
…さく、さく、さく。
それは砂を踏んで歩く、誰かの足音だった。
俺の背中の方から、こちらに近づいてくる。
…さく、さく。
足音が俺の後ろで、立ち止まる。
真夏の真っ黒な影が、俺の上にかぶった。

Mikage

わたしは…。
わたしは、みかげ…。
深いに景色の景って書いて、深景…。

「今日は水平線、少しぼやけているわね」
深景さんは、遥か海の彼方を見渡しながら言った。
「向こうの方が、霞んで見えるわ」
「今日は暑いからね」
そう俺は答え、彼女と同じ方向に目を向けた。
海面は、盛夏の日射しに熱せられて、
蜃気楼のように揺らめいている。

「夜の海は夜空を映す、
黒く磨かれた鏡なの」

「だめ…あんまり優しくしないで…」

海を見ていると…。
不意に目に涙が滲むのは、
なぜなんだろう。
水面に跳ねる光が、眩しいせいか？
潮風が、目に染みるためか？
それともあるいは、心に…。
Mikage
「ありがとう、生きる勇気をくれて」
真っ直ぐに見つめてくる瞳。
澄んだ輝きをたたえる、深い海色の瞳。
俺も目を逸らさずに、その目を見つめ返した。

「なんだか…初めてするみたい」
「え、どうして？」
「私…すごくドキドキしてるもの」
自分の膨らみの上から、心臓に手を当てて言う。
「ほら…あなたも触って確かめてみて」

深景さんが、うっとりと目を細めて呟く。
「あなた…好きよ」
「あ…」
身体を起こし、抱きついてきた深景さん。
僕もそれに応えて、自然に唇を寄せ合っていた。

Mikage
「深景さん…」
「あったかいわね、あなたの身体…」
「深景さんも温かいよ…」
「この温もりが、ずっと恋しかったの…」
「ごめんな…」
「いいの…こうしていれば幸せだから…」
「深景さん…」
「私、はっきりと言える…今は幸せだって…」
「うん…僕もだよ…」
…私はどこにもいかないから。
…あなたの側にいるから。
…ずっと、ずっとよ。
…キス、して。

**「こんばんわ、よしひろくん」**
**「ねえねえ…」**
**「今日はよしひろくんに、しつもんがあるの」**
**「よしひろくんは、うんめいって信じる？」**
**「あのね、わたし思ったの」**
**「織姫と彦星の出会いも、もしかしたら、**
**うんめいだったのかなあって」**

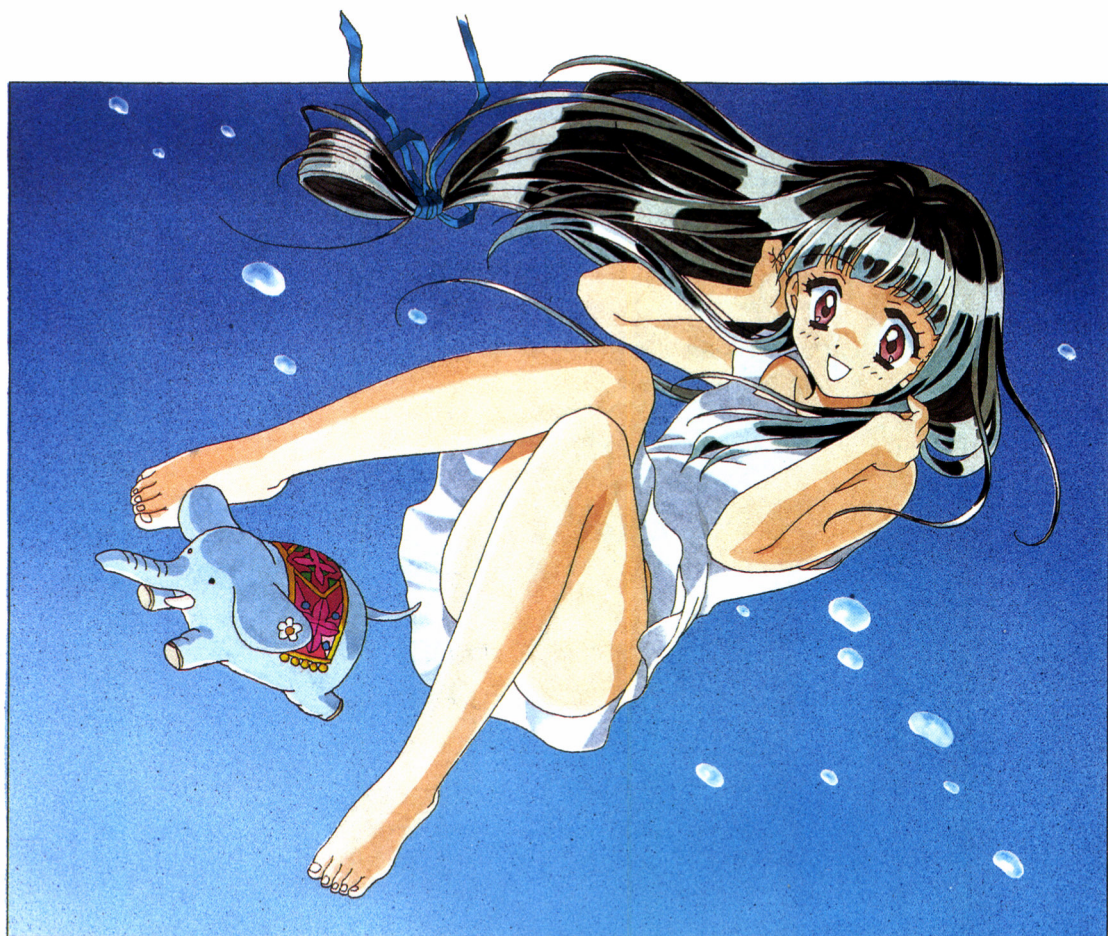
## 謎の少女

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

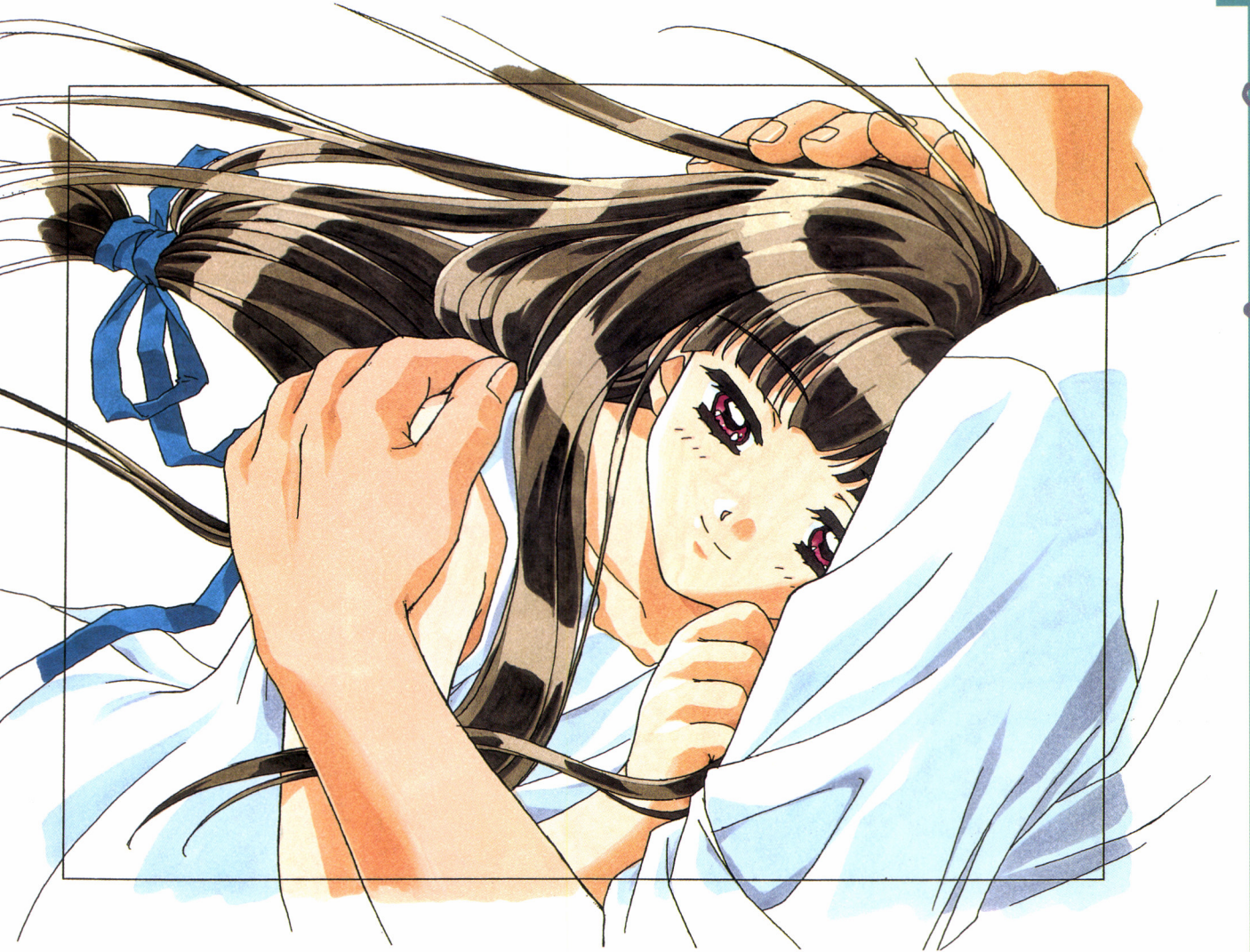
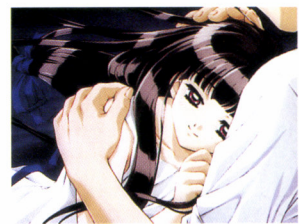
「よしひろくん」と愛くるしい笑顔で呼びかけてくる無邪気な彼女は、野を吹きぬける風のように主人公の前に現れ、そしていつのまにか去っていく…。まるで精霊のような、不思議議な少女。その姿も声も幼くあどけないが、妙に大人びた話し方をする。星空の下で彼女が語る、蜻蛉海岸に伝わる織姫と彦星の物語が意味するものは……。

「あれは…」
自分だけに聞こえる小声で、僕は呟いた。
…あの少女だ。
名も知らぬ、でもなぜか親しげなあの少女。
少女は、一糸まとわぬ姿だった。
透き通るほど白い肌を、朝日の元に晒している。
「くすくす…」
ひとり波と戯れるように、少女は微笑んでいた。
手のひらにすくい取った水を、肩から掛ける。
…ぱしゃぱしゃ。
流れ落ちた水が、水面に弾けて水音を立てる。

「くすくす…くすくす…」
朝の渚に、少女の無邪気な笑い声が
響き渡る。
僕は放心したように、その光景に
目を魅かれていた。

「くすくす…ここが海のくによ」

半月の光を浴びて、静かに広がる真夜中の砂浜。
…いた。
波打ち際にたたずむ、小さな後ろ姿。
月明かりに照らし出され、透き通るように白い肌が、
闇に浮かび上がっている。

「今日もお月様は、笑ってるね」

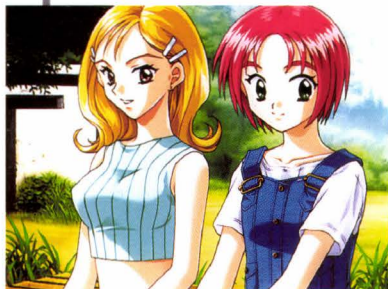
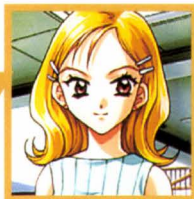
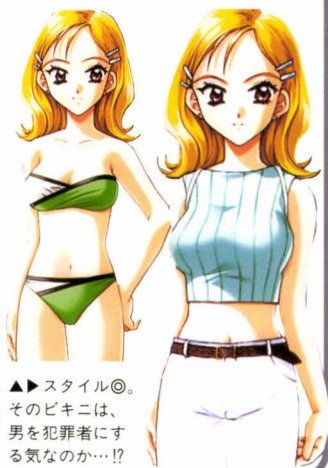
# 「私…ずっと…こうしてもらいたかった…」

最後まで、ずっとこうしていよう。
ふたりでこうしていられる、最後の瞬間まで…。
ずっと、ずっと…。
ふたりで…。
このまま…。

**「時間が…止まってしまえばいいのに…」**

# the OTHER CHARACTERS

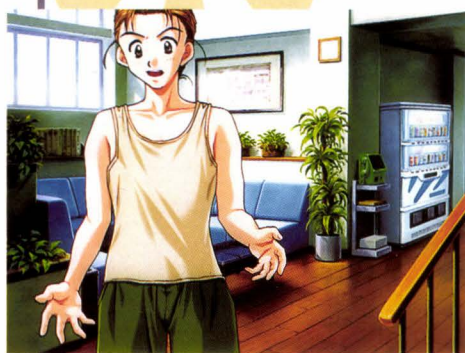
ヒロインたちのストーリーに、微妙にも深長にも関わってくるキャラクターたち。彼ら自身の抱えているドラマにも注目しよう。

「あの子が本当の恋に出会うまでは…」

## 杉野治美
［すぎのはるみ］

東陽学園3年B組、演劇部所属。成績優秀でサマースクールの実行委員も務める彼女は、その明るいセクシーさで男のコにもモテるようだ。幼い頃から一緒にいるちなつにしてみれば、治美は自慢の「姉」であり、またコンプレックスの対象でもあるのだろう。だが、幼くて不器用なちなつを見守る、治美の強く厳しい口調の裏側にはやさしさがあふれている。そんな彼女とは結ばれない運命なんて…。

▲いつも一緒の2人。一度叱られてみたい

▲▶スタイル◎。そのビキニは、男を犯罪者にする気なのか…!?

「アイツのことなんて、忘れちゃえよ」

## 伊藤先輩
［いとうせんぱい］

▲想いが真剣だったからこそ、おさえられない怒り

東陽学園バスケット部の副キャプテン。当然ながら運動神経はバツグン、ビーチバレーでも活躍する。仕切り屋で、みんなにイイ顔をするお調子者の彼だが、2年前から部のマネージャーに誘い続けている奈緒への気持ちは、確かなようだ。

## ＊森先生
［もりせんせい］

東陽学園の体育教師で、1年3組の担任。サマースクールの引率をしているが、生徒たちの評判はよくない。

## ＊豊嶌先生
［とよしませんせい］

サマースクールを引率する保健の先生。日射病で倒れる生徒のケアで大変。

## ＊萬納寺くん
［まんのうじくん］

ビーチバレーでちなつとペアを組む1年の男子生徒。色白で頼りなげ。

「なんや兄ちゃん、ヒマそうやな〜」

## 管理人さん
［かんりにんさん］

◀実は酒豪だった由織と、見かけによらず下戸の管理人さん。子育て問題に悩むその姿は、りっぱに父親だ

東陽学園が所有する施設「天山荘」の若き管理人。長髪にアロハ、そして関西弁という特異なキャラクター。どこかテンポのずれた由織に軽〜くツッコミを入れつつ、彼女を「川奈のお嬢さん」と呼ぶことなど、2人の関係や彼の経歴も非常に興味深い。ユウキの母親との離婚が原因で、しばらく女性と生活をともにすることはなさそうだ。傷ついたカモメを世話している。

▶悪さをしたユウキに思わず声を荒げるが

「……クウ、クウ、クウ！」

## ジョナサン
［じょなさん］

奈緒に名付けられた管理人のペット。寮の裏に仮住まい。

「おやじなんか、だいっきらいだ…！」

## ユウキ
［ゆうき］

管理人とアメリカ人の母親との間に生まれた男のコ。普段は隣県の管理人の実家に預けられているが、夏の間は蜻蛉海岸に遊びに来ている。幼くして母親と別れたユウキは、母性愛のかたまりのような由織になついており、主人公をことごとくライバル視する。

▲誕生日も一緒の2人は仲よくケーキ作り

波の音をBGMに運命の糸は紡がれていく。各キャラクターごとのフローチャート、CGリストで彼女たちの夏を見届けよう。

# Refrain:Two
## [攻略編]

静かに降りしきる雨。

細かい霧雨は、見渡す限り一面の光景を、

乳白色の世界に染めていった。

真っ白に霞み、輪郭のぼやけた光景。

まるで墨絵のように、奥行きと色合いが失われる。

そして夏らしい喧噪も聞こえない。

雨宿りでもしているのか、あれほど森を

騒がせていたセミたちも声を潜めていた。

今はただ、すべてが雨音の元に静まり返っている。

…雨は海辺から、「夏」を拭い去っていったのだ。

～奥深いストーリーをじっくり味わいたいというアナタに贈る～

# Refrain Blueを快適にプレイする方法

GAME SYSTEM

## もつれた運命の糸をほどくために……

**閉じた運命の環、くり返す出会いと別れ…。壮大なスケールで「運命の恋」を描いた『リフレインブルー』の、構造とシステムを徹底解析！キミの出会うべき相手は見つかるだろうか…？**

## CHAPTER 1 ［目的］：過去と現在を旅して見つける、真実の想い

object

### ■「運命の糸」で結ばれている相手とめぐりあう

主人公は7年前、ある海岸でひとりの女性と出会い、恋をした。彼女の名は「深景」…。

時を経てこの夏、バス会社の添乗員となった主人公は、東陽学園のサマースクールに同行し、ふたたびあの海を訪れることに……。

物語は、こんなプロローグで始まる。プレイヤーが操るのは、もちろん主人公「松永善博」。彼は、深景との数えきれない想い出を残した「蜻蛉海岸」で、東陽学園の生徒30数名と夏の1週間を過ごすことになるのだ。

プレイヤーの第1の目的は、この限られた期間中に主人公の「運命の相手」を探すこと。そして、その相手と想いをかわしあい、2人の絆を強めることだ。もちろん、ゲーム開始の時点では、まだ姿すら見せていない女のコもいる。「糸」をたぐり寄せて、まずは、彼女たちと出会うことが最初の目的になるぞ。

◀▲登場する女のコは6人。それぞれが主人公と深いつながりを持っているはず。その絆をさらに強めていくのはキミしだい……？

**『リフレインブルー』ゲームの流れ**

- ゲームスタート
- ↓
- 8月3日の朝を迎える
- ↓
- 女のコと親しくなる
- ↓
- 8月8日の朝を迎える
- ↓
- 女のコのエンディングを見る（→くり返し：8月3日の朝を迎えるへ）
- ↓
- 真実のエンディングを見る

### ■過去への想いを超えたとき、本当の物語が始まる

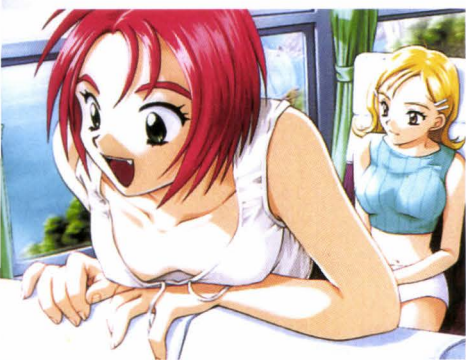
出会うべき女のコと出会い、結ばれただけでは『リフレインブルー』は終わらない。主人公は「糸」が結ばれているそれぞれの女のコと触れあいつつ、同時に7年前の深景との様々な出来事を思い出していくことになる。

さらに主人公の前に現れるミステリアスな少女や、夢の中で機を織り続ける「織姫」の存在……。これらの不思議な人物と、深景の想い出、新たな運命のもと結ばれた女のコとの絆。この3つが交じりあうとき、それまでとは装いの異なる新たな「物語」が展開する。

この物語を進め、真実のエンディングにたどりつくこと。これが第2の目的だ。謎の少女と織姫、その正体と目的。くり返す悲しみ。すべての真相が明らかになるとき「運命」という鎖から解き放たれて、主人公の想いも、深景の想いも、その行く先が見えてくる……。

## ■攻略できる女のコは5(+1)人!?

主人公と「運命の糸」が結びついている女のコは、深景を入れて全部で6人。その中でも特別な存在である「深景」を除くと、純粋に「攻略」できる女のコは5人になる。

ただし、1回目のプレイ時からすべての女のコが登場しているわけではない。ある女のコを出現させる条件は、他のキャラクターをクリアしていること。つまり、特定の女のコとエンディングを迎えていないと、次の女のコが出現しないのだ。また、キャラクターの攻略順序が最初から決められていることも大きな特徴だ。もちろん、複数キャラクターの同時攻略は不可能な構造になっているぞ。

▲プロローグに登場する彼女と糸は結ばれてるのか？

## ■根底に流れる「深景」の存在

新たに出会う女のコたちとは別に、主人公の心の中に住む女性、それが「深景」だ。7年前の夏に彼女と過ごした蜻蛉海岸は、主人公にたびたび切ない記憶を呼び起こさせる。

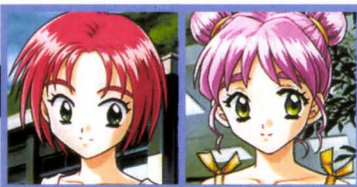
この「深景の想い出」は、各女のコの攻略とともに「真実のエンディング」に到達するための重要なファクター。プレイヤーは5人を追いかけながら、同時に7年前の出来事も知る必要がある。ポイントは、攻略対象の女のコにあわせて、深景の想い出も変化すること（対応については、右の基本構造を参照）。この事実は何を示しているのだろうか……？物語を進めれば、真実は自然と見えてくる。

▲ストーリーの主軸となる「深景」の存在。様々な女のコと関わるたびに、彼女の物語も進んでいくことに……

## 『リフレインブルー』の基本構造

「深景の回想」のナンバーは、P.54以降の攻略チャートの「深景回想」ナンバーと対応。

### 登場する女のコの流れ

**第1段階**

**岩崎ちなつ**
**森沢奈緒**

初回のプレイ時から登場する2人。どちらからでも攻略可能だが、ちなつの方が望ましい。

**第2段階**

**津賀島つぐみ**

奈緒のストーリーが終了すると、登場するようになる（ちなつ未攻略でも登場）。深景との別れについても重要なキーワードが出現する。

**第3段階**

**川奈由織**

つぐみのエンディングを見ると、由織チャートに入れるようになる。途中までは雫と共通ルート。深景の回想シーンが少ないことが特徴。

**第4段階**

**早瀬　雫**

上記4人が終了していないと、由織チャートから雫チャートに入る選択肢が出現しない。深景との回想でも、新たなシーンが登場する。

**第5段階**

**???**

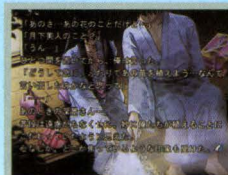
雫まで、全員のエンディングを見ると突入する最終チャート。ここですべての謎が明らかになる。最後に主人公を待っているのは…？

**True Ending**

### 深景の流れ

**深景の回想(1)～(9)**

「置き手紙で別れを告げる深景」の回想

**深景の回想(10)～(11)**

深景の回想で変化のあるつぐみチャート

**深景の回想(12)～(13)**

由織チャートで「お月様と人魚」の回想

**深景の回想(14)～(17)**

雫チャートでは、深景と笑顔で別れる…

どこか…
どこか遠いところから…
**かすかな音が**
**聞こえてくる。**
繰り返し、繰り返し、
繰り返す音……

## ■選択肢に含まれる様々な意味

**ゲームは、出現する選択肢をプレイヤーが選んで進んでいくオーソドックスなアドベンチャーになっている。ここでは、その選択肢の種類と意味を解説。プレイヤーの選び方次第で、主人公の運命も変わってくるぞ……!?**

### ❶場所を選ぶ選択肢

主人公が次にどこへ行くかを決定する選択肢。選んだ結果によっては出会う相手が違ったり、または会うべき人物が出現しなかったりする。②と関連づけられることが多い。

▲選んだ場所によって、攻略ルートから外れることも

### ❷行動を選ぶ選択肢

相手に対して、主人公がどう対応するかを決める。ゲーム中では、出現する割合がもっとも高い。エンディングやグラフィックの出現にも関わる重要なものが多いので要注意。

### ❸好感度に関係する選択肢

主人公に対する女のコの好感度を決めるもの。『リフレインブルー』の場合、好感度がマイナスになる選択肢はない。どちらを選べばより高ポイントを獲得できるかの選択になる。

▲ちなつ、奈緒、由織、雫の4人は好感度の判定あり

## ■エンディングの種類とそれぞれの要因

『リフレインブルー』のバッドエンディングは2種類。その1つは、何事もなく最終日の8月8日の朝を迎え、蜻蛉海岸を去るパターンで、好感度の不足が原因であることが多い。

もう1つは織姫が現れ、メニュー画面にもどる場合。決定的な選択肢を間違えたときに発生する。両方とも「運命の糸」は結びつかないままで、次に攻略すべきコも登場しない。

◀バッドエンドだと、8月8日の朝に「謎の少女」が登場することも…

### 環境設定の賢い使い方

～ 環 境 設 定 編 ～

**①画面エフェクト**
画面上でのフェードイン、アウトなどの映像効果を使うか、使わないかを設定できる。

**②マウスコントロール**
画面上にカーソルを表示するか、しないかを決定できる。必要時には自動的に出現する。

**③テキストスピード**
ゲームテキストを表示する速さを調整できる。ＭａｘからＭｉｎまでの５段階から選択可能。

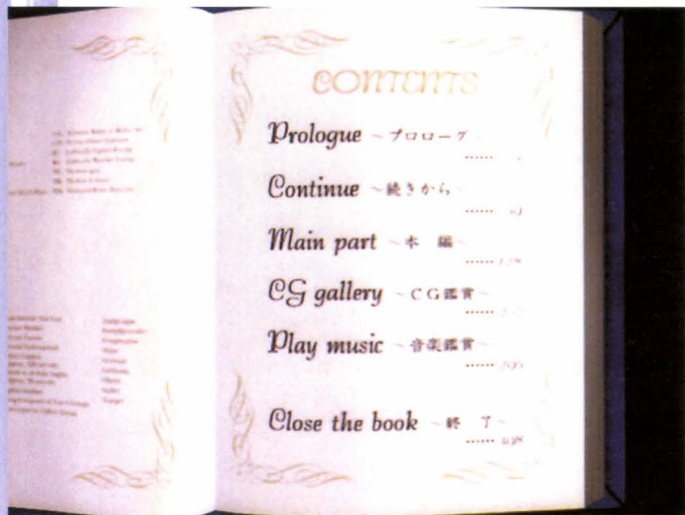
～ 音 響 設 定 編 ～

**①音量設定**
ＢＧＭ、ＳＥ(音響効果)、ボイスの音量を５段階で調節できる。ただし、それぞれの項目でＯＦＦを選んでいる場合は選択できない。

**②BGM・SE**
ＢＧＭ、ＳＥを使うか、使わないかを選択。この項目でＯＦＦを選んでいる場合は、「音量設定」で調整することはできないので注意。

**③音声**
女のコ、主要キャラクター、他キャラクターに分けて音声を使うか、使わないかを選択できる。インストールしたものは「赤字」、していないものは「×」印で表示されている。

## ～メニュー画面の活用方法～

●快適にプレイを進めていくために、メニュー画面を上手に使おう!!

### ❶プロローグ
［Prologue］

初めてゲームをする場合は、ここからストーリーが始まり、7年前の深景との出会いを体験する。2回目以降は省略できるようになる。

### ❷続きから
［Continue］

セーブデータのロードができる。ゲーム中ではストーリーのどの場所でもセーブは可能。「セーブデータの初期化」を選ぶと、オールクリアの状態で、最初からプレイできる。

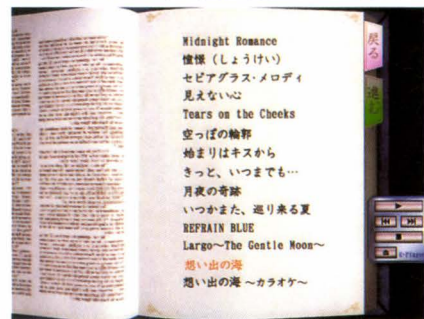
### ❸本編
［Main Part］

プロローグは1度見れば省略できるので、通常のゲームはここから始まる。新しい女のコと出会うには、新たにゲームを始めた方が近道になるぞ。

### ❹CG観賞［CG Gallery］

1度エンディングを迎えるとメニュー画面で選択できるようになる。それまでに見たイベントCGが一覧でき、まだ見ていないものは「NO　GET」と文字のみが表示される。

### ❺音楽鑑賞
［Play Music］

こちらも1度エンディングを迎えることで、メニュー画面で選択できるようになる。表示された曲名一覧から選択できるが、ゲーム中でまだ聴いていない曲は選ぶことができない。

▲楽しそうなタイトルが並ぶ音楽鑑賞のメニュー画面

### ❻終了
［Close the book］

ゲームを終了する。メニュー画面までもどらなくても、プレイ中に終了することも可能。

8月3日 炊事場 偶然×偶然＝必然!?

B12 炊事場 ちなつ 野菜切りを手伝う
B13 炊事場 奈緒・伊藤 かまどの使い方を教える
B14 自分の部屋 浴室へ向かう
B15 浴室 入浴する
B16 浴室 由織 浴室内に由織がいる
B17 自分の部屋 奈緒 奈緒が食事を持ってくる
B18 縁側 謎の少女 七夕の話を聞く（1回目）
B19 自分の部屋 織姫の夢を見る（1回目）
奈緒チャート❸へ

Route Check

奈緒の好感度について

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 | シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|---|---|---|
| B23 | 「奈緒ちゃんと同じペアになれてよかったよ」 | +8 | B50 | 「管理人さんが飼ってるのって、なんだろうね」 | +4 |
| | 「奈緒ちゃんは、僕とペアでよかったのかな?」 | +6 | | 「ところで奈緒ちゃんは、家でなにか飼ってる?」 | +6 |
| B25 | ビーチバレーで圧勝 | +10 | B60 | 「…いや、暑いけどそれは出来ない」 | +10 |
| | ビーチバレーで逆転勝ち | +8 | | 「……」 | +4 |
| | ビーチバレーで逆転負け | +6 | | | |
| | ビーチバレーで完敗 | +4 | | | |

## ■攻略ページの読み方

次ページからのキャラクター別の攻略記事の見方を解説。

### ❶イベント発生日時

そのイベントの発生する日時と場所を示す。複数のイベントが重なる場合はメインのみ表示してある。

### ❷攻略チャート

その女のコの攻略に必要なイベントごとに、ルートを掲載してある。基本的には個人別になっているが、由織・雫のみ、一部が共通チャート。くわしい読み方は下図「攻略チャートの読み方」を参照のこと。

### ❸ストーリー紹介

本攻略で設定したルートに沿ったストーリー解説。ただし、すべてのイベントを網羅しているわけではないので、あらかじめご了承を。

### ❹ルート・チェック

掲載したチャートの分岐条件の説明、正しい選択肢などを解説。丸数字の分岐番号は、チャート内の分岐ナンバーと対応している。選択肢の決定やルート選択に迷ったときは、ここを参考にしよう。

### ❺好感度について

好感度に関係する選択肢を掲載。各シーンナンバーは、チャートと対応している。つぐみは好感度判定がないため、掲載していない。

▲本人の登場しない場所でも出現する!?

## ■キャラ別チャートの読み方

攻略チャート内の各記号と意味の凡例。右図を参考に。

つぐみルート❷
C12 炊事場 ちなつ 野菜切りを手伝う
6
森の中に戻った
炊事場を見て回る
7
C13 炊事場 つぐみと友人の会話を聞く
C14 炊事場 奈緒・伊藤 かまどの使い方を教える
ちなつチャート P.55 シーンA18へ
C15 自分の部屋 浴室へ向かう
ちなつチャート P.55 分岐❹から
8
C16 浴室 入浴する
C17 浴室 由織 浴室内に由織がいる
9
C18 自分の部屋 奈緒 奈緒が食事を持ってくる ★ ♥
C19 縁側 謎の少女 七夕の話を聞く（1回目）
C20 自分の部屋 織姫の夢を見る（1回目）
つぐみチャート❸へ

■ちなつチャート
■奈緒チャート
■つぐみチャート
■由織チャート
■雫チャート
■深景チャート

### ❶チャートナンバー

女のコの何番目のチャートかを明記。一番多いつぐみで⑫まである。

### ❷イベントシーンナンバー

英字はチャートの種類（A＝ちなつ、B＝奈緒、C＝つぐみ、D＝由織、E＝雫）を、数字はその中で何番目のイベントかを示す。

◀普通の会話シーンも、一つのイベントと数える

▶グラフィック画面のみ、CGギャラリーに加わる

### ❸イベントが発生する場所

主人公が移動した場所。攻略キャラクターと直接関係のないイベントの場合や、選択肢のともなわない移動は「〜」で省略している。

### ❹登場する人物

主人公が会う人物を表示。空欄は、相手が出現しない場合を示す。

### ❺イベント説明

イベントの内容を表示。緑色で示した箇所はグラフィックが出現。

### ❻分岐ナンバー

分岐が発生する場合に表示。そのキャラクターの攻略が2回目以降の場合のルートも掲載している。「ルートチェック」の丸数字と対応。

### ❼選択肢

攻略に必要な選択肢を掲載。「ルートを決定するもの」「攻略上、選ばなければいけないもの」は黄色で、それ以外はグレーで表示してある。

▲ルート選択に関係するもののみ掲載

### ❽他キャラチャートへの移動

他キャラクターのルートへの移動を示す。進行中のキャラクターは、攻略不可能になることが多い。

### ❾他キャラチャートからの移動

他キャラクターのルートから移動してきた場合の合流地点を示す。移動直前の分岐ナンバーから表示。合流後このまま進めれば攻略可能。

### ❿次のチャートナンバー

次に進むチャートナンバーを表示。エンディングも明記してある。

### ⓫選択肢出現マーク

★マークは、どちらを選んでも問題ない選択肢が出現。♥マークは好感度に関係する選択肢が出現。

### ⓬メインルート

初めてプレイする場合にメインとなるルートを各キャラの色で表示。

IWASAKI CHINATSU

夏の象徴のようなまぶしい笑顔が魅力のちなつ。胸の奥の寂しさを感じ取り、思いきり甘えさせてあげよう！

# 岩崎ちなつ

IWASAKI CHINATSU

## 8月3日　西の海岸

## 彼女が水着を着ない理由

8月3日、主人公「松永善博」は、東陽学園の生徒たちとともに過ごす、蜻蛉海岸での「最初の朝」を迎えた。何か不思議な夢を見た気もするが、よくは思い出せないまま……。

そして、彼の足は自然と朝の海辺へ。そこは7年前の夏、あの女性……深景さんとの出会いの場所だったのだ。脳裏によみがえる彼女の声、面影、そして……。だが、ふいにかけられた幼い声に、その物思いは破られる。「よしひろくん、こんにちは」。初対面なのに、どこか懐かしいその少女は、彼に困惑を残したまま消えた。

午後、今度はサマースクールに参加しているちなつ、治美とともに浜辺へ向かう。熱い太陽の下、大胆な水着の治美と、水着を忘れたというちなつの会話に、苦笑するしかない主人公。そんな彼に、ちなつは夏のひまわりのような笑顔を向け、「妹になってあげる」と申し出るのだった。

先輩の方ばっか見てお話してるんだもん…

▲大胆な治美の水着に、主人公の視線はクギづけ…？

### ▶Route Check▶

分岐①は「時間まで待ってる」を選択。散歩に出かけた場合、つぐみまでクリアしていると、分岐②で林の中に雫が出現して由織（雫）チャートに移行する。

分岐④の選択肢は、1度奈緒をクリアしていると出現。それ以前は自動的に分岐③の直線ルートを通る。ちなつの攻略にはどちらを選んでも問題はない。

分岐⑤では、シーンA07を見ていると奈緒が出現する。分岐⑥は、ちなつを日射病にしたければ右、ビーチバレーをしたいなら左。ちなつのクリアを目指すなら前者が楽だ。分岐⑦では、奈緒の攻略が完了していて、さらにシーンA11で「日焼け止めを塗った方がいい」を選択しているとつぐみが現れるようになる。

## CHINATSU CHART 1

ちなつチャート❶

8月3日

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A01 | 玄関 | 由織 | 散歩を勧められる |

❶ 時間まで待ってる → A04 ／ 悪くないかな → ❷

❷ → A02 または A03

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A02 | 林 | | 散歩する |
| A03 | 林 | 雫 | 名前を教えてもらう |

A03 → 由織チャート P.82 シーンD03へ

由織チャート P.82 分岐❶から → A04

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A04 | 食堂 | 由織・管理人 | 由織に朝食の礼を言う |
| A05 | 食堂 | ちなつ・治美 | 午前中は水泳の授業だと聞く |
| A06 | 東の海岸 | 謎の少女 | 名前を呼ばれる |

❸ → A07 ／ ❹

❹ 少し寄り道をする → A07 ／ 寮までの道をたどる → A08

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A07 | 岬 | | 深景の回想（1）★ |
| A08 | 寮の前 | 由織 | 小さな女のコは住んでいないと聞く |

奈緒チャート P.64 分岐❹から or 由織チャート P.82 分岐❷から → A08

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A09 | 食堂 | ちなつ・治美 | 午後、一緒に遊ぼうと誘われる |
| A10 | 玄関〜寮の前 | ちなつ・治美 | ちなつは水着を忘れたと聞く |
| A11 | 西の海岸 | ちなつ・治美 | ちなつにおにーさんと呼ばれる ★ |

❺ → A12 ／ ❻

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A12 | 西の海岸 | 女のコ | ボールを取りにくる |

❻ 日焼け止め → ❼ ／ こんがり小麦色

❼ → A13

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A13 | 西の海岸 | つぐみ・ちなつ・治美 | つぐみが写真を撮りにくる |

ちなつチャート❷へ

※各チャートは8月3日から始まりますが、本文中では、ゲームのプロローグで主人公が蜻蛉海岸に来た8月2日から、日数をカウントしています。

## 8月3日　炊事場

# 美味しいとん汁の作り方

楽しかったひとときは瞬く間に過ぎ、主人公はちなつのたっての願いで、飯ごう炊さんの手伝いをするため、炊事場へと行くことに。
今夜のメニューは「カレーライスと豚汁」。しかし、野菜切り担当のちなつは、いきなりごぼうを輪切りにしようとする。あわててそれを止め、結局は彼女に「ささがき」のやり方を実演してみせることになってしまった…。

おにーさんって物知りだねー

### ちなつチャート②

奈緒チャート P.64 分岐❺から or つぐみチャート P.72 分岐❺から

A14 炊事場 ちなつ
野菜切りを手伝う

❽ 寮の中に戻った / 炊事場を見て回る

❿ / ❾

A15 炊事場
そそくさと逃げ出す

A16 炊事場 奈緒・伊藤
かまどの使い方を教える

A17 炊事場
つぐみと友人の会話を聞く

つぐみチャート P.73 シーンC15へ

奈緒チャート P.65 分岐❼から or つぐみチャート P.73 分岐❻から

A18 自分の部屋
浴室へ向かう

⓫

A19 浴室
入浴する

A20 浴室 由織
浴室内に由織がいる

⓬

A21 自分の部屋 奈緒
奈緒が食事を持ってくる

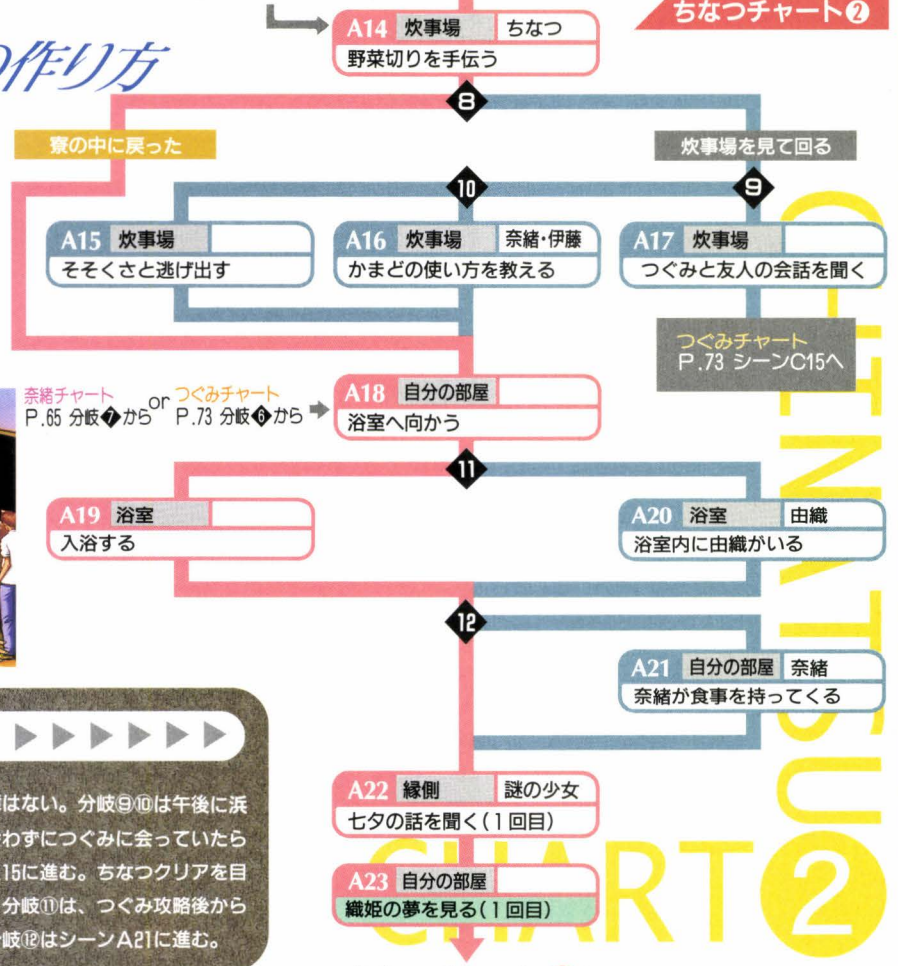
A22 縁側 謎の少女
七夕の話を聞く（１回目）

A23 自分の部屋
織姫の夢を見る（１回目）

ちなつチャート③へ

CHINATSU CHART 2

### Route Check

分岐⑧はどちらを選んでもちなつ攻略には支障はない。分岐⑨⑩は午後に浜辺で奈緒に会っていればシーンA16へ、奈緒に会わずにつぐみに会っていたらシーンA17へ、誰にも会っていないならシーンA15に進む。ちなつクリアを目指すなら、分岐⑧で「寮に戻った」を選ぶべき。分岐⑪は、つぐみ攻略後から右ルートになる。また炊事場で奈緒に会うと、分岐⑫はシーンA21に進む。

## 8月4日　自分の部屋

# 夏の午後、やさしいひととき

日射病で倒れたちなつが、唯一冷房のある主人公の滞在する部屋へと運ばれてきた。やがて気がついた彼女は、主人公の姿を認め、幸せそうに微笑む。穏やかな夏の昼下がり…。

もしかして…、ちなつの寝顔に見とれてた？

▲部屋を出たらあの少女が。どこかで会ったような気がするのだが……

### ちなつチャート③

A24 花壇 由織
花に水をあげている

⓭ 部屋でゴロゴロする / ちょっと迷ってる

⓮

A25 食堂〜寮の前 ちなつ
ビーチバレーに誘われる

A26 寮の前 由織
ちなつが運ばれてくる

A27 自分の部屋 ちなつ
ちなつを休ませる

A28 ２階廊下 謎の少女
倒れた人、大丈夫と聞かれる

⓯ ひと汗かいてみる / 今日はやめとく

⓰

A29 西の海岸 ちなつ・治美
ビーチバレーの説明を受ける

A30 西の海岸 ちなつ・治美
ビーチバレーの説明を受ける

奈緒チャート P.66 シーンB23へ

A31 西の海岸 ちなつ・治美
治美とペアを組む

A32 １階廊下 管理人
ボウルを持った管理人に会う

奈緒チャート P.66 分岐❾❿から or つぐみチャート P.73 分岐❿⓫から

⓱ そのボウルは…？ / 食堂の方に向かった

A33 寮の裏 管理人
カモメを見せてもらう

A34 食堂 由織
新聞のある場所を教えてもらう

由織チャート P.83 分岐❾から

ちなつチャート④へ

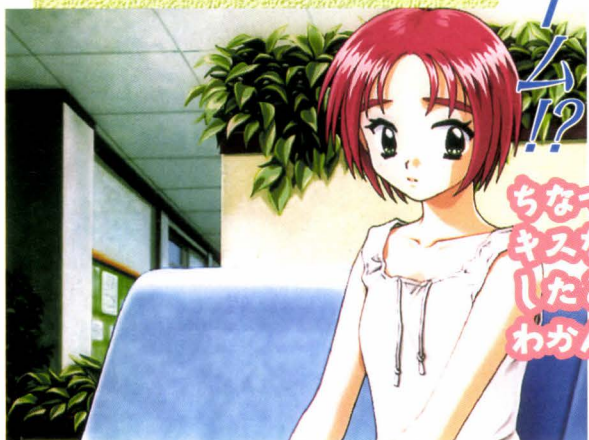
CHINATSU CHART 3

### Route Check

分岐⑬はビーチバレーをするなら右へ。ただしちなつの日射病が優先されるので、P.54分岐⑥で「小麦色」を選んだなら、分岐⑬でどちらを選んでも分岐⑭は自動的に右に。分岐⑮はビーチバレーなら左だが、分岐⑬で「ゴロゴロ」を選ぶと自動的に右に進む。分岐⑯は、炊事場で奈緒と会っていると、彼女とペアを組むようになる。分岐⑰はどちらを選択してもOK。

## 8月4日　ラウンジ

# 危険がいっぱい、王様ゲーム!?

体調全快のちなつから、ラウンジでみんなと遊ぼうとお誘いを受けた主人公。そこで、かの悪名(?)高き「王様ゲーム」で、なんとちなつとキスをしろと命令されてしまう……。

ちなつ…キスなんて……したことないから…わかんないよ

◀突然の事態に、驚くちなつ。落ち着かない瞳が、彼女の動揺を表している

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶

分岐⑱は、1度つぐみをクリアするとユウキを連れた由織が出現するようになる。その後の浴室内でもユウキが登場（シーンA38）して、イタズラをしていく。分岐⑲はちなつが日射病になっているとシーンA39に進み、彼女が看病のお礼を言いに来る。分岐⑳はつぐみを1度でも攻略していると、謎の少女が登場し、七夕の話の続きを聞かせてくれる。七夕の話は、6人の全チャートを通して判明していく。

### ちなつチャート❹

CHINATSU CHART 4

⑱

- A35　1階廊下　由織　入浴することを伝える
- A36　浴室　入浴する
- A37　1階廊下　由織・ユウキ　ユウキを紹介される
- A38　浴室　ユウキ　ユウキに水をかけられる★

⑲

- A39　2階廊下　ちなつ　看病のお礼を言われる
- A40　2階廊下　ちなつ　王様ゲームに誘われる ←つぐみチャート P.74 分岐⓮⓯から
- A41　ラウンジ　ちなつ　みんなで王様ゲームをする

⑳

- A42　縁側　謎の少女　七夕の話を聞く（2回目）
- A43　自分の部屋　織姫の夢を見る（2回目）

ちなつチャート❺へ

## 8月5日　広場

# 本日晴天なり、いざ出発！

8月5日、生徒たちは山登りに出かけることになっている。朝食の席でちなつに、一緒に登ってお弁当も一緒に食べようとお願いされた主人公は、そんなはしゃぐ彼女の姿を見て、快く「OK」の返事をしてしまう。

集合時間、待ち合わせ場所の広場にちなつの姿が見えない。突然、首筋に冷たいものがかけられた。ふり向くと、そこには虫よけスプレーを持った屈託のないあの笑顔。そして、手加減知らずの彼女は自分の分まで使い切り、悩んだ末に、虫が寄らないためには「ずっとおにーさんの側にいればいーんだ」と笑った。

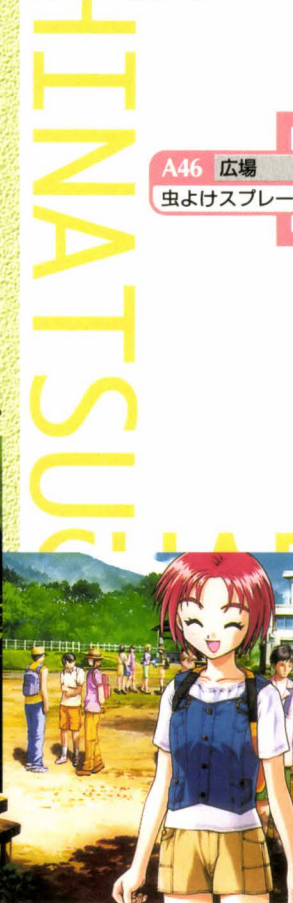
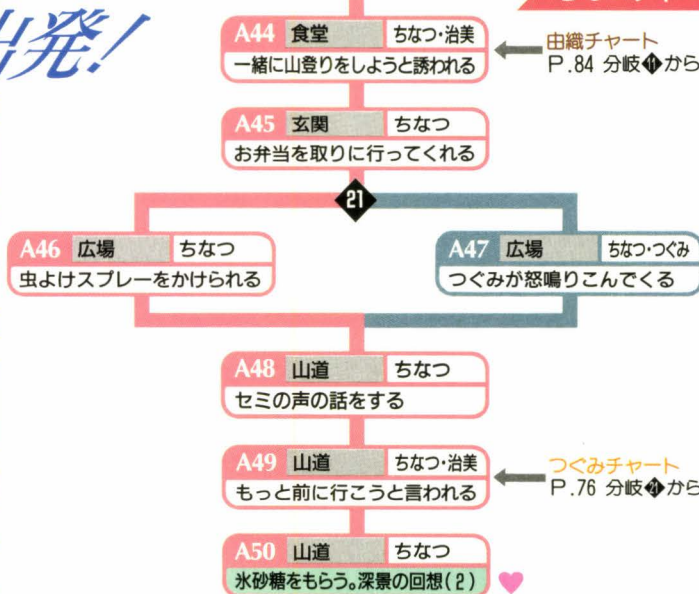
▲緑あふれる中、みんなでハイキングに出発。都会とは違った澄んだ空気が心地よい。もちろん、ちなつはとっても元気

### ちなつチャート❺

CHINATSU CHART 5

- A44　食堂　ちなつ・治美　一緒に山登りをしようと誘われる ←由織チャート P.84 分岐⓫から
- A45　玄関　ちなつ　お弁当を取りに行ってくれる

㉑

- A46　広場　ちなつ　虫よけスプレーをかけられる
- A47　広場　ちなつ・つぐみ　つぐみが怒鳴りこんでくる
- A48　山道　ちなつ　セミの声の話をする
- A49　山道　ちなつ・治美　もっと前に行こうと言われる ←つぐみチャート P.76 分岐㉑から
- A50　山道　ちなつ　氷砂糖をもらう。深景の回想（2）♥

ちなつチャート❻へ

### ▶Route Check▶

分岐㉑は「3日の浜辺でつぐみと会っている」「ビーチバレーをしていて、つぐみがちなつの写真を撮りに来た」「つぐみの下着盗みイベントを見ている」の3つの条件をクリアしていると、右ルートになる。くわしくはP.72からの「つぐみチャート」を参照のこと。

## 8月5日　林

# 晴のち雨…。揺れるちなつの心…

山道へ一歩入ると、そこはセミの大合唱に包まれていた。これじゃ話もちゃんとできないねと、ちなつはちょっと残念そう。しかし、その声を背景に主人公の思いは過去へと遡る。……そこは、彼と深景が初めて恋人同士として触れあった、大切な場所。今も記憶に刻まれている彼女の唇のやさしいぬくもり。懐かしく甘い想い出に、主人公の心は震える……。

▲無邪気になついてくるちなつの笑顔はまるで夏のお日様

▶心の奥深く刻みこんだ想い出はいつでも鮮やかによみがえる

### ちなつチャート⑥

CHINATSU CHART 6

| 番号 | 場所 | 人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A51 | 山頂 | ちなつ・治美 | 3人でお弁当を食べる |
| A52 | 山道 | ちなつ | おんぶをせがまれる ♥ |
| A53 | 山道 | ちなつ・治美 | ちなつが背から降りる |
| A54 | 自分の部屋 | 治美 | ちなつがいないと聞く |
| A55 | 林 | ちなつ | 落ちこんでいるちなつを見つける |
| A56 | 2階廊下 | 治美 | ちなつの幼い頃の話を聞く |
| A57 | 自分の部屋 | | 食事までの時間をどうするか？ |

分岐㉒：部屋をあとにした → A58 浴室　入浴する／時間をつぶした

| 番号 | 場所 | 人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| A59 | 食堂 | ちなつ・治美 | 2人が言い争っている |
| A60 | 自分の部屋 | | 停電が起こる |
| A61 | 縁側 | 謎の少女 | 風鈴を持っている。深景の回想（3） |
| A62 | 自分の部屋 | | 織姫の夢（3回目）。ちなつの夢を見る |

ちなつチャート⑦へ

やがて山頂に着き、約束どおりちなつたちと昼食を取る。しかし、その帰り道ではアクシデントが待っていた。ちなつが足が痛くて歩けないと、道にうずくまってしまい「おんぶしてほしい」とせがむのだ。渋々ながらもちなつを背負って山道を歩き出す主人公。

そこへ、治美が現れ、それまで有頂天だったちなつをいさめると、彼女はまるで魔法にかかったように素直に背中から降りてしまう。その様子に、ふと違和感を覚える主人公。この2人はただ先輩後輩の関係だけなのか…？

やがて夕暮れが訪れる頃、海辺に静かな雨が降りだした。治美を手伝ってちなつを探していた主人公は、寮近くの林の中で、ひとり濡れたままの彼女を見つける。いつもと様子が違う寂しげなその姿に、どう言葉をかけるか、とまどっていると…。「ちなつの気持ちは本当なのに…」。彼女の小さなつぶやきは、雨の名残りが漂う空中に溶けて消えた。

おにーさんのウソつき……。雨、降ってきたよ

### ▶Route Check▶

8月5日にハイキングに行ったか、出発前の広場で誰と話したかの2点で、攻略キャラクターが確定になる。広場でちなつ以外の女のコと会わなければ、ちなつチャートがほぼ決定。以降はしばらく1本道が続き、主要関係キャラクターであるちなつ、治美以外の人物はほとんど登場しなくなる。

このルートでは、ちなつの主人公への気持ちが、「おにーさん」から「好きな人」に徐々に変化している。彼女の微妙な心の移り変わりに注目しよう。また好感度に関係ある選択肢も出現するので注意が必要。基本は、寂しがり屋のちなつを思いきり甘やかしてあげること。ちなみに、分岐㉒は、どちらを選んでも、ちなつの攻略には差し支えはない。

あの子、今は無理をしていると思います

▶姉のようにちなつを見守る治美。2人の強い絆は、いったいどこからくるのだろうか…？

## 8月6日　ラウンジ

### 海を越えて届く声

この海辺で過ごす、4回目の朝。寮の玄関先でちなつと立ち話をしていると、その目前に最初の朝に出会った不思議な少女が現れる。

そして、ちなつに海の向こうにつながるという「魔法の10円玉」を渡して消え去った…。

単純明快なちなつは海外に赴任中のお父さんにかかるかもと、その10円玉をすぐさま公衆電話に入れる。すると、自動的にダイヤルされ受話器から呼び出し音が聞こえ、しかも相手先が出た。しかし、その声はちなつの待ち望んだ父親のものではなかった……。

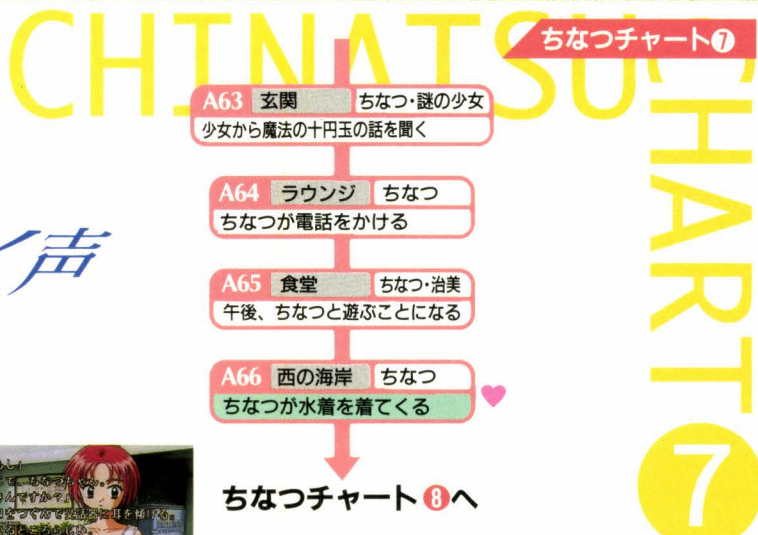
▲電話ごしに届いた声は、父親のものではなかった。けれど、身近なある人の声にとても似ていて、ちなつはとまどう

**もしもし…お父さんですか？**

CHINATSU CHART 7

### ちなつチャート⑦

| | | |
|---|---|---|
| A63 | 玄関 | ちなつ・謎の少女 |
| 少女から魔法の十円玉の話を聞く | | |
| A64 | ラウンジ | ちなつ |
| ちなつが電話をかける | | |
| A65 | 食堂 | ちなつ・治美 |
| 午後、ちなつと遊ぶことになる | | |
| A66 | 西の海岸 | ちなつ ♥ |
| ちなつが水着を着てくる | | |

ちなつチャート⑧へ

### ▶Route Check▶

チャート確定後の1本道。イベントも若干少なめだが、重要なものが多く、ちなつ、治美以外の人物が登場する唯一のチャートでもある。この「魔法の10円玉」の不思議な出来事を通して、ちなつの感情は一気に主人公に傾いていく。そして、ずっと仲よしだったちなつと治美の感情の行き違いから物語はさらに展開する。

## 8月6日　西の海岸

### 今、彼女が水着に着がえた理由

この日の昼食時、ちなつは治美に、今日は遊ばずレポートを書くように言われてしまう。しかし、ちなつは「おに一さんと遊びに行く約束をした」と治美に抵抗を見せ、とまどう主人公に必死の目くばせをしてきた……。

結局、強引に取りつけられた約束にしたがい、主人公は海岸へ。いつしか海を見ながら考えこんでいた彼が振り向くと、そこには、少女らしいビキニの水着に身を包んだちなつが立っていた。彼女は照れたように「カバンの奥の方に、水着入ってたの……」と告げる。そして、必死の表情でわかりやすいウソをつく彼女に笑みが浮かぶ。

おずおずと水着の感想を求めてくるちなつ。そこで、思ったままを伝えると、ちょっと不満そうな、がっかりした様子…。

どうやら、ほがらかで楽天的に見える彼女でも、お姉さん的存在の治美には、かなりのコンプレックスを抱えているらしい。

そして、ここぞとばかりに治美に対する不満を言い始める。自分も嫌いな食べ物があるのに、ちなつには保護者ぶること、何かとからかう、などなど……。頬をふくらませ力説する姿に苦笑しつつも、微妙に崩れそうな彼女たち2人のバランスをもどそうと、主人公はちなつに助言する。その言葉にびっくりしたように考えこむ彼女。そして、何かがふっ切れたのか、すぐさま全開の笑顔を見せた。

真夏の日差しが降り注ぐ中、波と戯れるちなつと主人公。彼女の楽しげな笑い声が、静かな海岸に響きわたる。やがて、ちなつがぽつんとつぶやいた。「ホントはね、この水着、おにーさんに見せたくて着たんだよ」。

……それは本当に小さな声で、波音にさらわれそうになったが、彼の耳にはきちんと届いていた。だが、一途に寄せられる純粋な想いに、微かなとまどいも感じ始めていた……。

### ▶Route Check▶

主人公とちなつのデートに相当するものが、8月6日の海岸でのイベント。ちなみに攻略上ではシーンA66になり、上記のチャート⑦に組みこまれている。

治美との仲たがいから、主人公を誘って海岸に遊びに来たちなつ。忘れたと主張していたはずの水着を着てくることが大きなポイント。それは、主人公への彼女のささやかな意志表示なのだ。言葉や態度の端々にも、ほのかな恋愛感情が見え隠れし始める。

**でもホントは…もう妹だけじゃやだな……**

▶元気印のちなつだって、いろいろ考えることはある。でもやっぱりトレードマークは、この笑顔！

## 8月6日 寮の裏

# 笑顔の下に隠された真実

その事件は、ちなつと海岸で過ごしたあと、食堂で起こった。いつもとは違う席で夕食をとろうと、主人公を誘ったちなつ。そして、うれしそうに食事をする彼女の前に治美が現れ、厳しくたしなめて、普段の席へと連れもどそうとする。だが、納得できないちなつは、思いきり怒りを爆発させてしまう。その激しい調子に食堂の全員が動きを止めて見つめる中で、ただ静かに言葉を返すだけの治美……。

食事をすませた主人公は、話があるという治美にしたがい、薄暗い寮の裏手へ向かった。ちなつに関することだろうと、察してはいた主人公だったが、そこで治美から告げられた内容は、彼を驚かせるには充分すぎた。ちなつと自分の関係、彼女がはしゃいでいた理由。そして、ちなつの正体……。すべてを語り終えると、治美はそっと頭を下げた。「もう、あの子を甘やかさないでくれませんか……?」。

治美と別れてラウンジにもどってきた主人公を、ちなつがぽつんと待っていた。姿を見つけて、子犬のようにすり寄ってくるちなつ。楽しげに昼間の海岸でのことを言い募ってくる彼女も、話が治美のこととなると、途端に口を閉ざしてしまう。2人が自分のことを話していたことに気づいている様子だ。「おにーさんはちなつが迷惑?」と、不安で揺れる瞳に、彼はやさしく首を振ってみせた。

そして、ちなつへの接し方に悩む主人公は、例の少女と花火をする。淡い回想の光の中、少女は消えて…。

## CHINATSU CHART 8

**ちなつチャート8**

| | 場所 | 人物 |
|---|---|---|
| A67 | 食堂 | ちなつ・治美 |
| | 2人が言い争っている | |
| A68 | 玄関 | 治美 |
| | 話があると言われる | |
| A69 | 寮の裏 | 治美 |
| | ちなつの素性を聞く | |
| A70 | ラウンジ | ちなつ |
| | 治美と何を話したのか尋ねられる ♥ | |
| A71 | 縁側 | 謎の少女 |
| | 花火をしている。深景の回想(4) | |

ちなつチャート9へ

### ▶Route Check▶

ちなつの真実が明らかになる、物語の核心にせまるチャート。ちなつのことを本気で心配している治美から、彼女の秘密を打ち明けられることになるのだ。

ここで重要になるのは、ラウンジで出現する選択肢(シーンA70)。ちなつの好感度に関係ある選択肢の中では、答えの差がもっとも大きくなっている。好感度のくわしいデータは、下記コラムを参照してほしい。

本当にちなつって、そんなにワガママなのかなぁ…

もう、ちなつを…甘やかさないでくれませんか?

▶昼間とはうってかわり、頼りなげなちなつの姿。自分の気持ちを整理しようとして、肩がふるえる

CHECK&CHECK

## ちなつの好感度について

**ちなつ攻略の基本は、彼女にとことんつき合ってあげること。また、純粋なちなつにはウソも厳禁だ。**

ちなつチャート内に出現する選択肢で、好感度に関係するものは以下の5つになる。合計40点のうち24点を獲得すれば、好感度の条件はクリアしたことになる。

ちなつの場合は、基本的にはすべての選択肢がどちらを選んでも、合格点に達するようになっている。ただし、ちなつが日射病になるイベントを発生させないと、シーンA27の選択肢自体が出現しなくなるので注意。また、彼女にウソをつく選択肢もポイントが低くなっている。

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンA27 | 「そうか…じゃあ、熱はないかな?」 | +10 |
| | 「我慢せずに、僕に何でも頼んでいいんだからね」 | +8 |
| シーンA50 | 「じゃあ、僕がもらってもいいかな?」 | +8 |
| | 「ちなつちゃん、じゃんけんして決めようか?」 | +6 |
| シーンA52 | 「仕方ないな、下までおんぶしていってあげるよ」 | +6 |
| | 「甘ったれるな、自分の足で歩いて行くんだ」 | +4 |
| シーンA66 | 「うん、ちなつちゃんらしくていいんじゃない」 | +8 |
| | 「うん、変にどぎつくないし、かわいいと思うよ」 | +6 |
| シーンA70 | 「ああ、実はちなつちゃんの事で相談されたんだ」 | +8 |
| | 「まあ…ほんの立ち話程度だったんだけどね」 | +4 |

## 8月7日　庭

# さよならのキスは涙の色で

7日の早朝、主人公は治美から呼び出される。そして、彼女はちなつの目前で突然、主人公の唇を奪う。苦く微笑むちなつ……。彼女には、治美がそんな行動をとった理由がわかっているようだった。

その後、林の中でのその出来事に、複雑な気持ちを抱いたまま寮内を歩く主人公の耳に、偶然2人の会話が飛びこんでくる。うつむくちなつに、厳しく言葉を続ける治美。その様子に、彼はもはや自分が部外者ではないことを悟る。やがて「海で待ってる」という言葉を残し、その場を離れるちなつの背中を見送ったあと、治美は何かを決断したように口を開いた。

それは真摯な「お願い」で、それに応えようと、主人公はある決心をする。

ちなつね…おにーさんのこと、好きだよ

▲たくさんの想いを我慢してきた彼女だったが、今は…

夕焼けに染まる海岸に、ちなつはひとり立ち尽くしていた。視線をまっすぐ海に向け、こちらをふり返ろうともしない。しかし、やがてゆっくりと、自分の想いを言葉にしてゆく。父親が帰国すること、一緒に暮らすため転校すること。そして、おにーさんが好きだということ……。けれど、何も言葉を返せない主人公。そんな彼を責めることなく、ちなつは、ただ寂しげに笑みを浮かべる……。

やがて、海辺に最後の夜が訪れた。砂浜で花火を楽しむ生徒たちのにぎやかな声から遠く離れ、ちなつは薄暗い寮の縁側で物思いに沈んでいた。そして、自分を探しにきた主人公に彼女はあるお願いを口にする。

しかし、彼にはその願いをかなえることはできない。はっきりとした拒絶に、堰を切ったようにあふれ出すちなつの涙。それを見ないように強引に唇を重ねると……。

彼女は、そっと目を閉じた。

また会えるって……約束してくれるよね？

## CHART 9　CHINATSU

ちなつチャート⑨

| No. | 場所 | 登場人物 | イベント |
|---|---|---|---|
| A72 | 林 | 治美・ちなつ | 治美にキスをされる |
| A73 | 庭 | ちなつ・治美 | 2人が話し合っている |
| A74 | 1階廊下 | ちなつ | 海で待ってると言われる |
| A75 | 庭 | 治美 | あるお願いをされる |

分岐㉓：まだ迷っていた ／ 応えてあげたい（→A76）

| No. | 場所 | 登場人物 | イベント |
|---|---|---|---|
| A76 | 西の海岸 | ちなつ | ちなつから告白される |
| A77 | 縁側 | ちなつ | ちなつが膝を抱えて座りこんでいる |

分岐㉔：もう会えない（→A78） ／ きっとまた会える（→A79）

| No. | 場所 | 登場人物 | イベント |
|---|---|---|---|
| A78 | 縁側 | ちなつ | ちなつにキスをする |
| A79 | 寮の前 | ちなつ | ちなつが元気になる |

A78 → ちなつチャート⑩へ

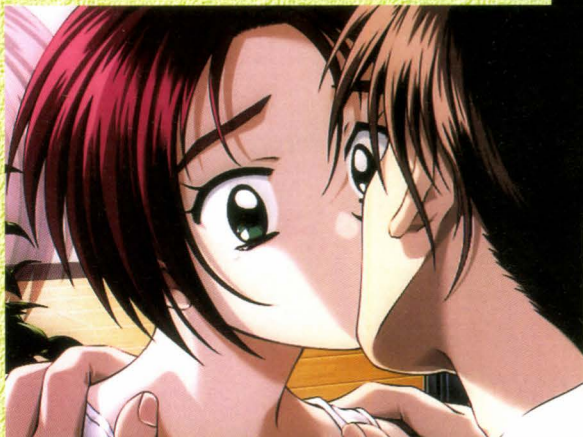
A79 → BAD END

### ▶Route Check◀

ちなつのストーリーが佳境を迎える8月7日。分岐の数は少ないが、エンディングに直結するものばかりなので要注意。まず分岐㉓では、真摯な治美の気持ちに「応えてあげたい」を選択すること。「迷っていた」を選んだ場合、分岐㉔で自動的に右ルートに進んでしまい、バッドエンディングにたどり着くことになる。

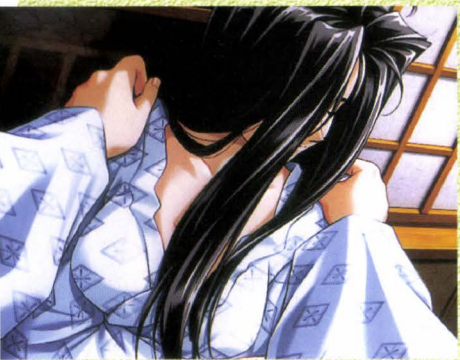
分岐㉔の選択肢は、非情かもしれないが「もう会えない」を選んで、ちなつにきっぱり別れを告げること。治美との大事な約束を忘れてはいけないのだ。

実は、「きっとまた会える」と約束すると、ちなつはすぐに立ち直って、花火大会に参加してしまう。すると、そのまま最終日の朝を迎えることになる。もちろん、キスもできないし、Hイベントも発生しない。

▲いつも笑っていてほしかったのに。その涙を止めたかったのに…。自分は何もしてあげられないのか

## 8月7日　自分の部屋

# 一夜限りのシンデレラ……

ちなつに別れを告げ、ひとり浴場に向かう主人公。湯舟に浸かりながら、さっきの彼女への仕打ちを思い返す。重い悔恨と、他に言い方はなかったのかという疑問が次々と浮かび上がる。そして、あることに思い至った。かつて、自分が愛した人、深景は「また会える」と約束したまま、姿を消してしまった。そのことを何度恨んだかしれない。しかしそれは、避けられない別れを前にしてなお、想いを断ち切れないワガママな彼を「大人」にするための「試練」だったのではないか？

そして、それこそが深景の愛情だったのではないだろうか？……７年もかけて、自分はようやく深景のやさしさを理解したのだ。ならば自分の判断も正しかったはず。今は悲しくても、ちなつはわかってくれるだろう……。

▲大切な人の声が、悲しい過去が胸によみがえる……

だが、自分を納得させて床に入っても、眠りは訪れなかった。目をつぶると浮かんでくる、ちなつの別れ際の顔、そして涙。無理に眠ることをあきらめて窓辺に立ったとき、窓に映る人影に気づいた。驚いてふり向くと、そこには、しどけない姿でクッションを抱きしめている、ちなつの姿があった……。

はかなげな様子に揺れる心を抑え、部屋に帰るよう告げる。しかし、ちなつは黙ったまま、動こうとしない。焦れて、さらに声をあげようとしたとき、彼女は小さくつぶやいた。

「少しだけおにーさんとお話させて……？」

ちなつはたどたどしくも、必死に言い募る。……このまま何も残らないんじゃ、おにーさんを忘れることなんてできない。せめて記念になるものがほしい。ちなつの、大切な初恋の想い出になるものが。……だから、だから ちなつは、おにーさんに抱いてほしい。

懸命に言葉を紡ぐ彼女に、後悔や迷いは見られない。それは何度も考えて答えを出した、ちなつの真実なのだ。揺らがない、まっすぐな瞳で、じっと主人公を見つめるちなつ。

……やがて、彼はちなつの細い肩をそっと引き寄せた。自分のもてるだけのやさしさで、緊張に震える身体を抱きしめる。

今、ちなつは彼の恋人だった。今宵一夜限りでも、それでも彼の大切な恋人だった……。

CHINATSU CHART 10

**ちなつチャート⑩**

- A80 浴室 ― 入浴する。深景の回想（５）
- A81 自分の部屋 ちなつ ― 最後のお願いに現れる
- ㉕
  - わかった → A82 自分の部屋 ちなつ ― ちなつとH → ちなつ ENDING
  - それだけはダメ → A83 自分の部屋 ちなつ ― ちなつが立ち去る → BAD END

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

ちなつの物語もいよいよクライマックスへ。ある決心をした彼女が、夜半に主人公の部屋へやってくる。ここで出現する選択肢に迷うが、ちなつの真剣な想いに応えるためにも「わかった」を選ぼう。ただし、ちなつの好感度が一定値を越えていないと選択肢が出現せず、自動的に右ルートに。

ちなつチャート全体を通しての注意点は、奈緒に関して。由織チャートからちなつチャートに合流した場合、奈緒は出現していないので、ちなつチャート内の奈緒のイベントはすべて無効になる。

**これが最後のワガママだから ちょっとだけ…おにーさんと お話させて**

▲好きになった人とひとつになれた喜びに、ちなつの身体はふるえる。今、２人は恋人同士なのだから……

**今のは……自分でも 100点満点をあげたいな…**

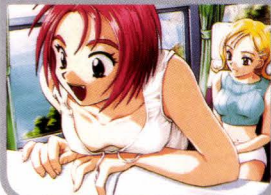
◀どんなに諭しても、彼女の決心は変わらなかった。一途な想いを受け止める…

▲無防備な姿で彼の前に現れたちなつ。彼女のお願いは「ひとつだけ想い出がほしい」

初めて経験した感情に、とまどうばかりだった１週間……

# SUMMER MEMORY for 岩崎ちなつ

海が見えて大喜び！

A27 日射病でダウン……

C37 脱衣所でバッタリ!?

A55 雨に濡れて、考えごと

A62 父の一言を胸に刻んで

A66 ２人きりの海岸で遊ぶ

ENDING 心に浮かぶ、誰かの姿

A76 懸命に気持ちを告げる

A77 お別れの言葉に呆然…

A78 最初で最後のキス……

A81 ちなつの固い決心とは

A82 恥じらう姿が初々しい

A82 大好きな人とひとつに

A82 想いが痛みを凌駕する

ENDING あの夏がまた動き出す

「笑って、泣いて、怒って……。
アルバムには、ちなつのすべてがつまっている――

岩崎ちなつの攻略はＰ.54より

過去にとらわれ、苦しんだ日々。今はもう、想い出の中に……

# SUMMER MEMORY for 森沢奈緒

**B25** 転んで砂まみれの奈緒

**B47** ここが奈緒の特等席…

**B62** 明るい笑顔の裏には…

**B68** 楽しい想い出も今は…

**B73** トゲとなって心を刺す

**B70** 冷たい夜の海に抱かれ

**B71** 今の奈緒はまるで人形

**B72** これが最良の手段…？

**B73** 星が語る２人の想い出

**B81** 迷いのない奈緒の瞳…

**B81** 主人公へ想いをこめて

**B81** 写真の少女が眼の前に

**B81** 夏の太陽に包まれて…

森沢奈緒の攻略は P.64より

## Refrain Blue À La Carte Vol.1
リフレインブルー ア・ラ・カルト

### ■豚汁
一般的には「とんじる」。「ぶたじる」ともいう。細切れにした豚肉と野菜を煮こみ、味噌味で仕上げた汁。主な具として、大根やニンジン、ゴボウ、里芋、こんにゃく、油揚げなどが挙げられるが、実際は地方や個々の家庭によって千差万別。また、里芋の代わりにサツマイモを用いたものを「薩摩汁」とも呼ぶ。こちらは鹿児島県の郷土料理だったが、のちに全国に広まった（本編でちなつが作っているのはこちらか?）。両者とも、身体を温める働きがある。

### ■ビーチバレー
浜辺で行うバレーボールのこと。アメリカ西海岸サンタモニカが発祥の地で、ブラジルのイパネマ海岸などに伝わった。1986年からは、ワールド杯も開催されている。

ネットの高さやコートの広さは、通常のバレーボールと同じだが、１チーム２人制で行う。使用するボールは、ピンクやオレンジ色をしたカラフルな専用ボール。

大きな特徴として、プレイヤーは２人ともフリーポジションで、どの位置にいるときでもアタックができることなどがある。

### ■日射病
強い直射日光に長時間照らされた場合に起こる症状。急激な体温上昇で水分・塩分が失われ、頭痛、めまいを引き起こす。意識を失うこともある。また、高温多湿の場所で起こる同様の症状を「熱射病」という。

### ■カモメ
チドリ目カモメ科の鳥。全体に白く、足とクチバシだけが黄色い。夏はシベリアなどで繁殖し、冬に日本に渡ってくる。また、カモメ科の鳥の総称を指す場合もある。

参考文献：「大辞泉」松村明・監修（小学館）

MORISAWA NAO

ほがらかな笑顔の下に、消えない傷を抱えた少女。偶然の出会いを「運命」に変えるために何ができるのか…？

# 森沢奈緒

MORISAWA NAO

## 8月3日 岬

### 遥かなる想い出の地

想い出の地「蜻蛉海岸」での最初の朝、主人公はある女性の面影を求めて、人気のない岬の突端にひとり座っていた。ゆっくりと瞳を閉じて、懐かしい彼女の声を思い出す……。

その女性、深景さんと出会ったのも、7年前のこんな暑い夏の日だった。この岬に連れ出し「私の特等席なの」と笑って教えてくれた彼女。その、いたわるような微笑みに、大事なものを失い、絶望に凍っていた主人公の心は溶け、熱い涙をこぼしたのだった……。

◀心地よい風に髪をなびかせる、彼の人の面影

午後、サマースクールの参加者のちなつと治美に誘われて、西側の海岸を訪れた。部活の先輩後輩という2人の、漫才じみた会話に苦笑していると、足元にビーチボールが……。

それを追って現れた女のコは、シニョンにした髪と鈴を転がすような声が印象的な少女。彼女は、ボールを投げ返したお礼を主人公に言うと、仲間の輪の中へともどっていった。

これが、奈緒との運命の出会いだった…。

▲ビーチボールを追いかけて、主人公の前に現れた少女。斬新な水着にドッキリ

※「深景の回想」のナンバーは、別キャラのチャートで出現したものと同じ内容ならば、そのナンバーと同じになっています。

## 8月3日 奈緒チャート❶

- B01 玄関 / 由織 — 散歩を勧められる
- 分岐❶
  - 時間まで待ってる → B04へ
  - 悪くないかな → 分岐❷
- 分岐❷
  - B02 林 — 散歩する → B04へ
  - B03 林 / 雫 — 名前を教えてもらう → 由織チャート P.82 シーンD03へ
- B04 食堂 / 由織・管理人 — 由織に朝食の礼を言う（← 由織チャート P.82 分岐❶から）
- B05 食堂 / ちなつ・治美 — 午前中は水泳の授業だと聞く
- B06 東の海岸 / 謎の少女 — 名前を呼ばれる
- 分岐❸ → 直線ルート / 分岐❹
- 分岐❹
  - 少し寄り道をする → B07へ
  - 寮までの道をたどる → ちなつチャート P.54 シーンA08へ or つぐみチャート P.72 シーンC08へ
- B07 岬 / 寮の前 — 深景の回想（1）★
- B08 寮の前 / 由織 — 小さな女のコは住んでいないと聞く
- B09 食堂～西の海岸 / ちなつ・治美 — ちなつたちと海岸で遊ぶ ★
- B10 西の海岸 / 女のコ — ボールを取りにくる
- 分岐❺
  - 日焼け止め → 分岐❻
  - こんがり小麦色 → ちなつチャート P.55 シーンA14へ
- 分岐❻ → 直線ルート / B11
  - B11 西の海岸 / つぐみ・ちなつ・治美 — つぐみが写真を撮りにくる


奈緒チャート❷へ


## ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

分岐①は、基本的に「待ってる」を選択する。つぐみをクリアした後にふたたび奈緒を攻略する場合、散歩に行くと分岐②で林の中に雫が出現する。すると、シーンB07の深景の回想（1）が見られなくなり、奈緒が登場しなくなってしまう。

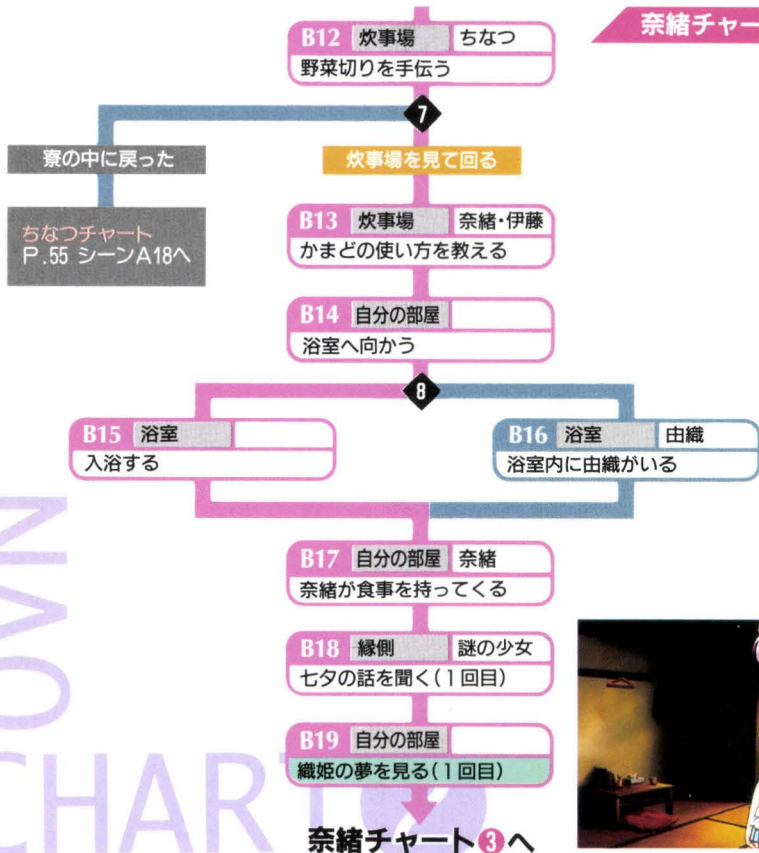
分岐④の選択肢は、1度奈緒の攻略が終了すると出現するようになる。シーンB07を見ることが奈緒の出現条件なので、左ルートを選択。奈緒が未攻略ならば自動的に分岐③の直線ルートを通る。

分岐⑤はビーチバレーに参加するために、「日焼け止め」を選ぶ。分岐⑥は、1度奈緒の攻略が終わっていれば、自動的につぐみが浜辺に現れる。

奈緒は、ちなつと並んで一番最初に攻略できるキャラ。ただし、雫が現れると奈緒は登場しない。

## 8月3日　炊事場

# 偶然×偶然＝必然!?

### 奈緒チャート❷

飯ごう炊さんの準備をちなつに手伝わされた主人公は、汗まみれついでに炊事場を見てまわった。そして、働く生徒に何気なく声をかけると、ふり向いた顔には見覚えが……。それは、昼間のビーチボールの少女だった。

困りきった様子の彼女に代わって、かまどに火をつけてあげると、女のコはお礼に食事を届けてくれると言う。かわいい声で笑いながら、美味しいカレーを作ると約束する少女。

しかし、しばらくして部屋に食事を届けにきた彼女は、なぜか泣きそうな顔だった……。

◀なにやら悲しげな表情の女のコ。なんだか目が潤んでいるような……？

▲ふたたび姿を現した少女。誰かを思い出させるような口調

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶

分岐⑦は「炊事場を見て回る」を選択。炊事場で奈緒に会い、かまどの使い方を教えるイベント（シーンB13）を見ないと、シーンB17で奈緒が部屋に食事を持ってこなくなり、彼女の攻略は不可能になる。ちなみに浜辺で奈緒に会っていないと、シーンB13は登場しない。また、「寮の中に戻った」を選べば、そのままちなつチャートに移行できる。

分岐⑧は、１度つぐみを攻略していると、浴室内に由織が現れるようになる。それまでは自動的に左ルートになるが、奈緒の攻略に問題ない。

CHECK & CHECK

## 奈緒の好感度について

**奈緒攻略のポイントはずばりビーチバレー。女のコはやっぱり、勝負に強い男性が好きなのかな…？**

奈緒の好感度に関係ある選択肢は、以下の表にある４つ。合計34点のうち22点を取れば、好感度条件をクリアできる。注意すべきはビーチバレー。２つの選択肢の組み合わせで勝敗パターンが決定し、それによって獲得ポイントが微妙に異なってくる。くわしい選択肢の選び方は欄外に掲載してあるので、そちらを参照してほしい。

また、基本的に「奈緒を選ぶ」ということに関係する選択肢を選ぶと、ポイントが高くなる傾向がある。

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンB23 | 「奈緒ちゃんと同じペアになれてよかったよ」 | ＋8 |
| | 「奈緒ちゃんは、僕とペアでよかったのかい？」 | ＋6 |
| シーンB25 | ビーチバレーで圧勝 | ＋10 |
| | ビーチバレーで逆転勝ち | ＋8 |
| | ビーチバレーで逆転負け | ＋6 |
| ※ | ビーチバレーで完敗 | ＋4 |

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンB50 | 「管理人さんが飼ってるのって、なんだろうね」 | ＋4 |
| | 「ところで奈緒ちゃんは、家でなにか飼ってる？」 | ＋6 |
| シーンB60 | 「…いや、悪いけどそれは出来ない」 | ＋10 |
| | 「……」 | ＋4 |

※ビーチバレーの勝敗は、試合中に現れる２つの選択肢の選び方で決まってくる。組み合わせは以下のとおり。

- 圧勝…………〈伊藤くんの方を狙う〉〈サーブを待ち受けた〉
- 逆転勝ち……〈女の子の方にサーブ〉〈サーブを待ち受けた〉
- 逆転負け……〈伊藤くんの方を狙う〉〈前にダッシュ〉
- 完敗…………〈女の子の方にサーブ〉〈前にダッシュ〉

## 8月4日 西の海岸

# ビーチバレーで運命が決まる？

3日目、ちなつの誘いで参加したビーチバレー大会。混合ペアで行われるこの試合、主人公のパートナーは、なんと昨日の少女だった。重なる偶然に、顔を見あわせる2人……。

すると、その女のコはにこっと笑い「森沢奈緒です」と自分の名前を告げた。

そして、試合開始。2人の息はぴったりで、見事に決勝進出をとげる。決戦相手はバスケ部の副キャプテン、伊藤ペア。苦戦するその試合中、主人公は信じられないものを見る。なんと、奈緒が気合いとともに「足で」トスを上げたのだ。そして、一瞬固まる彼に、彼女は何事でもないように笑ってみせた…。

長い夏の日も終わりを告げたその日の夕べ。主人公は庭先にたたずむ奈緒を見つける。真剣な表情で「夢」について尋ねてくる彼女は、一緒に遊んだ明るい女のコとは別人のようで……。



◀おとなしげな奈緒の、意外な一面……



◀砂に足を取られ転んでしまった奈緒。驚いた顔がかわいい

◀どこか思いつめたような雰囲気で話す奈緒。心に浮かぶ想いは何…？

## NAO CHART 3

奈緒チャート❸

- B20 花壇｜由織｜花に水をあげている ★
- ❾
  - 部屋でゴロゴロする → ちなつチャート P.55 シーンA32へ
  - ちょっと迷ってる
- B21 食堂｜ちなつ｜ビーチバレーに誘われる
- ❿
  - 今日はやめとく → ちなつチャート P.55 シーンA32へ
  - ひと汗かいてみる
- B22 寮の前〜西の海岸｜ちなつ・治美｜ビーチバレーの説明を受ける
- B23 西の海岸｜奈緒｜奈緒とペアを組む ♥ ← ちなつチャート P.55 分岐⓰から
- ⓫
  - B24 西の海岸｜つぐみ・ちなつ・治美｜つぐみが写真を撮りにくる
- B25 西の海岸｜奈緒・伊藤｜ビーチバレーの試合をする ♥
- ⓬
  - B26 1階廊下｜由織｜入浴することを伝える
  - B27 浴室｜入浴する
  - B28 1階廊下｜由織・ユウキ｜ユウキを紹介される
  - B29 浴室｜ユウキ｜ユウキに水をかけられる ★
- ⓭
  - B30 食堂｜由織｜由織と話しこむ
  - B31 1階廊下｜つぐみ｜怪しい行動をとるつぐみに会う
  - ⓮
    - 話に乗るフリをする → つぐみチャート P.74 シーンC34へ
    - 腹立ちさえ覚えた
    - B32 1階廊下｜つぐみ｜つぐみは怒って立ち去る
- B33 庭｜奈緒｜夢を尋ねられる ← つぐみチャート P.74 分岐⓮⓯から
- ⓯
  - B34 縁側｜謎の少女｜七夕の話を聞く（2回目）
- B35 自分の部屋｜織姫の夢を見る（2回目）


奈緒チャート❹へ


### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

奈緒の攻略に必須なビーチバレーに参加するために、分岐⑨で「ちょっと迷ってる」を、分岐⑩で「ひと汗かいてみる」を選択すること。ただし、P.64分岐⑤で、「小麦色」を選んでいる場合はちなつが日射病になるので、ビーチバレーに参加できない。奈緒の攻略も不可能。

分岐⑪では、1度奈緒をクリアしていて、さらに3日の浜辺でつぐみに会っている場合のみ、つぐみがちなつの写真を撮りに来る。分岐⑫は、つぐみの攻略が終わっているならば右ルートに。分岐⑬は分岐⑪でつぐみと会っているならば自動的に左ルートに進む。ここでは奈緒チャートを効率よく進めるために、選択肢「腹立ちさえ覚えた」を選ぼう。するとつぐみは怒って姿を消し以降出現しない。分岐⑮はつぐみをクリアしていると謎の少女が登場。

## 8月5日 ハイキング

# 2人をつなぐ草笛の音

朝食を終え、この日の山登りの準備に部屋へもどろうとしたとき、聞き覚えのある声に呼び止められた。透き通るようなその声の主は、奈緒。朝の光の中、昨日のビーチバレーの疲れも見せずに、微笑みながらたたずむ彼女を、少しまぶしい思いで見つめる主人公…。

そんな彼に、奈緒はうれしそうにある「問題」を出す。答えがわからず頭を悩ませる主人公。そのとき特徴ある関西弁が彼を助けた。

あっさりと正解を言ってしまった管理人に、奈緒はかなり残念そう。その様子からすると、2人はすでに旧知の仲らしい。不思議そうな主人公に管理人は、必死に止めようとする奈緒を無視して、彼女との関係を教えてくれた。「この姉ちゃんはな、去年もサマースクールに参加してて、海でおぼれたんや」。

その言葉を受けて彼女の方を見ると、真っ赤になって恥じ入る奈緒の姿があった……。

やがて集合時間になり、広場に来たが、約束したちなつが現れない。周囲を見回すと、ちょっと古ぼけた感じのリュックを背負った奈緒の姿を発見。話しかけると、幼い頃に祖母に買ってもらったというそのリュックの思い出を、誇らしげに語る彼女。そんな奈緒を見つめる自分の瞳がやさしくなっていることに、主人公はこのときまだ気がついていなかった。

そして、一同は一緒に山道へ。会話もままならない、セミの声のすさまじさに驚いていると、後ろから奈緒が追いついてきた。彼女は、待ち合わせ相手の伊藤先輩を後方に置いてきたというが、さほど気にした様子もない。

道中、ふと森の奥に目を向ける主人公。そして、深い緑に目を奪われた瞬間、彼の心は急速に過去へと沈んでいった……。

だが、追憶はすぐさま奈緒の声で破られた。そして、女性陣の追及を受けて、追憶の人を語る主人公の姿に、奈緒の瞳が微妙に揺らぐ。

昼食後の山頂、主人公は奈緒の「特等席」で草笛を聴いていた。素朴な音色が、彼の心にもゆっくりと染みこんでくる。やがて演奏を終えた彼女は、草笛を教えてくれた「ある人」について語りだした。とても大切なことを話すように、やさしく愛しげな口調で……。

◀奈緒の声は、一度聞いたら忘れられない

# NAO CHART 4

## 奈緒チャート❹

| シーン | 場所 | 登場人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| B36 | 食堂 | ちなつ・治美 | 一緒に山登りをしようと誘われる |
| B37 | 玄関 | 奈緒・管理人 | 水が冷たい理由を尋ねられる |
| B38 | 食堂 | 由織 | お弁当をもらう |
| B39 | 広場 | 奈緒 | リュックの思い出話を聞く |
| B40 | 広場 | ちなつ | 虫よけスプレーをかけられる |
| B41 | 山道 | ちなつ・奈緒 | セミの声の話をする |
| B42 | 山道 | 奈緒 | セミが多い理由について話す |
| B43 | 山道 | 奈緒 | 伊藤先輩は置いてきたと聞く |
| B44 | 山道 | 奈緒・ちなつ・治美 | 深景の回想(2)。過去のことを追求される |
| B45 | 山頂 | ちなつ・治美 | 3人でお弁当を食べる |
| B46 | 山頂 | 奈緒 | ある場所に誘われる |
| B47 | 山頂 | 奈緒 | 草笛を聴かせてもらう |
| B48 | 山頂 | 奈緒・伊藤 | 伊藤が奈緒を探しにくる |

つぐみチャート
P.76 分岐㉑から

奈緒チャート❺へ

夏ですもん。
うーんと暑い方が
得した気分になりません？

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶

奈緒チャート確定後の1本道になる。「朝の玄関で奈緒、管理人と話をする」「広場で奈緒のリュックの思い出話を聞く」をクリアすれば奈緒チャートが確定。ただし、分岐⑭でつぐみを怒らせていない場合は、シーンB40の後に集合写真のイベント（P.75シーンC53）が入ることになる。P.72以降の「つぐみチャート」を参照。

先日のビーチバレーで知り合った2人。このチャートからようやく奈緒のストーリーが進行する。意外にも積極的に主人公へと話しかけてくる彼女。去年もサマースクールに参加していたことや、山頂で話した「いろんなことを教えてくれた人」のことは、重要な伏線となっている。ほがらかな彼女がときおり見せる陰りに注目。

## 8月5日　広場

# 飛べないカモメと奈緒の想い

夕暮れの気配がせまった広場で、主人公は奈緒と一緒に管理人を待っていた。先ほど彼が、自分のペットを見せてくれると約束したからだ。何気なく、奈緒にもペットについて尋ねてみると、うれしそうな答えが返ってくる。そんな明るい声をあげる彼女には、もう山頂で感じたような陰りは見られなかった。

やがて、やってきた管理人が抱えていたのは鳥。……白い翼と黄色いくちばしを持つ、1羽のカモメだった。ケガをした恐怖から、飛ぶことを忘れてしまったその鳥を、管理人は空にもどそうと特訓を続けているという。

そして、凍ったようにその特訓の様子を見ていた奈緒が、ふいに強い調子でつぶやいた。「飛ばなくたっていいんだよ……」。

その言葉は、ここにはいない誰かに語りかけるような、そんな切ない響きを持っていた。

◀管理人さんのペットのカモメ。奈緒の主張で、なぜか「ジョナサン」と命名されることに

### Route Check

ハイキング後にはささやかなイベントが続くが、これらはみなストーリー後半で大きな意味を持ってくる。とくに、分岐⑯の選択肢には注意が必要。「それを果たすのに十分」を選んでしまうと、P.69シーンB62の選択肢が出現せず、そのままバッドエンドに進むことになる。ここでは、「答えを見つけていない」を選び、自分の気持ちが変わっていないことを奈緒にアピールしよう。

このチャートの奈緒は、過去にとらわれる主人公にシンパシーを感じ始めている。それが愛情に変化するか、共感のままで終わるかは、今後のストーリーの進め方にかかってくるのだ。

飛べないカモメのジョナサンに彼女は何を投影しているのか、それが奈緒の重要な鍵となる。

## ずーっとここにいれば…苦しい思いをすることもないんだよ

まだ雨の匂いの残る海岸で、ひとり海を眺めている主人公。さっきまでの太陽は、すでに水平線の向こうに消えようしている。そして彼は、どこかしら物悲しげな空気が漂う中、あてもなく海岸を歩き始めた。彼の脳裏に浮かぶのは、あの人、深景のことだけだった。

7年前のあの夏の日々、片時も離れずそばにいた人。海を愛し、風を愛し、自然をこよなく大切にしていた人。この海辺を2人で、何度も散歩した。その時に眺めた海の景色も、一緒に耳を澄ませた風の音も変わりはしないのに、ただあの人だけが隣りにいない……。

ふと、ポケットの中の物を取り出す。それは小さな「絵」だった。深景が彼に託した、この海を描いた小さな水彩画だ。あの日、この場所で彼女は言った。「善博くんに、この絵の名前を決めてほしいの…」。

長い回想から彼を呼びもどしたのは、またも奈緒の声だった。走ってきたのか、息を切らしながら言葉を継ごうとした彼女は、彼の様子に一瞬とまどう。そこで主人公は、心配する奈緒に、手の中の絵を見せた。興味深げに見入る彼女。やがて何かに気づいたように彼を見た奈緒は、おずおずと絵の題名を問う。

しかし、彼は黙って首を振るしかなかった。……あの日の夕暮れ、深景に「宿題」として出された絵の題名。それを未だ見つけていない。むしろ決めることで、何かを失ってしまうかもしれないと、主人公は恐れていたのだ。

そんな彼の言葉に、真剣に耳を傾ける奈緒。しばらく考えこんでいた彼女は、きっぱり言い切った。「私は、忘れてみせるつもりです」。

▲あの日彼女と見た夕暮れは、今も何も変わらないのに……。主人公の心には、ぽっかりと穴が開いたまま

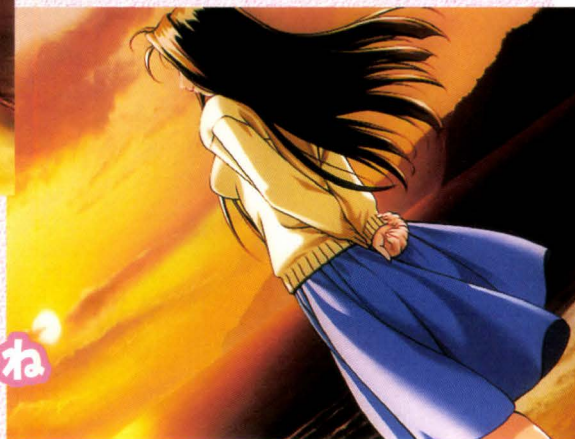
## どうして、人の気持ちは変わるんでしょうね

## 8月5日　2階の廊下

# 突然のキスは暗闇の中で

NAO CHART 6

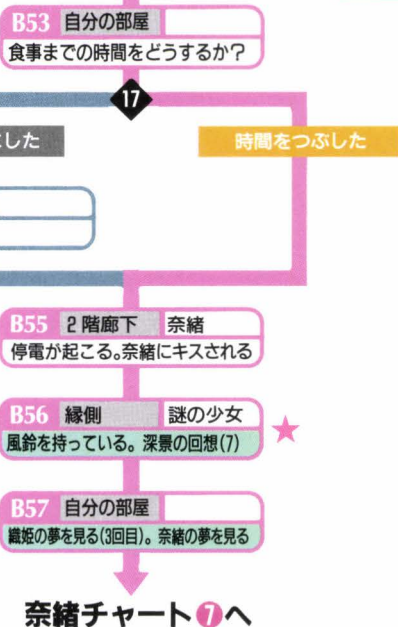
**奈緒チャート6**

- B53 自分の部屋
  食事までの時間をどうするか？
- 17
  - 部屋をあとにした → B54 浴室　入浴する
  - 時間をつぶした
- B55 2階廊下　奈緒
  停電が起こる。奈緒にキスされる
- B56 縁側　謎の少女 ★
  風鈴を持っている。深景の回想(7)
- B57 自分の部屋
  織姫の夢を見る(3回目)。奈緒の夢を見る

奈緒チャート7へ

その夜、偶然出会った奈緒と話をしていると、突然あたりが暗闇に包まれた。どうやら停電が起こったらしい。そのとき、とまどう主人公の唇に温かいものが押しつけられた。それは、まぎれもない奈緒の唇だった……。

永遠にも思える時間が過ぎ、唇が離れると同時に、明かりがともる。そして彼女は、意味深な言葉を残して、その身をひるがえした。

### Route Check

分岐はあるものの、奈緒の攻略自体に差し支えはないので、どちらを選んでもかまわない。このシーンB54の浴場では、由織やユウキなどの人物も登場しない。ストーリーでは、奈緒と主人公が一歩進んだ関係になるのがポイント。ただし、これは奈緒から一方的にもたらされたもので、主人公に深い困惑を残すことになる。

## 8月6日　西の海岸

# 新しい自分を見つけるために

NAO CHART 7

**奈緒チャート7**

- B58 ラウンジ　奈緒
  オリエンテーリングの話を聞く
- B59 玄関　奈緒・伊藤
  伊藤が奈緒を口説いている
- B60 ラウンジ　伊藤 ♥
  奈緒にちょっかいを出すなと言われる
- B61 庭　奈緒
  昼寝をしていて奈緒に起こされる
- B62 西の海岸　奈緒
  2人で砂山くずしをする
- 18
  - 爽やかな気分
  - 愕然とした → B63 岬　深景の回想(8)

奈緒チャート8へ

6日の午後、奈緒の水泳の特訓として彼女と2人で浜辺に来た主人公。しかし成果は上がらず、結局浜辺で遊ぶことに。先ほど伊藤に「彼女に近づくな」と忠告された主人公は、屈託なく笑う彼女に、自分と一緒にいていいのかと尋ねる。だが、奈緒の返事に迷いはなかった。そんな彼女にいつしか「恋人」を重ねていた主人公は、それを自覚した瞬間、深景への想いを忘れていた自分に愕然とする…。

### Route Check

シーンB62は奈緒とのデートに相当するイベント。その前にシーンB60で伊藤が抗議にくるが、「それはできない」を選べば奈緒の好感度に大きなポイントとなる。くわしくはP.65の「好感度について」を参照。分岐18の選択肢は「爽やかな気分」を選ぶと、P.70の分岐20で自動的にバッドエンドが確定。また、P.68の分岐16で「それを果たすのに十分」を選んでいると選択肢が出現せず、自動的に左へ。

私…絶対にもう、後悔だけはしたくないんです

◀見慣れているはずなのに、新鮮に感じる奈緒の水着姿。変わったのは自分の気持ち？

## 8月6日　西の海岸

# 凍った心、消えなり痛み

気持ちに整理がつかぬまま迎えた6日の夜。廊下で意外な人物が待ちかまえていた。その人物、伊藤はいまいましげな表情で、奈緒との話の結論を伝えにきたのだ。そして、奈緒が主人公を選んだこと、自分は彼女をあきらめることを一方的に告げると、気になるセリフを残し姿を消した。呆然と部屋にもどる主人公。そんな彼を1枚の手紙が待っていた。

手紙で約束の午前2時。指定のラウンジに行くと、そこには顔色をなくした奈緒が。しかし、彼女は主人公を見るやいなや、外へと逃げだす。様子のおかしい彼女を追おうとした瞬間、主人公はそこに置かれた写真に気がついた。それには今と髪型の違う奈緒が写っている。その表情を彩る、はにかむような笑顔。そして、彼は奈緒を探すべく外へ飛び出した。

どうして…許してくれないの…

◀虚ろな顔で海中にたたずむ奈緒は、まるで魂が抜け出してしまったように、はかなげ…

## Route Check

分岐⑲は「気を落ち着けた」を選んで、写真を手に入れること。分岐⑳はハッピーエンドを迎えたいなら「それだけは出来ない」を選ぶ。シーンB72はHイベントだが、これを見ると奈緒の攻略は失敗になる。シーンB71でセーブし、バッドエンドを見てから通常ルートを進めると効率がよい。

### 奈緒チャート⑧

NAO CHART 8

- B64　2階廊下　伊藤　奈緒をあきらめると言ってくる
- B65　自分の部屋　置き手紙を見つける
- B66　ラウンジ　奈緒　奈緒の姿を見かけるが、逃げてしまう
- ⑲
  - ラウンジへと急いだ → B67　ラウンジ　ノートに写真を見つける
  - 気を落ち着けた → B68　ラウンジ　ノートに写真を見つけ、それをはがす
- B69　寮の前　奈緒を探す ★
- B70　西の海岸　奈緒　茫然自失の奈緒を見つける
- B71　浴室　奈緒　冷えた奈緒の身体をシャワーで温める
- ⑳
  - 忘れさせてあげる → B72　浴室　奈緒　奈緒とH → BAD END
  - それだけは出来ない → B73　寮の前　奈緒　星を見ながら話す。奈緒とキス → B74　自分の部屋　深景の回想(9)

奈緒チャート⑨へ

奈緒は海にいた。夏とはいえ冷たい夜の波間に腰まで浸りながら、闇を凝視していたのだ。主人公の必死の叫びも耳に入らないのか、微動だにしない。彼は業を煮やし、海に入り彼女を抱き上げる。しかし、それでもマネキンのように反応を返してはこない奈緒……。

氷のように冷えきった彼女の身体を温めるため、浴場へ。熱いシャワーを全身に浴びながらも、いつもの笑顔がまるで嘘のように、奈緒の表情は冷たく凍ったまま。

しかし、身体が温まるにつれて、凍てついた感情も徐々に溶け始めた。そして、一度あふれ出した涙は、とぎれることなく彼女の頬を濡らす。やがて、嗚咽まじりの声で、奈緒は訴えた。「私を抱いてください……」。しかし、未だ深景への想いが強く胸に残り続けている主人公は、それをやさしく拒絶した…。

満天の星空の下、奈緒は語る。愛した人が遠い場所に行ってしまったこと。過去を忘れようとするたび、変わらない海が私を責める…。そう言う彼女に主人公は、変わらぬものなどないと諭す。すると、救われたように涙を流す奈緒。彼女を抱き寄せながら彼は思った。2人は同じ痛みを抱えていたと…。

▲主人公の必死の叫びも、今の奈緒には届かなくて……

センパイは遠くへ行ってしまいました…

## 8月7日　西の海岸

# …そして少女は、前を向いて歩き出す

蜻蛉海岸で過ごす、最後の日。午後になって奈緒と出会った。照れたように昨日のことをわびる彼女に、もう暗い影はみじんも見えない。何かをふっ切った、今までになく明るい笑顔で、奈緒は主人公をある場所へと誘う。

そこは以前、カモメのジョナサンの特訓をした広場だった。さっき管理人に、ジョナサンを連れてきて下さいとお願いしておいたという奈緒。やがて、カモメがやってきた。

雲ひとつなく晴れわたる真夏の空の下、管理人の手でカモメが空に投げられる。それを真剣な表情で見つめる奈緒。しかし、一向に空を飛ぶ様子はない。疲れたようなカモメに、奈緒がやさしく語りかける。「あきらめないで、ジョナサンくん。飛んでいって、あの人に伝えてほしいことがあるの……」。今一度、管理人の手を離れたカモメは、何かを思い出したように大空へ力強く羽ばたいた。

**もう、遅いですよーだ**

▲幸せそうな笑みを浮かべる奈緒。彼女はもう大丈夫

誰もいない海辺を見ながら、主人公は、先ほどの奈緒の晴れやかな笑顔を思い浮かべる。彼女はもう大丈夫だ。きっと新しい恋を見つけて、これからの人生を歩いていくだろう。

けれど、自分はまだダメだ。まだ深景さんを忘れられない。あれからいくつもの季節が過ぎたけど、未だに彼女の面影を探し続けている。昨日の夜、奈緒に話した言葉がよみがえる。「変わってもいいんだ……」。そう彼女に告げた自分の気持ちに嘘はないけれど。しかし、変われずに踏み留まっている自分がここにいる。時は何も解決してはくれなかった…。

そこへ不意に声がかけられた。深景かと一瞬期待しふり向くと、そこにはとまどうような奈緒の顔。我知らずがっくりする主人公の声の調子に、奈緒の表情が曇った……。

そこで彼は、ポケットの物を取り出し彼女に渡した。それはラウンジで手に入れた、幸せな頃の奈緒の写真。そして、裏には彼からの……。

しかし、奈緒はそのメッセージを読んだあと、ためらわず写真を破く。驚く彼の前でそれをそのまま海へと流し、彼女は晴れやかに笑ってみせた。「さ、いきましょう」。

海岸の岩陰に2人きり、奈緒はささやいた。「私を好きになっていいですよ」。それは、彼を解放する呪文のようで……。そして、奈緒の手が、そっと彼の身体に触れてきた。

### 奈緒チャート❾

NAO CHART 9

- B75　1階廊下　奈緒　一緒に来てみませんかと誘われる
- B76　広場　奈緒・管理人　カモメの特訓を見る
- ㉑
  - B77　西の海岸　奈緒　海を見ていると奈緒が話しかけてくる
    - ㉒
      - B80　西の海岸　奈緒　奈緒に写真を渡す
      - B81　岩陰　奈緒　奈緒とH
      - B82　西の海岸　奈緒　みんなで花火をする
      - 奈緒 ENDING
      - B79　西の海岸　奈緒　奈緒に励まされる → BAD END
  - B78　西の海岸　1人で海を見ている → BAD END

### Route Check

奈緒のストーリーがクライマックスを迎える。順当にゲームが進んでいれば、前日の夜のイベントの「変わってもいい」という言葉で立ち直った奈緒が、今度は主人公を励まそうと行動を起こしてくるはず。

まず、分岐㉑は、好感度による判定がある。奈緒の好感度が一定値以下だと自動的に右ルートに進む。奈緒は立ち直ったが、主人公の元へは現れず、彼は深景の想い出を昇華できないまま海辺を去ることになる。つまり、奈緒の主人公へのシンパシーは、愛情には変化しなかったというルートになる。好感度のくわしい数値については、P.65の「好感度について」を参照。

分岐㉒では、P.70の分岐⑲で「気を落ち着けた」を選んで、奈緒とセンパイの写真を入手していることが、左ルートに進める条件。写真の裏に書かれたセンパイからのメッセージを、奈緒に届けることが重要なのだ。これで本当に奈緒は、センパイをふっ切ることになる。

写真を持っていない場合は、奈緒が海岸に現れても、ただ言葉で主人公を励まし、そのまま去っていくというイベント（シーンB79）になる。もちろん奈緒と幸せなHもできないし、ハッピーエンドも迎えられない。

**想い出は、海に返したんです**

▲真摯な瞳で主人公を見つめる奈緒。未来を一緒に生きていきたいから。2人で新しい想い出を作っていきたいから

TSUGASHIMA TSUGUMI

少女の明るく人なつっこい笑顔は、胸の奥底に封印した記憶を忘れるための悲しい手段だった……。

# 津賀島つぐみ

TSUGASHIMA TSUGUMI

## 8月3日　出会い

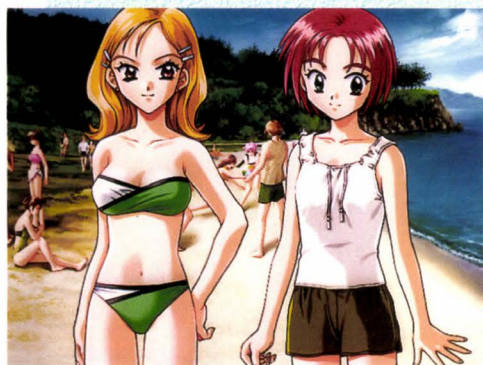
## 関西弁美少女カメラマン現る!!

蜻蛉海岸での初めての朝、主人公は波打ち際で、少女と出会う。見覚えのないその女のコは、主人公の「松永善博」という名前を知っていた。そして、理由を尋ねる彼の目前から、何も答えないまま微笑みだけ残して消え去る。

天山荘にもどってから寮のお手伝いをしている由織に尋ねると、そんな娘は知らないと言う……。謎めいた少女の存在は主人公の胸に強く刻まれた。

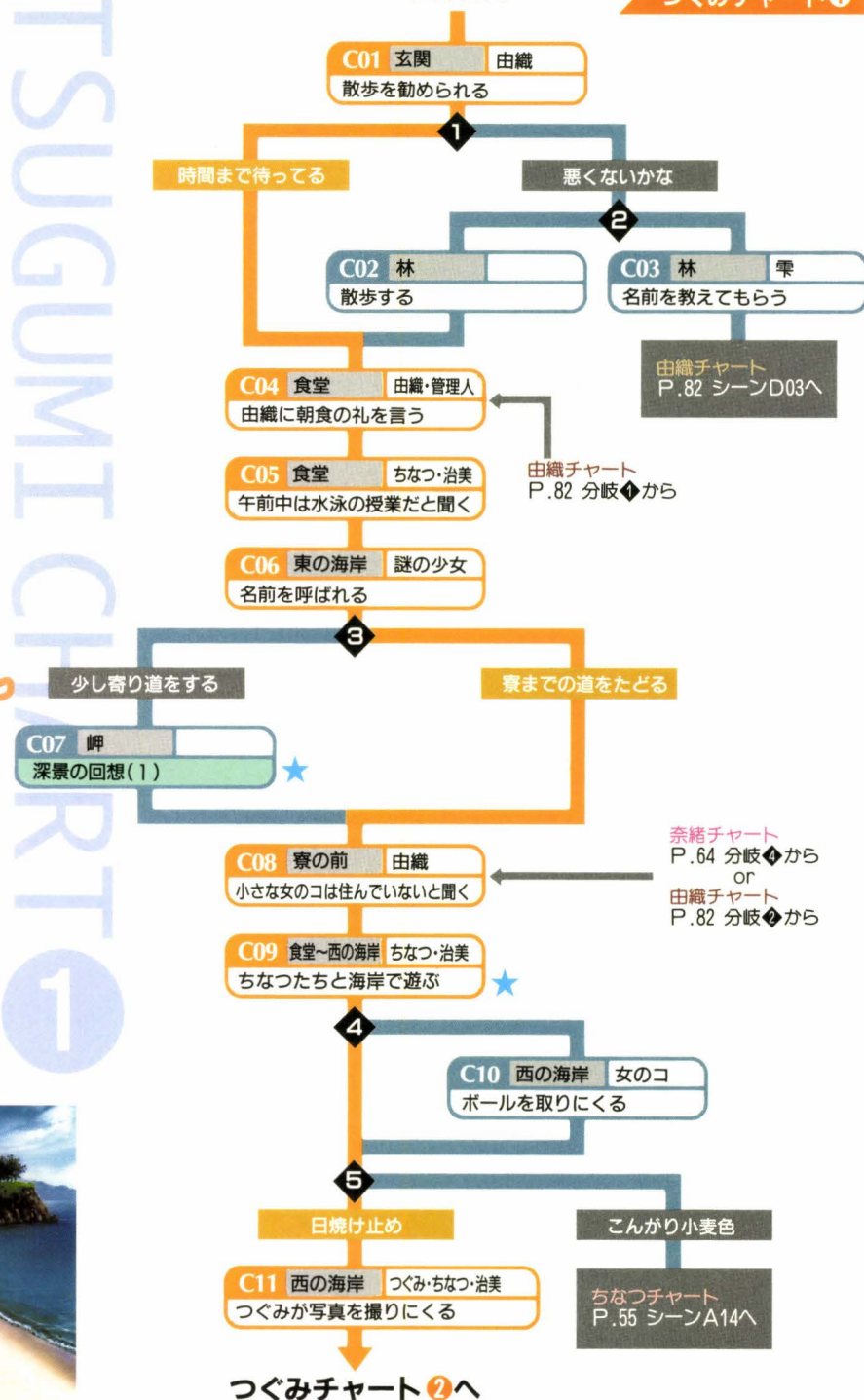
午後になって、サマースクールに参加しているちなつに誘われ、朝とは反対側の海岸を訪れた。人気のない向こう側と違い、こちらは白い砂浜に明るい光が満ちている。強い日差しの下、元気いっぱいのちなつや、彼女の先輩の治美と楽しく話をしていると、主人公は、気がかりだった、あの不思議な少女のことも忘れそうだった。

すると、突然そこへ大きなカバンを抱えた小柄な女のコが声をかけてきた。不審な顔をする3人に「津賀島」と名乗ったそのコは、勢いよく関西弁で記念写真の勧誘を始める。そして「最初の1枚はタダ」という言葉に、ちなつと治美は彼女に写真を撮ってもらう…。

以後なにとぞ、お見知り置きのほどを〜

▶突然現れた陽気な関西弁少女。インパクトの大きい、つぐみとの初対面なのだ

## Route Check

分岐①は雫の出現をふせぐため、「時間まで待ってる」を選択しよう。1度つぐみの攻略が終わっていれば、分岐②で雫が出現してしまい、その場合は由織、または雫チャートへ進むことになる。

分岐③での選択肢は、奈緒を1度クリアすると出現するようになるが「少し寄り道をする」を選び「深景の回想（1）」を見ると、分岐④で右ルートに進みシーンC10で奈緒が現れてしまう。つぐみ攻略を目指すのなら「寮までの道をたどる」を選んで、奈緒を登場させない方が賢明。分岐⑤では、つぐみ攻略に必要なビーチバレーイベントを発生させるために「日焼け止め」を選択すること。

## 8月3日　炊事場

# 飯ごう炊さんで、女の戦い!?

飯ごう炊さんでちなつの手伝いをした後、主人公は炊事場を見て回っていた。ふと、聞き覚えのある名前が呼ばれ、そちらを向くと、例の関西弁の少女がクラスメイトらしき人物と口論している。どうやら、野菜の切り方について、意見が食い違っているらしい。結局、クラスメイトの剣幕に押された彼女は、渋々新しい野菜を取りに姿を消す。一部始終を聞いていた主人公が、興味を持って口論の原因らしきボウルをのぞくと、そこには皮をむかないまま切り刻まれた人参が転がっていた…。

つぐみチャート❸へ

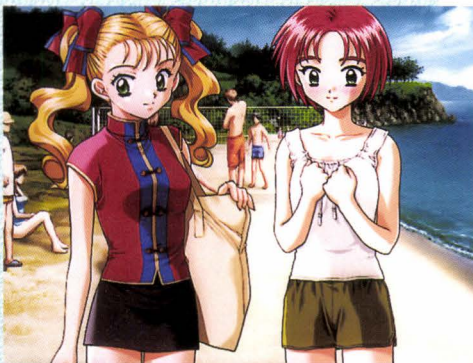
### ▶Route Check▶▶▶▶

分岐⑥は、必ず「炊事場を見て回る」を選ぶ。寮にもどると、つぐみの攻略は不可能になる。分岐⑦は海岸でボールを拾いに来た奈緒に会ったならシーンC14を、会っていないならシーンC13を見ることになる。本攻略では奈緒が出現しないルートを選択しているため、シーンC13に進んでいる。分岐⑧は、1回つぐみをクリアすると浴室に由織が出現。分岐⑨はシーンC14を見ていると右ルートに。

## 8月4日　西の海岸

# 真夏のビーチで即席撮影会

治美とのペアで参加したビーチバレー大会。ちなつペアに圧勝したところへ、昨日の関西弁が飛びこんできた。なんと、あの少女がちなつに写真のモデルの依頼に現れたのだ。照れるちなつを励まし、にこやかに撮影を終えた女のコ。しかし、その場に彼女が落とした手帳を届けるため後を追った主人公は、そこで彼女の意味不明のひとり言を聞くことに…。

みっしょんこんぷりーと、や

つぐみチャート❹へ

### ▶Route Check▶

分岐⑩⑪はビーチバレーをする選択肢を選ぶ。分岐⑫は奈緒の炊事場を見ていれば右、見ていなければ左になる。分岐⑬はつぐみ攻略後以降、右になる。

## 8月4日　1階の廊下

# ちなつに忍び寄るアヤシイ影

その夜、今度は寮内の廊下で、脱衣所から出てくる女のコの姿を見つけた。しかし、やたら周囲を見回し、何やら挙動不審な態度…。怪しく思った主人公が後ろから声をかけると、彼女は文字どおり、飛び上がるほど驚いた。

さらに、動揺した彼女は、下着を盗んで高く売る計画だったと、思い切り口をすべらせてしまう。あきれた主人公が手首をつかまえ脅しをかけると、「ある人に頼まれた」とは白状するが、その人物の名前までは言おうとしない。彼女に言わせると、これもビジネスのひとつであり、依頼人の名を明かすことは商売人としてのポリシーに反するらしい……。

さらに少女は、主人公まで買収しようと話を持ちかけてくる。その悪びれない態度をこらしめるため、彼は一計を案じることに……。

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

分岐⑭⑮は、間違えるとつぐみが出現しなくなるので注意。まず分岐⑭では「話に乗るフリをする」が正解。右を選ぶと、怒ったつぐみは姿を消し、以降現れなくなる。次の選択肢は「あきらめない」が正しいが、ちなつとお風呂場で出会うイベントを見たいなら「頑固さに折れる」を選ぶこと。ただし、このイベントは深景ルート（P.95以降を参照）でも見ることができる。分岐⑯は、奈緒とビーチバレーをしていれば右のシーンC41に。分岐⑰では、つぐみ攻略後から謎の少女が出現。

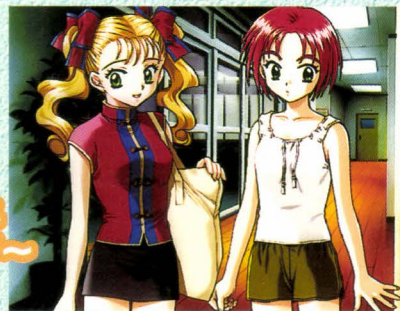
きっひっひ…女に生まれてきて、こない得した思うたのはこれが初めてやぁ〜

彼女の行動の是非をめぐり、廊下でもみあっているところへ、ちなつが現れた。

ちょうど脱衣所から出てきたようで、主人公たちの様子に、不思議そうな顔をしている。そんなちなつの登場に、あわてふためく女のコ。どうやら彼女の標的はちなつだったようだ。それに感づいた主人公が問いつめると、観念したのか盗んだ下着を差し出す彼女。

しかし、ちなつは困ったように笑いながらも、彼女を責めることはなかった。そんなちなつに、感謝する少女。その大げさな口ぶりと調子のよさに、主人公は開いた口がふさがらない。

あまりこりた様子もないこの少女。どうも一筋縄ではいかない予感がする……。

ウチ、一生あなた様についていきます〜

▲ちなつの貴重なお風呂ショット。深景ルートでも見られるので、攻略優先ならば省略することも可能。

## 8月5日　2階の廊下

# 犬も歩けば、福来たる!?

5日の朝、主人公は廊下で大きな白い物体に襲われた。しかし、よく見ると、その物体は真っ白いシーツの山を抱えた、あの女のコ。
ぶつかったショックでカバンの中身とシーツをぶちまけ、床に座りこんでいる。そのまわりには、使い捨てカメラといくつかの赤い風船。それと、大胆なデザインのビキニ……。視線に気づいた彼女は、あわてて水着を隠し、なぜか「慰謝料」を要求してくるのだった…。

TSUGUMI CHART 5

つぐみチャート⑤

C44 | 食堂 | ちなつ・治美
一緒に山登りをしようと誘われる

⑱

C45 | 玄関 | ちなつ
お弁当を取りに行ってくれる

C46 | 玄関 | 奈緒・管理人
水が冷たい理由を尋ねられる

C47 | 2階廊下 | つぐみ
つぐみとぶつかる

つぐみチャート⑥へ

慰謝料や、賠償請求や！

◀そんなに怒られるようなコト、しましたか……？

### ▶Route Check▶

イベント自体が少ないチャート⑤では、分岐もひとつだけ。ここでは今までのイベントが、つぐみ&ちなつ、つぐみ&奈緒で進んでいるかで分岐する。炊事場で奈緒と会い、ビーチバレーも奈緒としている場合は右ルートに、治美とビーチバレーをしている場合は左ルートになる。この攻略では、奈緒が登場していないため、シーンC45に進んでいる。

## 8月5日　広場

# 笑顔の裏に、かいま見える悲しみ

ハイキング出発前の広場、主人公は一緒に登る約束をしたちなつを待っていた。しばらくして現れた彼女は、管理人にもらったという虫よけスプレーを主人公にもかけてくれる。しかし、そこへあの関西弁の女のコが怒鳴りこんできた……。ちなつがみんなにスプレーをかけまくったおかげで、商売が上がったりだという。その剣幕にたじろぐ2人。しかし、ふと疑問に思う主人公。彼女をここまで金もうけにかりたてるものは一体何なのだろうか…？
出発前の記念写真で、さらに彼女は不可思議な行動を取る。シャッターが切れる瞬間、自らフレームから外れていったのだ。主人公が理由を聞いても、口をつぐみうつむいたまま。彼女のその表情は、どこか痛ましげだった……。

▼今まで見たことのない、彼女の悲しげな表情。それは何かを必死に耐えているようにも見えて……

撮るのと撮られるんは別もんや……

### ▶Route Check▶

このチャートでも分岐は1カ所のみ。分岐⑱でちなつに会っている（シーンC45）場合は左ルートに、奈緒・管理人と会話をしている（シーンC46）と右ルートになる。右ルートになった場合、つぐみがちなつに文句を言ってくるイベント（シーンC49）を見られないことになるが、つぐみの攻略には支障はない。この攻略では左ルートを進んでいる。
つぐみチャートの特徴は、ちなつ、もしくは奈緒のチャートと並行して進んでいくこと。確定には、これから発生するハイキングイベントが重要になる。

# 8月5日　山道

# 背中ごしのぬくもりが、2人を近づける

セミの声がスコールのように降る山道を、会話に花を咲かせつつ登る主人公たち。ちなつはうれしそうに、彼にまとわりついている。

ちょうど山の中腹を過ぎた頃、ひとりの少女が路傍の石に座っているのに遭遇する。それは、何かと縁のある例の関西弁少女だった。彼女も気づいたのか、気まずげに顔を伏せている。いつもの威勢のよさが感じられない、その雰囲気に、つい声をかけてしまう主人公。どうやら彼女は捻挫しているらしい。放っておけず、主人公は一緒に下山することにする。

残念そうに頂上へ向かう、ちなつを見送り、少女を背負い下り始める。最初こそ、落ち着かなそうに背中で動いていた彼女も、やがておずおずと体重を預けてくる。それでも遠慮がちな、その重みに苦笑すると、「ウチ、誰かにおんぶしてもらったん、初めてなんや」。耳元で彼女がささやいた。うれしいような、寂しいような、そんな複雑な感情がにじんだような声だった…。

そして、ぬくもりを背中に感じながらも、未だ彼女の名前を知らないことに、

ふと気づく主人公。さりげなく問えば、「津賀島つぐみ。ひらがなで『つぐみ』や」と照れた答えが返る。身軽な小鳥を想起させる名前は彼女に似つかわしかったが、本人は少しはずかしいらしい……。そんな会話を続けるうち、2人の間には温かな空気が流れ始める。

やがて寮に着き、折りよく姿を見せた由織に事情を話し、救急箱を持ってきてもらう。意外とおとなしく主人公の手当てを受ける、つぐみ。

応急処置をすませた2人は、由織の勧めもあって食堂へ向かう。静かな食堂で、山頂で食べるはずだったおにぎりをほおばる2人。

そんな彼らの前に、由織が「かき氷機」を持ってきた。つぐみは粉雪のように降り積もる氷片を、無邪気な表情でじっと見つめる。

いつしか主人公の顔にも、自然とやさしい笑顔が浮かんでいた…。

**おんぶって、こない感じやったんやね…**

## ▶Route Check▶

分岐⑳も、P.75の分岐⑱⑲と同様にちなつチャートで進んでいれば左に、奈緒チャートで進んでいると右になる。どちらを進んでいても、次の分岐㉑の選択肢を間違えなければ、つぐみチャートが確定。

分岐㉑では「みんなで登ろう」を選ぶと、山頂からつぐみが出現しなくなり、ちなつ、もしくは奈緒チャートを進むことに。当然、つぐみの攻略は失敗。「下山した方がいい」を選択するとつぐみチャートが確定、これ以降はちなつ、奈緒と絡むこともない。

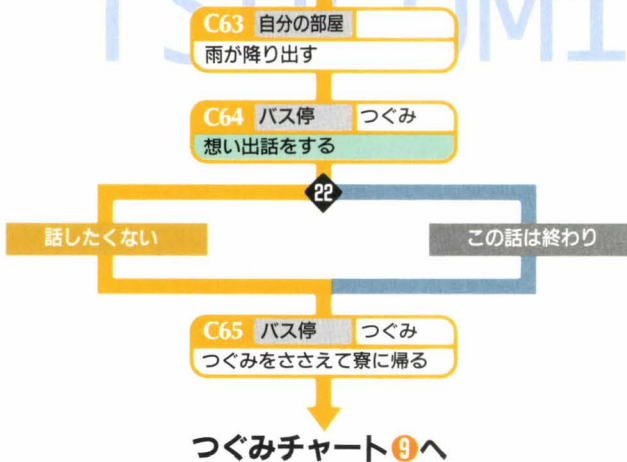
このハイキングで、つぐみは主人公の存在を認め、なついてくるようになる。一見、ただの能天気な金にうるさい関西人に見えるつぐみが、何か傷を抱えているらしいことも判明する重要な局面へと進む。

▲目をキラキラ輝かせて、由織が作るかき氷を待つつぐみ。彼女は、どうやら「赤」に思い入れがあるらしいけど

**あっ、ウチはいちご！**

## 8月5日　バス停

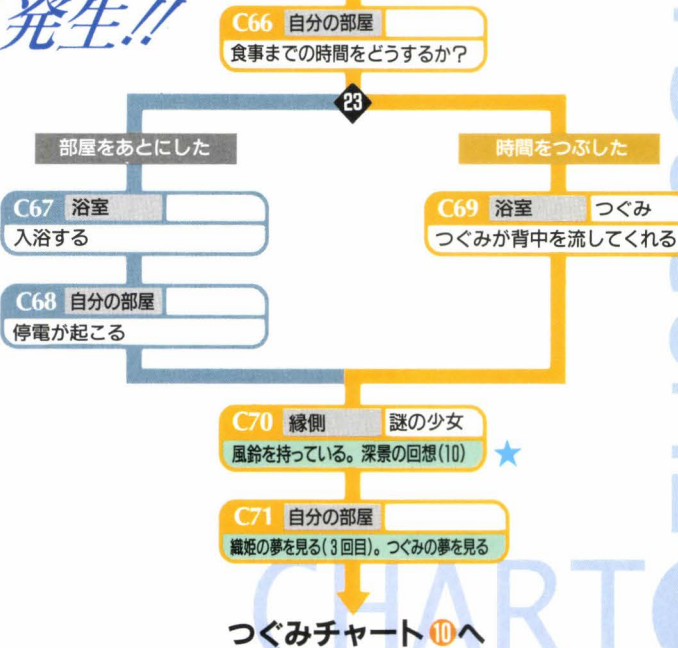
# 古びた堤防に咲く赤い花

突然の雨が暑気を洗い流した、その日の午後、バス停にたたずむつぐみを見つけた。赤い傘をさし、堤防に座る彼女の姿は、どこかはかなげに見えた。声をかけると、つぐみは「昔のことを思い出した」と答え、主人公を驚かせる。自分以外に、以前からこの浜辺を知る者がいたことに感慨を覚えた彼は、問われるまま過去を語り始めた。そして、彼女は真剣にその「想い出話」に耳を傾けてゆく…。

### ▶Route Check▶

分岐㉒では「話したくない」を選択すること。「この話は終わり」を選ぶと、P.79の分岐㉔で選択肢が出現しなくなり、バッドエンドに直結することに。

## 8月5日　風呂場

# 暗闇でハプニング発生!!

長い1日が終わり、浴室で疲れを癒していると、突然浴室の扉が開く。驚いてふり向く主人公の前に、なんと満面の笑みを浮かべたつぐみが立っていた。昼間のおんぶのお礼に背中を流してあげると、やる気満々な彼女に主人公は断れず押し切られてしまう。

ところが妙にうれしげなつぐみが懸命に彼の背中をこすっていると、不意にあたりが暗闇に包まれた。どうやら停電らしい。その瞬間、浴室に叫び声が響きわたり、つぐみが裸の主人公に抱きついてきた。

あわてて払うが、パニック状態の彼女は必死にしがみつく。しばらく闇の中でもみあっていたが、明かりがつくとつぐみは我に返り、真っ赤な顔で文句を言うと、よろけた足どりで逃げていった。主人公は、そんな彼女をただ呆然と見送った……。

背中を流しに来たったよ!

TSUGUMI CHART 9

つぐみチャート9

C66 自分の部屋
食事までの時間をどうするか?

23

部屋をあとにした

C67 浴室
入浴する

C68 自分の部屋
停電が起こる

時間をつぶした

C69 浴室 つぐみ
つぐみが背中を流してくれる

C70 縁側 謎の少女
風鈴を持っている。深景の回想(10) ★

C71 自分の部屋
織姫の夢を見る(3回目)。つぐみの夢を見る

つぐみチャート10へ

### ▶Route Check▶

分岐㉓で出現する選択肢は「時間をつぶした」を選ぶとよい。風呂場につぐみが現れ、背中を流してもらえるはず。このイベント自体は攻略の成否に直接の影響がないため、発生させなくても問題はないが、つぐみの意外な一面を見られる貴重なもの。

その日の夜、主人公は例によって「不思議な夢」を見て、つぐみの過去に触れることになる。

今日はお母んにぎょ〜うさんあまえる!

8月6日　松原

# 徐々に明らかになるつぐみの真実

くすくす…ここが海のくによ

5日目の朝。生徒たちがオリエンテーリングに出かけてしまい、静まり返った寮の庭で、主人公はあの不思議な女のコと出会う。

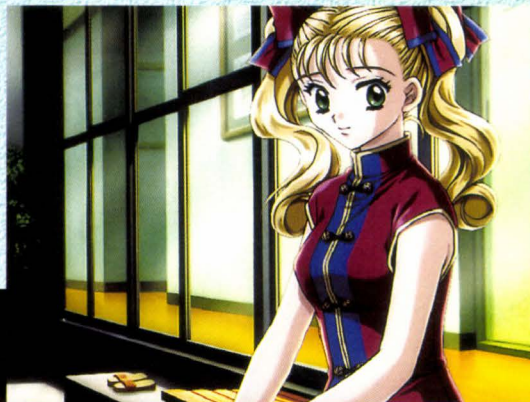
少女は、いつもの謎めいた笑いを見せると、ふいに隣りに座る彼の手を取った。そして、氷のように冷たい手で彼を導いてゆく。2人が訪れたのは「海の国」だった。無数の青に包まれた世界で無邪気に笑う少女に、誰かの面影が重なりかける……。

ふたたび目を開けたとき、彼はもとどおり縁側にいた。少女は、またもや微笑みを残し姿を消す…。

午後になり、ひとり食堂で新聞を読んでいる主人公の頭上から、不気味な笑い声が聞こえてきた。顔を上げると、その声の主は予想どおり、つぐみ。そして、彼女は何か企んでいそうな笑顔ですり寄ってくる。とりあえず話を聞けば、女のコたちの生着替えを収めたカメラを買わないかと言い出した。もちろん、それを没収する主人公。少し残念そうなつぐみだったが、すぐに気を取り直して彼の腕をつかんだ。……「デートや、デート行こ！」

真夏の日差しが容赦なく照りつける海岸。慣れた手つきでスケッチするつぐみを、主人公は感心しつつ見守っていた。彼女の絵は、母親の側にいるような柔らかな温かみに満ちている…。素直に賞賛の言葉を口にすると、少女は頬を染めてうつむいた。

他愛のない遊びで残りの時間を過ごし、寮にもどろうとしたとき、それは起こった。なにげなく主人公がつぐみの姿をフィルムに収めた瞬間、突如として彼女は蒼白な顔でカメラを取り上げ、海に投げ捨てたのだ。意外な反応に困惑する主人公。つぐみは悲痛な声で彼を罵倒し、涙まで浮かべ背を向け走り去る……。そして、後を追った彼は、由織の話から、つぐみの秘密の一端を知ることとなる。

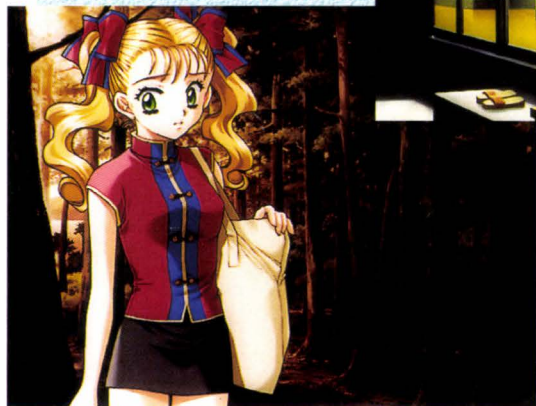
その夜、つぐみと話す機会を得るが、彼女の顔は沈んだままだった。やがて彼女が去り、ひとり虫の音に耳を傾けると、鮮明によみがえってくる深景の言葉……。

◀つぐみの顔は、恐怖に青ざめていた。いったい何が彼女を脅かすのか？

## ▶Route Check▶

このチャート⑩から、ようやくつぐみルートは1本道に。シーンC73では選択肢が出現するが、これはどちらでもOK。つぐみには好感度による分岐がないので、チャートに掲載してある攻略に関係する選択肢以外は、基本的にどちらを選んでもよい。

チャート⑩の特徴は、シーンC72で発生する謎の少女とのイベント。彼女が主人公を連れていく「海の国」は、物語全体を通してのキーワードのひとつになっている。また、つぐみのストーリーも新たな展開を見せる。彼女の意外な才能も見逃せないが、ポイントは「なぜ、つぐみがあんなに写真を嫌うのか」ということ。その理由はどこにあるのだろうか。由織との会話に重要なヒントが隠されているのだ。

ウチが欲しいもんは、お金じゃ買えへんし…

あの花は私たちの、想い出の証なの…

## 8月7日　旅館の跡

# 彼女の、小さな背中が背負うもの

7日の午後、主人公はつぐみを誘い、今はもう廃屋になっている旅館の跡地に来ていた。懐かしそうにまわりを見回すつぐみ…。喜々として「月下美人」の想い出を語りだす彼女を、痛ましげに見つめる主人公。

やがてひとつ息をつき、彼はある残酷な事実を彼女につきつける。……月下美人は、彼と深景が植えたものだということを。

主人公の言葉に、一瞬にして青ざめるつぐみ。

お母んが…風船…買うてくれたんや…

自分の過去のすべてを否定されてしまったショックに震える細い肩を強く抱きしめると、彼女はぬくもりにおびえるように目を閉じた。そして、たどたどしい口調で語り始める。彼女の抱える悲しい真実を……。痛みを忘れようとしてさらに傷ついていく、そんな彼女が愛しくて、彼はそっと白い肌に唇を寄せた…。

つぐみチャート⑪

| | | |
|---|---|---|
| C79 | 2階廊下 | |
| つぐみの部屋へ忍びこむ | | |
| C80 | 庭 | |
| つぐみの部屋で見たことを思い返す | | |
| C81 | バス停 | つぐみ |
| つぐみを誘いある場所へと向かう | | |
| C82 | 旅館 | つぐみ |
| つぐみに事実を指摘する | | |

㉔
- 抱きすくめる
- ただ立ち尽くす → BAD END

| | | |
|---|---|---|
| C83 | 旅館 | つぐみ |
| つぐみが傷跡を見せる | | |
| C84 | 旅館 | つぐみ |
| つぐみとH | | |

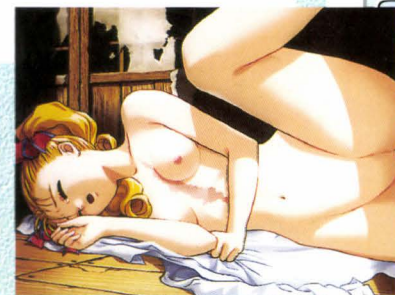
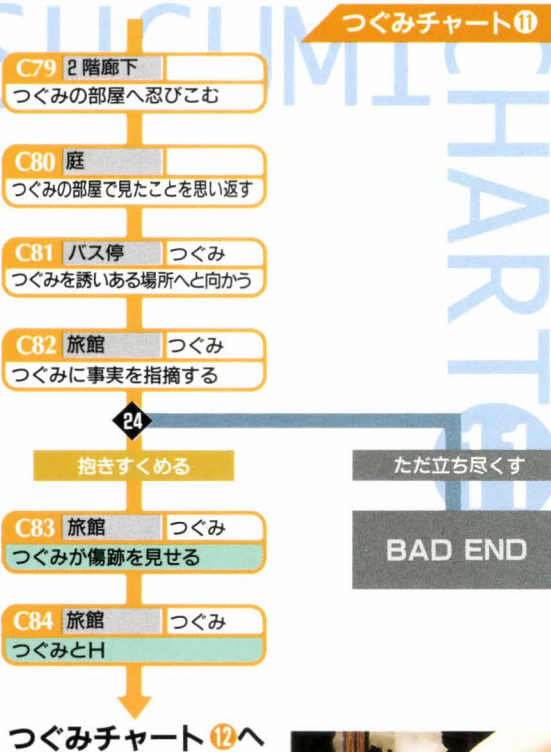
つぐみチャート⑫へ

TSUGUMI CHART 11

も、もっと愛したって、ウチのこと…

### ▶Route Check▶

分岐㉔の選択肢がすべてを決定することになる。つぐみを慰めるためにはもちろん「抱きすくめる」を選択。ただし、分岐㉒で「この話は終わり」を選んでいると、選択肢自体が出現せず、つぐみは主人公に悲しい怒りをぶつけ、そのまま消えてしまう。

またHイベント後に、重要なシーンが残っていることもつぐみチャートの大きな特徴になっている。

## 8月7日　東の海岸

# 今、少女は殻を脱いで、蝶になる……

誰もいない浜辺に、少女の笑い声が響きわたっていた。青い空と蒼い海の真ん中に、鮮やかな水着に身を包んだつぐみが笑っている。

今までで一番きれいな笑顔を、主人公は目を細めて見守っていた。彼女は過去を克服した。忘れてしまいたいほどつらい過去を……。

もう誰の手助けがなくとも、未来を見つめて歩いていけるだろう……。ふと顧みて、未だ想い断ち切れない我が身を自嘲する。そんな彼を、つぐみがやさしげに見つめていた…。

つぐみチャート⑫

| | | |
|---|---|---|
| C85 | 東の海岸 | つぐみ |
| つぐみが水着になって遊ぶ | | |
| C86 | 東の海岸 | つぐみ |
| 一緒に海を見る | | |

つぐみ ENDING

TSUGUMI CHART 12

添乗員さんに会えてよかった

あの夏の日は、少女が生まれ変わったメモリアル・デイ

# SUMMER MEMORY for 津賀島つぐみ

C47 突然現れた謎の物体!?

C59 初めての「おんぶ」

C64 堤防の上でぽつん……

C71 母の手の温もりは遠く

C83 突然の抱擁にとまどう

C83 悲しい「過去の傷跡」

C84 誰よりもきれいな身体

C84 過去を振り切るために

C84 愛撫に身を任せて……

C85 彼女は「主役」になる

C86 夕暮れのひととき……

ENDING 大切な心のアルバム…

津賀島つぐみの攻略はP.72より

## CHECK POINT エンディングについて

出会いがあれば、別れもある…。夏の1週間をともに過ごした女のコたちの「あれから」を大追跡。

### ■岩崎ちなつ

あれから何度目かの夏、偶然出会ったちなつ。想いを忘れないでいてくれた彼女に、主人公はやっと応えることができるのだ。

◀2人の間に風が吹いたとき、あの夏の日がよみがえってくる……

### ■早瀬　雫

雫との再会は1年後の、ある駅で。大学生になった彼女は見違えるよう。そして、2人は連れだって「ある場所」に向かう…。

◀楽しげに大学生活を語る雫に、かつての危うさは感じられない

### ■森沢奈緒

自分が受け取った想いを実現するために、奈緒は旅立ちを決心する。主人公にある約束を残して……。そして、彼も深景の真実を知り、過去への想いに別れを告げる。

### ■津賀島つぐみ

主人公の助けで、自分の道を歩きだしたつぐみ。あの夏の想い出を胸に抱きしめて、自らの夢をかなえることになる。主人公との再会は7年後、意外な場所で……。

### ■川奈由織

あれから1年、由織が24歳となる誕生日。1人の男が彼女の元を訪れる。それは…。

◀心に愛しい人を浮かべて、花に水をあげる由織。その前に人影が…

### 〈深景との別れについての一考察〉

物語を進める上で、主人公は「深景との別れ」を経験することになる。ここで重要なのが、彼女との別れのパターンが1つではないということ。

これはつまり、運命の糸（＝主人公の歩んできた道）は1本では表せないことを示している。

そして、歩んできた過去にふさわしい女のコとの出会いを織姫が紡いだのだ。たとえば「深景と再会の約束をした」という過去があるからこそ、雫と出会えたことになる。奥が深い……。

穏やかに過ぎていくはずだった、海辺の時間

# 川奈由織

D17 やさしく花を見つめる

D41 白いシーツがまぶしい

D47 ここはまるで別世界…

D58 月の明るい晩のお話…

D58 2人の想いはひとつに

D64 つまみ食いは禁止!?

D74 由織の瞳に映る想い…

D74 秘密の花園があらわに

D74 初々しい、由織の愛撫

D74 快感に翻弄されて……

D81 想い出の花が今、開く

ENDING そして、「風」は吹いた

「海辺でひとり、何かを待ち続けた日々は終わりを告げた――

川奈由織の攻略はP.82より

## Refrain Blue À La Carte Vol.2

リフレインブルー　ア・ラ・カルト

### ■オリエンテーリング

野外スポーツの1つ。2人以上のグループに別れて行うことが多い。それぞれのグループは磁石と地図を使って、コースに設けられたチェックポイントを探して通過する。目的地に達するまでの時間を競う競技。林間学校などでよく行われている。

### ■頭虫

別名「蚊柱」。夏の夕方、軒先などで、蚊やユスリカの幼虫が群れをなして飛んで、柱のように見えるもの。通常は雄からなっていて、雌が飛びこみ交尾することもある。

### ■松葉相撲

昔遊びの1つ。松葉を組み合わせて引っ張り合い、切れた方が負けになる。オオバコを使った「オオバコ相撲」もポピュラー。

### ■風鈴

陶器、ガラス、金属などで作った釣り鐘型の鈴。その中に短冊や羽をつけた「舌」を吊るし、風を受けて鳴る様子を楽しむ。夏に軒下や窓辺に下げることが多い。「江戸風鈴」など種類も多岐にわたり、各地の名産にもなっている。夏の風物詩の1つ。

### ■ミドリガメ

カメ目カメ科の1種、アカミミガメ（側頭部に赤い斑紋があるので、この名称）の子どもを「ミドリガメ」という。甲羅が緑がかった色で、美しい斑紋があるのが特徴。ただし、成長するにつれ、色があせることも。北アメリカ原産で、日本にはペットとして輸入されているが、それが逃げ出したものが成長して、関東地方の川や池に棲み着いている場合もある。もちろん淡水産。

### ■花言葉

それぞれの花に、その性質や特徴に合わせて、象徴的な意味を持たせたもの。国によって異なったり、また1つの花でいくつもの花言葉があったりもする。「花詞」とも。

その花の形や、色、香り、咲く季節などからイメージしたものと、花にまつわる神話や伝説、伝承から想起されたものがある。

由織（8／6）の誕生花
ノウゼンカズラ［名声］

参考文献：「大辞泉」松村明・監修（小学館）／「366日の誕生花物語」植松黎・著（日本法令）

KAWANA YUORI

# 川奈由織

KAWANA YUORI

由織は何かを待っている。自分でも、なぜなのかよくわからない。ただ待っているのだ、「風が吹くとき」を……。

## 8月3日　出会い

### ほんのりほんわかお手伝いさん登場

8月3日早朝、主人公「松永善博」は、寮を手伝う由織の勧めにより、林を散策していた。喧噪から解き放たれ、澄んだ空気を深呼吸する。そのとき初めて、彼は人影に気づいた。艶やかなポニーテールの少女は、しゃがみこみ何かを見つめている。どうやら同行しているサマースクールの生徒のようだ。

近づいて名前を尋ねても、女のコは地面から視線を外さない。あきらめかけたとき、ようやく彼女の口が開いた。「しずく……それが私の名前……」。これが、主人公と雫の出会いだった…。

朝食の席で、彼女のことを尋ねると、サマースクールの参加者で、すでに主人公とも顔見知りの治美が驚いたような顔をした。同じクラスの彼女に言わせると、雫はかなりの変わり者らしい……。

この日はその後も雫とは深景の「特等席」で再度出くわす。

◀花を見つめて微動だにしない、不思議な雰囲気を持つ…

やがて陽が落ち、飯ごう炊さんでかいた汗を流そうと風呂場に向かう主人公。服を脱いで浴室に入ると、そこにはなぜか由織がいた。

あせる主人公と違い、あくまでマイペースに会話する彼女。スローな口調できちんと挨拶をして、おっとりと浴室から出ていった…。

### ▶Route Check▶▶▶▶▶▶▶

由織を攻略するには、雫のストーリーを同時に進める必要がある。前半は雫がメインで進み、ルートの途中で由織の物語に行くか、雫を進めるかが選べる。

分岐①は「悪くないかな」を選んで、散歩に行くこと。1度つぐみの攻略が終わっていれば、林の中に雫が登場するはず。彼女に会わないと話が進まなくなる。分岐②では「寄り道をする」を選択すると、今までとは違った深景の回想シーンが見られる。分岐③④⑤は基本的にどちらでもいいか、「こんがり小麦色」を選べばつぐみが登場しなくなるので、そのぶん攻略が楽。ちなみに、由織・雫の攻略では深景の回想に変化が起きるため、奈緒が現れることはない。

### 由織チャート❶

8月3日

D01 玄関　由織
散歩を勧められる

❶
- 時間まで待ってる → ちなつチャート P.54 シーンA04へ or 奈緒チャート P.64 シーンB04へ or つぐみチャート P.72 シーンC04へ
- 悪くないかな

D02 林　雫
名前を教えてもらう

D03 食堂　由織・管理人
由織に朝食の礼を言う

（ちなつチャート P.54 分岐❷から or 奈緒チャート P.64 分岐❷から or つぐみチャート P.72 分岐❷から → D03へ）

D04 食堂　ちなつ・治美・雫
治美から雫のことを聞く

D05 東の海岸　謎の少女
名前を呼ばれる

❷
- 少し寄り道をする
- 寮までの道をたどる → ちなつチャート P.54 シーンA08へ or つぐみチャート P.72 シーンC08へ

D06 岬　雫
深景の回想(12)。雫に自己紹介する ★

D07 寮の前　由織
小さな女のコは住んでいないと聞く

D08 食堂～西の海岸　ちなつ・治美
ちなつたちと海岸で遊ぶ ★

❸
- 日焼け止め
- こんがり小麦色

D09 西の海岸　つぐみ・ちなつ・治美
つぐみが写真を撮りにくる

D10 炊事場　ちなつ
野菜切りを手伝う

❹
- 寮の中へ戻った
- 炊事場を見て回る

❺

D11 炊事場
つぐみと友人の会話を聞く

D12 炊事場
そそくさと逃げ出す

D13 自分の部屋
浴室へ向かう

D14 浴室　由織
浴室内に由織がいる

D15 縁側　謎の少女
七夕の話を聞く（1回目）

D16 自分の部屋
織姫の夢を見る（1回目）

由織チャート❷へ

**8月4日　花壇**

# 彼女が花に託した想い

## 由織チャート❷

| D17 | 花壇 | 由織 |
|---|---|---|
| 花に水をあげている ♥ | | |

❻
- 部屋でゴロゴロする
- ちょっと迷ってる

❼

| D18 | 食堂 | ちなつ |
|---|---|---|
| ビーチバレーに誘われる | | |

❽
- ひと汗かいてみる → つぐみチャート P.73 シーンC23へ
- 今日はやめとく

| D19 | 寮の前~自分の部屋 | 由織・ちなつ |
|---|---|---|
| ちなつが日射病にかかる ★ | | |

| D20 | 2階廊下 | 謎の少女 |
|---|---|---|
| 倒れた人、大丈夫と聞かれる | | |

| D21 | 1階廊下 | 管理人 |
|---|---|---|
| ボウルを持った管理人に会う | | |

❾
- そのボウルは…？
- 食堂の方に向かった → ちなつチャート P.55 シーンA34へ

| D22 | 寮の裏 | 管理人・雫 |
|---|---|---|
| 雫がカモメに餌をあげる | | |

| D23 | 1階廊下 | 由織・ユウキ |
|---|---|---|
| ユウキを紹介される | | |

| D24 | 浴室 | ユウキ |
|---|---|---|
| ユウキに水をかけられる ♥ | | |

❿

| D25 | 2階廊下 | ちなつ |
|---|---|---|
| 看病のお礼を言われる | | |

| D26 | ラウンジ | 治美 |
|---|---|---|
| 雫を探している | | |

| D27 | 松原 | 雫 |
|---|---|---|
| 先生が探していることを伝える | | |

| D28 | 2階廊下~ラウンジ | ちなつ |
|---|---|---|
| みんなで王様ゲームをする | | |

| D29 | 縁側 | 謎の少女 |
|---|---|---|
| 七夕の話を聞く（2回目） | | |

| D30 | 自分の部屋 | |
|---|---|---|
| 織姫の夢を見る（2回目） | | |

由織チャート❸へ

## ▶Route Check

由織・雫を攻略するためには、ビーチバレーをしてはいけない。そのため分岐❻で「部屋でゴロゴロする」を選ぶか、分岐❽で「今日はやめとく」を選ぶ必要がある。もちろんちなつが日射病になっている場合は、どちらでもOK。

分岐❾では必ず「そのボウルは?」を選び、管理人の後をついていくこと。寮の裏でふたたび雫と会えるはず。ただしP.82のシーンD06を見ていないとダメ。分岐❿は、ちなつが日射病になっていたら、看病のお礼に現れることに。

3日目の朝、寮から外に出ようとしたところで、花壇に水をまく由織と出会った。じょうろを傾ける彼女と、しばし語らう主人公。由織は花々に愛情のこもった視線を向けながら、個々の花についてうれしそうに語る。穏やかな口調とその微笑みは、人の心をくつろがせるような、柔らかな雰囲気を持っていた。

その日の午後、ボウルを抱えた管理人に声をかけられた主人公は、彼の言葉に興味を覚え、その後をついていく。2人で寮の裏に向かうと、そこには管理人のペットのカモメと、

それを見つめる雫がいた。やけに生真面目な態度の雫を、不思議に思う2人……。

## 今年もみんな、きれいに咲いてくれました

そして日も暮れ、主人公は浴場に向かう途中、由織とそのスカートにまとわりつく子どもに遭遇する。その少年が金髪碧眼なのに驚き、何者か由織に尋ねると、なんと管理人さんの息子だと言う。彼が結婚していた事実に、さらに驚く主人公。

やがて、気を取り直した彼がその少年、ユウキに話しかけても、男のコは黙ってにらむだけ。その反応に苦笑するしかない主人公。しかし、この後、浴室に現れたユウキはさらなる暴挙におよぶ……。

◀金髪碧眼の男のコが管理人さんの息子？　さらに謎が増す彼の正体…

◀瞳を閉じて、静かに七夕の話の続きを語る少女は、どこか大人びて見えた……

## 8月5日　林

# 朝まだきの光の中で…

翌朝、いつもより早く目覚めた主人公は、ふたたび林へ向かう。予想どおり、そこには雫がいたが、今日は彼女だけではなかった。由織が傍らで微笑みながら、話しかけているのだ。足元の小さな花を見つめる雫に、由織は「露草」という名前を教え、その花弁をつぶしてみせた。すると、指に着く真っ青な色を、雫は感動したように眺めるのだった……。

雫さんと、お互いの自己紹介をしていたところなんですよ

◀意外な組み合わせ。柔らかな由織の物腰に、雫もちょっと安心した様子……

### 由織チャート❸

D31 寮の前
朝の散歩に出かける

⑪

裏手の林の方へ

D32 林　由織・雫
露草の話を聞く

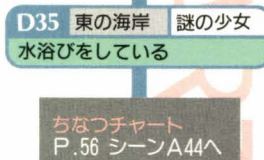
D33 食堂　ちなつ・治美
一緒に山登りをしようと誘われる

D34 玄関　ちなつ
お弁当を取りに行ってくれる

由織チャート❹へ

松原の方へ

D35 東の海岸　謎の少女
水浴びをしている

ちなつチャート
P.56 シーンA44へ

### ▶Route Check ▶▶▶▶▶▶

分岐⑪では「松原」を選んで海に向かうと、謎の少女の水浴び姿が見られるが、由織・雫の攻略からは外れることになる。深景チャートに組みこむと効率がよいだろう。チャート④の分岐⑫では「背中を見送った」なら由織チャートが確定。「呼び止めた」なら、雫チャートに進む。雫チャートはP.89以降を参照。

## 8月5日　物干し場

# 盛夏の風に、白いシーツがひるがえる

顔に何かが当たった衝撃で階段から落ち、足をくじいたおかげで、生徒とともに参加予定だった山登りには行けなくなってしまった。

しかたなく部屋で休んでいると、由織に連れられユウキが訪ねてきた。彼が主人公の顔にBB弾を撃った犯人らしい。しかし、由織が諭しても、謝ろうとしない少年。その理由がなんとなくわかる主人公は、彼を怒る気にはなれなかった…。

やがて、部屋で退屈した主人公は、屋外で由織のシーツ干しを手伝う。洗いざらしの白い布地をひるがえす彼女は本当に楽しそうに見える……。

▲ユウキはなぜか主人公が嫌い。その原因はいったい…？

その様子に、以前からの疑問がより深まった。育ちのよさそうな彼女が、なぜこんな場所で働いているのか？　人里離れたこの海辺で暮らしていて、寂しくはないのだろうか？

どの質問にも彼女は静かに首をふるだけ…。

1年中、間近にきれいな海を見ることができて……こんな素敵な場所はなかなかないと思います

## 8月5日　コスモス畑

# 海を見おろす丘で、2人が急接近する…？

夏の定番「そうめん」で、由織やユウキと一緒に昼食をすませた主人公は、今度は3人でトランプで遊ぶことに。最初のうち、ユウキは主人公の存在に納得いかなそうだったが、やがて子どもらしくゲームに熱中し始めた。由織も、のんびりおっとりした性格をいかんなく発揮しながら、ババ抜きに興じる。そんな彼女を、次第に好ましく思い始める主人公。

一見、仲むつまじく遊んでいた3人だったが、ババ抜きに飽きた主人公が「管理人さんも呼ぼう」と言い出すと状況が急変する。ユウキがそれに反発し逃げ出してしまったのだ。突然でとまどう主人公に、由織がそっとユウキの複雑な家庭環境を教えてくれた……。

▲由織の性格はトランプには向いていないらしい……

そのまま散歩に出かけた由織と主人公。その2人に声がかかる。あの不思議な少女が寮の前に立ち、いいところに連れていってあげると言う。不審に思いながらも後に続く2人。

やがて着いたのは、海が見える丘の一面のコスモス畑。咲き乱れるピンクや白の花々に、目を細める由織。圧倒的な花の香りが漂う中、生き返ったように深呼吸をする。うっとりとした彼女の横顔は穏やかで上品だが、静かなあきらめに満ちているようにも見える……。その理由がどこにあるのかわからず、主人公はただ彼女から目が離せなくなっていた……。

そして、不思議な少女は、この花畑の全部を自分が育てていると語る。驚く2人を見て誇らしげに笑う女のコ……。その笑顔に、主人公は記憶の片隅に残る深景の面影を思い出す。彼の人もまた、由織やこの少女と同じように、花や自然を心から愛した人だった……。

## コスモス…。私がいちばん好きな花のひとつです

どれくらい時間が経ったのか、2人が寮の前にもどってきた頃には、すでに日が暮れようとしていた。謎の少女はさよならを告げると、あっという間に姿を消す。そして、小さな後ろ姿を見送る2人の頭上に、冷たいものが落ちてきた。浜辺に、静かに雨が降りだしたのだ……。

しかし雨はすぐに止み、月が闇を照らしだしたとき、彼は再度あの少女と向きあっていた…。

### Route Check

このチャート以降、由織攻略はほぼ1本道となる。他のキャラへの移行や、他ルートからの飛びこみもない。また分岐⑬は、どちらを選んでも問題はない。

由織チャートの特徴として、2人で一緒に行動する、いわゆるデートイベントが多いことが挙げられる。ここでは、不思議な少女に連れられてコスモス畑を見に行くことに。その他にも、月夜の浜辺や、松原、岬、夕暮れどきの海岸などが舞台になる。

また、攻略可能キャラの中では、好感度に関係する選択肢がもっとも多いのも特徴の1つ。彼女の趣味の「花を育てること」と、「ユウキ」に関連するものが多く出現する。とくに後者は、ポイントが高くなっているので注意。くわしくはP.88を参照。

このチャートの最後のシーン（D52）で、主人公はまたもや深景を思い出す。2人で海を眺めながら深景が語った話は、「お月様と人魚」のお話。つぐみのハッピーエンドを見ている人ならば、ピンときた人も多いはず。運命の糸はつながっているのだ……。

また、深景のセリフ「お月様は笑っている」は、この後のストーリーで鍵となるので要チェック。

## 8月5日　東の海岸

# 月だけが知っている2人の秘密

その夜、管理人と由織と酒席を囲む主人公。ユウキのイタズラを知った管理人がおわびに誘ってきたのだが、本人はすぐ酔いつぶれてしまう。部屋に管理人を運び、もどろうとすると、由織が外へ出ようと声をかけてきた。

深夜の海岸を、2人でゆっくりと歩く。いつもと違って無邪気にはしゃぐ由織の姿に、なぜか主人公の胸は高鳴る。やがて、2人はごく自然に唇を重ねあわせた…。

やっと…ふたりきりになれましたね……

### 由織チャート❻

| No. | 場所 | 人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| D53 | 玄関 | ユウキ・管理人・由織 | ユウキが追いかけられている |
| D54 | 食堂 | 由織・管理人 | 3人で酒を飲む |
| D55 | 玄関 | 由織 | 散歩に誘われる |
| D56 | 寮の前 | 由織 | 砂浜に行こうと誘う |
| D57 | 松原 | 由織 | 暗いから気をつけてと言われる |
| D58 | 東の海岸 | 由織 | 由織とキスをする ♥ |
| D59 | 自分の部屋 | | 織姫の夢を見る（3回目）。由織の夢を見る |

由織チャート❼へ

## 8月6日　食堂

# 3人で作ったバースデイケーキ

### 由織チャート❼

| No. | 場所 | 人物 | 内容 |
|---|---|---|---|
| D60 | ラウンジ | 由織 | おでこの落書きを指摘される |
| D61 | 玄関 | 管理人 | 管理人が二日酔いになっている |
| D62 | 花壇 | 由織 | 花に水をあげている |
| D63 | 寮の前 | 由織 | 誕生パーティーに誘われる |
| D64 | 食堂 | 由織・ユウキ | 3人でケーキを作り、パーティーをする ♥ |

由織チャート❽へ

8月6日、雲ひとつなく晴れわたった今日は、由織とユウキの誕生日だ。庭で出会った由織に、一緒にバースデイケーキを作らないかと誘われる。もちろん快諾する主人公。

昼食後の食堂で、ユウキにホイップクリームのしぼり方を教える由織の声がやさしく響く。生意気ぶる彼も、このときばかりは真剣な顔でケーキのデコレートに挑戦していた。

◀みんなで作ったケーキを囲んでの誕生会。このときばかりは、さすがにユウキもうれしそう

そんな2人をほほえましく眺めていた主人公は、自分たちがまるで「家族」のようだと考え、ひとり赤面する。それと同時に、脳裏によみがえる昨日のキス…。

完成したケーキを前にささやかなお祝いをしながら、彼は由織への確かな想いを自覚していた。そして、彼女との別れが近いことも…。

### ▶Route Check◀

完全な1本道に突入。P.85で述べた「デートイベント」が続くことになる。とくに、月夜の海岸では好感度の選択肢が連続して出現、注意が必要になる。夢見がちな由織をおとしめるような発言は禁物。また彼女の質問に、本気で答えない選択肢もバツだ。

海岸でのキス（シーンD58）で、主人公には「由織が好きだ」という明確な自覚が生まれる。だが、翌朝会っても、由織の態度はまだまだ変わらない。彼女が主人公をどう想っているのか、想いに応えてくれるのかが判明するのは、もう少し先になる。

## 8月6日　由織の部屋

# 想い出と恋人と、たったひとつの願い

YUORI CHART 8

### 由織チャート8

- D65 松原｜由織｜浜木綿を見つける
- D66 岬｜由織｜海を眺める
- D67 東の海岸｜由織｜好きな季節の色をたずねる
- D68 松原｜由織｜自分を知ってもらえてうれしいと言われる
- D69 寮の前｜由織・管理人｜由織にトウモロコシでくすぐられる ♥
- D70 食堂｜由織・管理人｜3人で酒を飲む
- ⑭ → BAD END
- D71 玄関｜由織｜由織に絵をプレゼントする
- D72 ラウンジ｜由織｜由織の部屋に行きたいと言う
- D73 自分の部屋｜時間をつぶす
- D74 由織の部屋｜由織｜由織とH
- ⑮ いたわってあげたい／愛の証を残したい
- D75 自分の部屋｜由織の夢を見る

由織チャート9へ

誕生会のあと散策に出た2人は、宵闇が迫る海岸に立ち、無言で波を見ていた。じっと海の彼方を見すえる由織の横顔に、知らず見とれる主人公。しかし、彼女の視線は、大事な何かを待ち続けている、悲しい色も含んでいるようで、少しだけ彼を切なくさせた……。

そして消灯時間が過ぎた頃、またも酒宴が催された。再度酔いつぶれた管理人を運んでから、主人公は想いの証として、1枚の絵を由織に差し出す。それは、かつて愛した女性が描いたこの海の絵。今の自分に本当に必要な相手がわかったとき、彼に迷いはなくなった…。

夜更けの由織の部屋で2人きりで向きあう。話せば話すほど、彼女の新しい面に触れ、さらに惹かれていく。もう、片時も彼女を離したくない。抑えきれない熱情を瞳に乗せると、由織は頬を赤らめ、微かにうなずいた……。

### ▶Route Check▶

由織のクライマックスと言うべきイベントが続く。まず分岐⑭だが、好感度による判定が用意されている。一定値に達していないと、由織に深景の絵をプレゼントするイベント（シーンD71）で、彼女が絵を受け取ってくれないのだ。すると、そのまま織姫が登場してバッドエンドに進んでしまう。主人公の想いが報われるかどうかは、ここで判明するぞ。

分岐⑮では「いたわってあげたい」を選択すること。「愛の証を残したい」を選ぶと、P.88の分岐⑯で自動的に右ルートに進んで、エンディングが見られなくなる。誰よりも大切な女性だからこそ、大事にしてあげるべき。ここは欲望を抑えておくこと。

今まで攻略してきた女のコたちと違って、由織に克服すべき「傷」はない。ただ、何かを待ち続ける彼女の「風」になれるかが大きなポイントなのだ。

## 8月7日　旅館の跡

# 月明かりの下で、ひそやかに咲く花

由織と結ばれた夜が残酷に明け、ここで過ごす最後の日がやってきた。主人公は朝から由織を探すが、彼女を見つけられない。時間がないという焦燥がさらに気分を重くする。いつのまにか彼の足は旅館の廃屋へと向かっていた。それは、深景への想いに区切りをつけるためかもしれなかった。

しかし、旅館跡で人影を見とめた瞬間、彼は深景の名を叫んでしまう。自分自身に驚愕する主人公…。昨夜、由織に愛を誓ったにも関わらず、自分は深景を求めたのか？　昨日の由織への言葉はすべて偽りだったのか…？

呆然とする主人公の前に姿を現したのは、深景ではなく、あの不思議な少女だった……。

そして、その最後の夜、由織と主人公は花開いた月下美人の前にたたずんでいた。あの日、深景と一緒に植えた「想い出の花」の前、由織は静かに彼への別れの言葉を口にした…。

### 由織チャート⑨

YUORI CHART 9

| シーン | 場所 | 登場 | 内容 |
|---|---|---|---|
| D76 | 寮の前 | ユウキ | ユウキに怒られる |
| D77 | 林 | ちなつ | セミの墓を建てる |
| D78 | 旅館 | 謎の少女 | 深景と見まちがえる |
| D79 | 西の海岸 | | 砂を掘り返す |
| D80 | 寮の前 | 由織 | 由織がどこかへ出かけていく |
| D81 | 旅館 | 由織 | 月下美人の前で話す |

⑯ → 由織 ENDING / BAD END

◀今ある由織への想いと、過去の深景への想い。2つの感情の狭間で、主人公の心は揺れ動く……。

### ▶Route Check▶▶▶

無事に想いをとげて幸せいっぱいの主人公に、突如襲いかかる悪夢のような出来事。それが、このチャート⑨になる。

まず昼間に訪れた旅館の廃屋で、彼は未だ深景への想いを捨てきれない自分に気づくことになる。しかし、由織は彼を怒ろうとはしない。改めて愛しさを痛感して由織にプロポーズする主人公。だが、由織はその主人公の気持ちを受け取ってはくれない……。

この後、花言葉に託した由織の真実の想いに気づくためには、P.87の分岐⑮で「いたわってあげたい」を選んでいることが必要。欲望に負けていた場合、分岐⑯で自動的にバッドエンドに。

お互いの心の中に、何かが残って…
それがいつか芽生えて…
そして、花を咲かせるときが来ます

## CHECK & CHECK　由織の好感度について

**選択肢の数は攻略キャラ随一。細かいポイントの積み重ねが、ハッピーエンドにつながる道なのだ…⁉**

由織の特徴は、まず選択肢の数が多いこと。その分、他キャラに比べて、獲得すべきポイントも高めの設定になっていて、合計60点のうち46点を取れば、合格ラインに到達する。ただし、ちなつの日射病の場合のように、選択肢が出現するイベントを発生させるために段階が必要というものはない。一度、由織チャートに入れば自動的に現れるものばかりなので、比較的ラクなはず。注意すべきはシーンD24。子ども相手にムキにならないこと。

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンD17 | 「そう言えば『花には、育てた人の人柄が現れる』って聞いたことがあるな」 | +8 |
| | 「由織さんは、ずいぶん花に詳しいんだなと思って」 | +6 |
| シーンD17 | 「今日は特別暑くなりそうだし、部屋でゴロゴロする予定でいるんだ」 | +4 |
| | 「今日は特別暑くなりそうだし…実はどうしようか、ちょっと迷ってるんだ」 | +6 |
| シーンD24 | 頭に来た僕は、大声で怒鳴りつけた | +4 |
| | お咎めなしで見逃すことにした | +8 |
| シーンD41 | 「どうして由織さんは、ここでお手伝いさんとして、働こうと思ったんだい？」 | +6 |
| | 「いつから由織さんは、ここでお手伝いさんとして、働き始めたんだい？」 | +4 |

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンD44 | そのままババを避けて引いた | +4 |
| | ババを引いてあげることにした | +6 |
| シーンD58 | 「そうだな、乙姫様なんて似合わないとか…」 | +6 |
| | 「さあ…なんだろうな」 | +4 |
| シーンD58 | 「でも、あのカメってお姫様だったらしいよ」 | +8 |
| | 「ははは…それは今もおんなじじゃない？」 | +6 |
| シーンD64 | 「誕生日おめでとう、由織さん」 | +4 |
| | 「はっぴばーすで〜、とぅ〜ゆ〜」 | +6 |
| シーンD69 | 「あはははは、くすぐったいよ由織さん」 | +4 |
| | 「ははは、やったな由織さん」 | +6 |

HAYASE SHIZUKU

悲しい想い出が、少女の心を海から遠ざけた……。いつか、彼女が心から笑える日はくるのだろうか？

# 早瀬 雫

HAYASE SHIZUKU

## 朝露の中で出会った少女

### 8月3日 林

雫と初めて会ったのは、朝の陽光あふれる林の中。由織に勧められるまま、散歩に出たときのこと。足元の可憐な花を見つめ、微動だにしない少女を見つける主人公。名前を問えば、無言で小さな花をつつき、そこにたまる露を落とす。花弁からこぼれる小さな水の「しずく」。それが彼女の名前だったのだ……。

彼女の透明な雰囲気に興味を覚えた主人公は、朝食の席でその姿を探す。そこには、誰とも話さず、ひとりで食事する彼女がいた。同級生の治美によれば、雫は他人に壁を作るタイプで、クラスでも浮いているらしい……。

しばらく後、深景の「特等席」でふたたび出会った雫は、そばの主人公の存在さえ無視したように、ひたすら海を見つめる。まるで、懐かしい大切な誰かを思い出しているような視線で…。

▲海の彼方を見つめる雫を、主人公は思わず深景と間違える

### 8月4日 寮の裏

## カモメを見つめる不思議な瞳

次に雫と顔を合わせたのは、薄暗い寮の裏手。管理人について、彼のペットを見に行くと、そこに彼女がたたずんでいたのだ。檻に入れられたカモメを真剣な表情で見つめる雫。その様子は、カモメに何か思い入れがあるようにも見えた…。

やがて管理人の勧めで、カモメに餌をやり始める雫。初めは恐る恐るだったが、次第に慣れたのか、スムーズに魚をカモメの口に運べるようになる。微かにほころぶ、その表情を見て、主人公は思った。

彼女は感情がないわけではない。表面にこそ出ないが、胸の中にはたくさんの想いが渦巻いているはずだ。餌をやり終え、寮内へもどる雫の姿を見ながら、彼はこの無口な少女ともっと話してみたいと感じ始めていた……。

▼なぜか悲しい顔でカモメを見つめる雫。けれど、彼女の心の中にある気持ちまではわからなくて……

### 8月4日 松原

## 心の奥にある感情

夕方、ラウンジで困った様子の治美に会う。事情を聞くと、先生に雫を探すよう言われたのだが、彼女の姿が見えず途方に暮れているという。そこで、心当たりのある主人公は、その役目を肩代わりすることにした。

彼の予想どおり、雫は岬に行っていたらしい。途中の松原で、もどってくる彼女を見つけたからだ。治美の用件を伝えると、落ちこんだように下を向く。その瞬間、彼女のお腹が鳴った。赤面する雫。彼は、その姿に新鮮な魅力を感じるのだった…。

### 8月5日 林

## 朝の散歩で、運命の出会い…？

4日目の朝、また早めに目覚めた主人公は、雫に会えるかもしれないと、林へと向かう。果たして彼女はそこにいた。しかし、今日はその傍らで由織が微笑んでいる。彼女も散歩中、偶然雫に会ったらしい。

さしもの雫の警戒心も、由織ののんびり口調に、少し薄らいでいるようだ……。

挨拶をかわす主人公と由織。2人の前、雫はまたも例の花を見つめる。由織はその様子に気づくと、その花弁をつまんでつぶした。とたんに鮮やかな色に染まる指先。露草は染料としても使用されると語る由織の博識ぶりに感心する主人公。

しかし、雫はただ彼女の指先を見つめる。鮮烈な「青」に魅入られたように…。

### ▶Route Check◀

由織チャートで述べたように、雫と由織の攻略は途中までルートが一緒になる。このページで紹介したイベントは、すでに1回見たものばかりのはず。

まず8月3日。必ず「悪くないかな」を選択して、雫と顔を合わせること。ただし、つぐみの攻略が終了していないと彼女は出現しない。名前を聞くと朝食時のイベントが変わって、治美からさらにくわしい情報が得られる。深景の回想も内容が変化する。

8月4日のポイントはビーチバレーをしないことと、カモメを見に行くこと。雫がカモメに餌をやるイベントを見れば、夕方、人探し中の治美と会える。

8月5日は、雫（由織）の攻略を目指すならば、「林の方へ」を選択。ふたたび雫と由織に会える。ここで2人に会うと、ユウキのイタズラが発生して、山登りに行けなくなる。雫の攻略には不可欠の条件。

## 8月5日　岬

# 大切な人の面影を求めて……

捻挫で山登りを断念した主人公は、寮内でバケツを手にした雫の後ろ姿を見かけた。声をかけると、彼女は山登りに参加しないなら、寮の掃除をしろと先生に言われたらしい。退屈していた主人公は、雫を手伝うことにした。

三角布で包んだ長い髪を揺らしながら、大きな窓を拭く雫。けれど、彼女は絶対に主人公より高い視点には立たない。常に彼より下にいようとする。人を見下ろすことを避けているような態度を、不思議に思う主人公……。

うみは…。
うみは、よるのやみが…。
しずくとなってこぼれおちた、おおきなみずたまり。
だから、わたしたちのみているうみは…。
ほんとうのうみの、ほんのうわずみ…。
だから、ほんとうのうみのいろは…。

# スイカは…血の色をしてるから嫌いです…

掃除が終わり、由織にもらった昼食を一緒に食べる２人。デザートのスイカを「血の色をしてる」と言って食べようとしない雫に、彼は「とっておき」を見せてやるのだった…。

午後、足のケガも落ち着いた主人公は、誰もいない浜辺に立ち、深景を思い返していた。波と遊ぶ自分たちの姿が、脳裏に浮かんでは消える……。あの頃の自分は、深景の真実を何も知らなかった……。

ひとりがつらくなった彼は、思いつき岬へと足を向けた。いつかと同じように海を見つめている雫に、かつての深景の姿が重なる…。

そして、雫は少しずつ話しだす。「海の詩」を聴きにくると兄さんと約束したことを…。彼女が「兄さん」と呼ぶ声は温かさにあふれ、たがいの大切な絆を感じさせた。

やがて、彼もまた胸に秘す「約束」のことを雫に話し始める……。

▶せっかくの由織のお誘いだけど、ここは雫を追うことに専念しよう

## ▶Route Check▶

雫チャートに入るには、P.84由織チャート④の分岐⑫で、雫の後ろ姿を「呼び止めた」を選択する。すると、やはり山登りに参加していない彼女と、廊下の窓の拭き掃除をすることになる。これで、シーンE05の選択肢が出現する。ここで由織の「誘いを断った」を選べば、雫チャートを進むことが確定。

またルート決定の選択肢は少ないが、好感度判定に関係するものは多い。とくにシーンE07では連続して登場するので注意。雫は「生命」に敏感なので、たとえ松ぼっくりでも粗末にしてはいけないのだ。

# 悲しいから…
# 悲しいから…涙を流したの…

## 8月5日　庭

# 心の真ん中にある想い出

雫が予言したとおり降り出した雨も、夜を迎える頃には止んだ。食堂で新聞を広げていた主人公は、部屋にもどろうとして庭に立っている雫を見つけた。なにげなく後ろ姿に声をかける。すると、いきなり雫がしがみついてきた。しかも目に涙さえ浮かべて…。うろたえる主人公が理由を問うと、彼女は恐怖に震える声で訴えた。「大きな虫が…怖い…」。

さらにきつく抱きついてくる雫をなだめながら、彼は意外に感じていた。ふだん落ち着いていて感情を見せない雫が、ここまで取り乱すなんて…。むしろ彼女は、誰よりも感受性が鋭いのかもしれないと思う主人公だった。

▶「しゃっくり」がとまらなくて涙目の雫。こうしてみれば、彼女もみんなと同じ、普通の女のコだ

## あ…っ…あの…っ…っ…な…治り…っませんか…っ…

しばらくして落ち着いたように見えた雫が、今度は「しゃっくり」が止まらないという。驚いた弾みで出るようになったらしい。助けを求める彼女を放ってはおけず、とりあえず食堂に連れていき、水を飲ませることにする。

飲もうとしてはこぼすという行為を幾度かくり返したあと、ようやく雫のしゃっくりは収まった。恐縮して何度も謝る雫に笑いかける主人公。

本人には深刻だが、彼には、彼女のかわいい面を見られ、楽しい時間だった…。

やがて、部屋でくつろぐ主人公に聞こえてくる風鈴の音。その音に誘われるように縁側を訪れると、謎の少女が座っていた。彼女の持つ海色をした風鈴を見つめていると、遠い日の深景の言葉が聞こえてきた……。

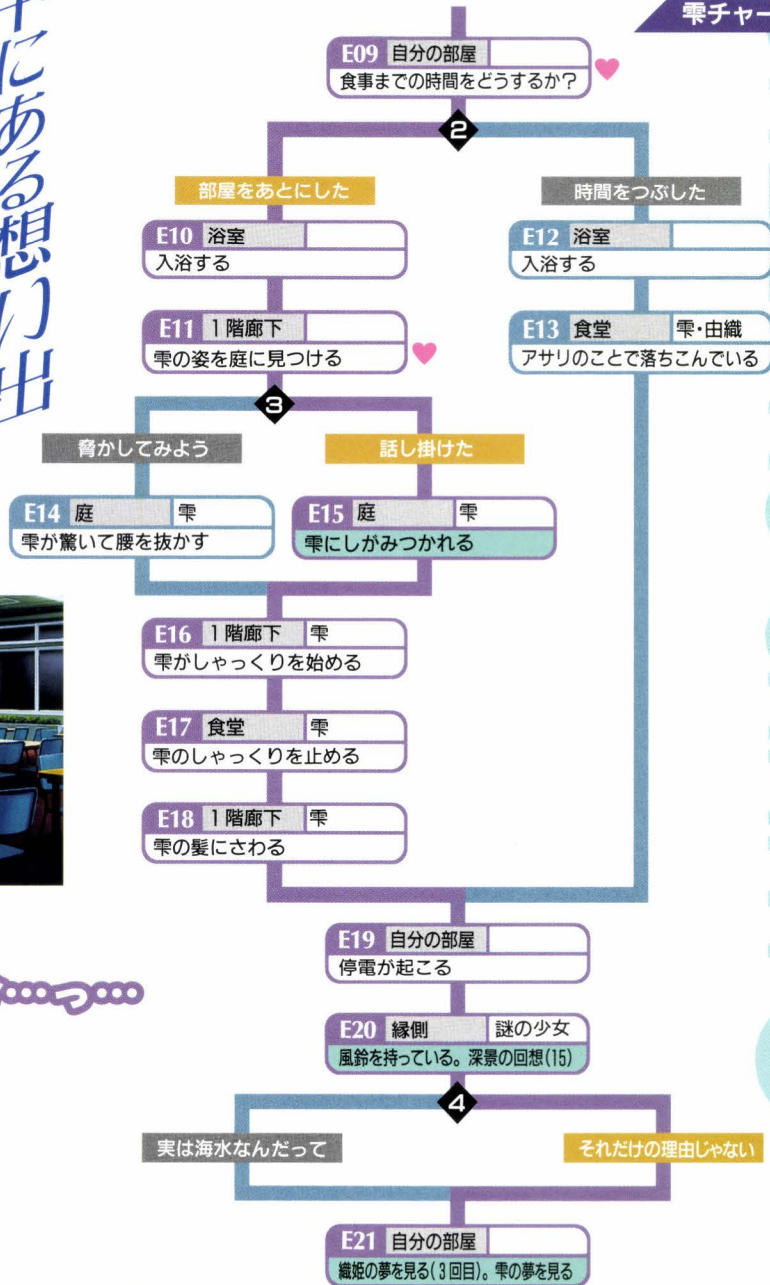
▲月の映る海を見ながら、語りあった日々。彼女が話してくれたことは、今でも全部覚えている…

## Route Check

ルートによって、獲得できる好感度が異なる。まず分岐②では、「時間をつぶした」ならば、食堂でアサリで落ちこんでいる雫を見て6点。反対に「部屋をあとにした」だと、庭に雫の姿を見つけることになる。この分岐③で「脅かしてみよう」を選ぶと4点。「話し掛けた」だと、雫が抱きついてくる場面を見られる上に8点が獲得できる。分岐④では「それだけの理由じゃない」を選ぶこと。

## 雫チャート❷

SHIZUKU CHART 2

- E09 自分の部屋　食事までの時間をどうするか？ ♥
- ❷
  - 部屋をあとにした
    - E10 浴室　入浴する
    - E11 1階廊下　雫の姿を庭に見つける ♥
    - ❸
      - 脅かしてみよう
        - E14 庭 雫　雫が驚いて腰を抜かす
      - 話し掛けた
        - E15 庭 雫　雫にしがみつかれる
    - E16 1階廊下 雫　雫がしゃっくりを始める
    - E17 食堂 雫　雫のしゃっくりを止める
    - E18 1階廊下 雫　雫の髪にさわる
  - 時間をつぶした
    - E12 浴室　入浴する
    - E13 食堂 雫・由織　アサリのことで落ちこんでいる
- E19 自分の部屋　停電が起こる
- E20 縁側 謎の少女　風鈴を持っている。深景の回想(15)
- ❹
  - 実は海水なんだって
  - それだけの理由じゃない
- E21 自分の部屋　織姫の夢を見る(3回目)。雫の夢を見る

雫チャート❸へ

## 8月6日　庭

# 海色の瞳に映る孤独の影

チェアでまどろむ雫に会う。なめらかな頬に一筋の涙の跡があるのを認めて、主人公の胸は強く痛んだ…。

治美から聞くには、少し前の行事の最中、クラスメイトの男子に罵られたらしい。傷ついた彼女は、孤独の殻で全身を覆っている。

ふと、雫が目を開けた。深海の色をした瞳が主人公を見つめ返す。彼女のすべてが瞳の中に映っている…。

そして、悲しみに押しつぶされ、すべてをあきらめようとする彼女に、主人公は強引にひとつの約束をする。

**海の詩…聞こえないの…**

### ▶Route Check▶

分岐⑤は、P.91分岐②で「時間をつぶした」を選んでアサリで落ちこんでいる雫（シーンE13）を見ていれば、シーンE22で由織と雫に会うようになる。

分岐⑥では「寮の表へと出た」を選択すること。分岐⑦では、もちろん「言い咎めた」を選ぶ。ただし、先ほどの分岐⑥で「寮の中をくまなく探す」を選んでいると、自動的に右ルートに進んでしまう。また、P.91分岐④で「実は海水なんだって」を選んでいる場合も右ルートに突入して、バッドエンドに。

### 雫チャート③

SHIZUKU CHART 3

⑤

E22　食堂　雫・由織
アサリのことで雫が落ちこんでいる

E23　縁側　謎の少女
海の国の話を聞く

E24　1階廊下　管理人
カモメに餌をやりに行く

E25　寮の裏　雫・管理人
雫がカモメに指をかまれる

E26　玄関　治美
オリエンテーリングの話を聞く

⑥
寮の中をくまなく探す
寮の表へと出た

E27　岬
雫はいない

E28　庭　雫
雫が寝ている

⑦
言い咎めた
何も言えない → BAD END

E29　庭　雫
夜中に砂浜に来るようにと誘う

雫チャート④へ

## 8月5日　東の海岸

# 月夜の浜辺で、奇跡が起こる

夏の月が浜辺を明るく照らす。主人公は雫が来るのを静かに待っていた。やがて背後に聞こえる軽い足音。彼女は「約束」を守ってくれたが、その表情は依然沈んだままだった。

そのまま時間だけが過ぎる。そして、彼があきらめかけた瞬間、雫が叫んだ。砂浜の中から、無数の小さな影がはい出てくる…。奇跡は起こった。

放心したように、ウミガメの赤ちゃんを見守る雫。そんな彼女に、今は亡き女性の言葉を教える。遺された者たちが「約束」を果たすべきだということを…。

**伝えて…兄さんに…。明日はちゃんと聴くから…**

### 雫チャート④

SHIZUKU CHART 4

E30　玄関　ちなつ
肝試しに誘われる

E31　寮の前
雫との約束の時間を気にする

⑧
このまま砂浜へ向かう
探した方がよい

E32　東の海岸　雫
待っているうちに雫が来る

E33　縁側　雫
雫を見つけて連れていく

E34　東の海岸　雫
海ガメのふ化を見せる

E35　松原　雫
消灯時間を過ぎてしまう

E36　自分の部屋
深景の回想(16)

雫チャート⑤へ

▼暗く冷たい海に還っていく小さな命。それは「約束」だから……

### ▶Route Check▶

分岐は1ヵ所だけだが、エンディングに関係するので要注意。ここは雫を信じて、「このまま砂浜へ向かう」を選ぼう。「探した方がよい」だと、P.93分岐⑨で自動的に右ルートに進み、バッドエンドを迎えることに。彼女の自発的な行動に任せるべきなのだ。

このチャートのポイントは深景との別れのシーン。今までとは違ったパターンが見られることに注目。

## 8月7日　東の海岸

# 果たされた、遠い日の約束

海辺で過ごす最後の日。岬で「海の詩」を聴く雫の顔には、今まで見られなかったやさしい笑顔が浮かんでいた。兄さんとした彼女の約束は、今ようやく、果たされたのだ……。

そして、主人公は彼女を誘って海辺に降りた。そっと海水に足をつける雫……。とまどう彼女の手を引いて水中を歩く。すると、突然雫が転んだ。呆然とする雫と主人公。だが彼女の表情が、ふいに緩んだ。笑っていたのだ。屈託のない、心から楽しそうな表情で……。

その明るい笑顔に、また深景が重なる。まぶたに浮かぶ面影、耳の奥で響く軽やかな笑い声…。あの夏、「約束」したままもどってこなかった人。この海辺に自分ひとり遺して逝った人……。

主人公の夢想を、小さな呼びかけがさえぎる。深景と同じ色の瞳が彼を見つめ、そしてささやいた。「会いに来てくれてありがとう」。探していた深景が、そこにいた…。

◀彼女が生まれて初めて触った「海」。冷たくて温かくて、やさしい海は涙と同じ味がした……

### 雫チャート⑤

SHIZUKU CHART 5

| | | |
|---|---|---|
| E37 | 岬 | 雫 |
| 雫が海の詩を聴いている | | |
| E38 | 東の海岸 | 雫 |
| 一緒に海で遊ぶ。深景の回想(17) | | |

⑨ → BAD END

| | | |
|---|---|---|
| E39 | 岩陰 | 雫 |
| 雫とH | | |
| E40 | 西の海岸 | 雫 |
| みんなと花火をする | | |

雫 ENDING

▲透明な色で満ちた雫の瞳は、真実を映し出す鏡のようで…

ありがとう、会いに来てくれて

### ▶Route Check▶

雫のストーリーがこのチャートで佳境を迎える。分岐⑨では、P.92の分岐⑧で「このまま砂浜へ向かう」を選んでいないと、自動的にバッドエンドへ。

また好感度の判定も、この分岐⑨で行われる。一定値以上を獲得していないと、やはり自動的にバッドエンドに進む。主人公は、深景との約束を果たせないまま、この海岸を去ることになるぞ。好感度の詳細なデータについては、下記コラムを参照のこと。両方をクリアしている場合は、シーンE39に進める。

波と戯れる雫に、深景の面影を重ねていた主人公。そんな彼の頬に、雫の手がそっと触れてくる。しかし、それは雫であって、雫ではなかった……。

雫とのHイベントが終われば、彼女の攻略は無事終了。ハッピーエンドに進める。そして、深景は…。この後、物語は最終章、深景チャートに突入することになる。深景と主人公、そして5人の女のコたち。彼らの真実はどこにあるのだろうか？　もうすぐ、すべての謎、想いの行方が明らかになるのだ……。

## 雫の好感度について

**心のガードが固い雫と仲よくなるには…？　人間以外の生き物にもやさしくすることがポイントなのだ**

選択肢の出現数が少ない割に、ポイント獲得の合格ラインが高いことが雫の特徴。合計28点のうち20点以上を、ゲットする必要がある。ルート選択が、そのまま好感度の差につながることも特徴で、その差は4点と、なかなか大きい。高得点をもらえる上に、「主人公にしがみつく雫」の場面が見られる選択肢が一番効率がよいだろう。

その他にも、「生命を粗末にしないこと」が、彼女の好感度アップにつながる道になるぞ。シーンE07に注意。

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンE02 | 「雫ちゃん、その頭巾似合ってるね」 | +6 |
| | 「雫ちゃん、気合いが入ってるね」 | +4 |
| シーンE07 | 「なら、僕と話しているときはどうだい?」 | +4 |
| | 「でも、僕とは話してくれるようになったね」 | +6 |
| シーンE07 | 雫ちゃんの顔を見ながら、黙っていた | +8 |
| | 手元にあった松ぼっくりを投げた | +6 |

| シーンナンバー | 選択肢 | 好感度数値 |
|---|---|---|
| シーンE09※ | 洗面具を小脇に抱えて、部屋をあとにした | シーンE11へ |
| | 籐椅子を揺らして、しばしの時間をつぶした | +6 |
| シーンE11※ | 雫ちゃんを脅かしてみようと思い立った | +4 |
| | 雫ちゃんの背中に向かって話し掛けた | +8 |

※好感度はシーンE13、14、15のどれを見るかで変化する。それぞれ、シーンE09「時間をつぶした」を選ぶとE13（6点）に、シーンE11「脅かしてみよう」を選ぶとE14（4点）に、「話し掛けた」を選ぶとE15（8点）に進む。

SHIZUKU

寂しさに気づかないふりをしていた自分に、訣別した夏…

# SUMMER MEMORY for 早瀬 雫

D06 無表情に海を見つめる

E37 口元に小さな笑みが…

E15 雫は虫が大嫌いらしい

E21 兄さんの大切な想い出

E28 ふたたび心を閉ざして

E34 奇跡を信じる小さな命

E38 海でおっかなびっくり

E38 明るい笑顔がまぶしい

E39 「海」を宿した瞳……

E39 約束を果たすために…

E39 圧倒的なボリューム

E39 初めての感覚に切なげ

E39 ひとつになる瞬間……

ENDING 雫は花の女子大生に

ENDING 今、過去と訣別する…

早瀬雫の攻略はP.89より

## Refrain Blue Á La Carte Vol.3

リフレインブルー ア・ラ・カルト

### ■かごめかごめ

児童の遊戯の1つ。目隠しをしてしゃがんだ子（鬼）を数人で囲んで、歌を歌いながら回り、歌が終わったときに鬼の真後ろにいる子を当てさせるという遊び。「かごめかごめ」という歌詞が、そのまま名称になったと考えられる。「かごめ」の語源には諸説あるが、「屈め」が転訛したという説や「囲め」が濁音になったという説が有力。「籠目」に通じるという説もある。また憑依や降霊といった古来の民間信仰の儀式に由来するとも言われる。

### ■マリンスノー

海の表層から深海で観察される、雪のように見える堆積物。プランクトンなどの生物の死骸を中心に、魚の排泄物や大陸から運ばれた鉱物の粒子が、緩く結合してできたもの。海中で酸化分解されるときに窒素、リン、炭素などを放出し、水中の栄養価を高くしている。多くは途中で分解するが、深海にまで届くマリンスノーもあり、そこに生息する生き物の重要な栄養源となる。また、その化学組成や量は、海域や季節によって異なる。

参考文献：「大辞泉」松村明・監修（小学館）／「海洋のしくみ」東京大学海洋研究所・編（日本実業出版社）

MIKAGE

# 深景

**過去も現在も未来も超えて出会う永遠の人。2人を結ぶ運命の糸が断ち切られたとき、真実が見えてくる……。**

## プロローグ　新しい朝を迎えるために

いくつもの運命の環をめぐり、たくさんの出会いと別れをくり返した、その旅路の果てに、ふたたび織姫と顔を合わせた主人公……。

変わることのない機織りの単調な音が響く世界で、織姫は主人公に「糸を解く」と言って別れを告げた。理由を尋ねる彼に、彼女は静かに語る……。いくつものめぐる運命の中、彼は出会うべき人と出会い、運命の「糸」は、2度とほどけないくらい固く結びついた。

だから「仮止めの糸」はもういらないのだと……。そして、自分ともう2度と会うことはないだろうと、寂しげな声で言葉をつなぐ。

どこかで聞いたはずのその声が、誰なのか思い出せないまま、主人公は織姫に同意した。このときは、それが最善と思ったから……。

夢は去り、やがて新たな朝がやってきた。新しい運命の環が、今、回り始める。

さあ…、本当の人生に目覚めなさい

**深景チャート**

- プロローグ
  - もったいないな… → 各女のコたちのチャートへ
  - そのまま続けてくれ… → 8月3日

### ▶Route Check▶

物語の最終章になる「深景チャート」。5人の女のコ全員の攻略が終わると、物語冒頭の織姫のシーンで選択肢が出現するようになる。ここで「そのまま続けてくれ」を選べば深景チャートに突入することに。「もったいないな」を選ぶと、再度各女のコたちのルートにもどることができる。女のコの確定方法については、それぞれのチャートを参照のこと。

この選択肢以降の深景チャートは、ほぼ1本道。どの選択肢を選んでも、エンディングに到達できる。すべての謎が明かされるストーリーを堪能しよう。

## 8月3日　歯車が、また動き出す

7年ぶりに「蜻蛉海岸」で過ごす最初の朝。夢も見ないほど熟睡し、さわやかな目覚めを迎えた主人公は、朝の散歩を楽しんでいた。

その途中の林で彼は、花を見つめる少女と出会う。繊細なガラス細工のような雰囲気を持つ、その女のコは「しずく」と名乗った…。

朝食後、ひとり浜辺を歩く主人公。その目前に突然幼い少女が現れた。彼女はひどく悲しそうな顔で謎めいた言葉を残す。見知らぬ少女なのに、なぜか彼の胸はひどく痛んだ…。

やがて、たどりついた静かな岬の突端。変わらないその場所に、微かな郷愁を覚える。

そう、7年前の夏も、彼はこの岬に「ひとりで」座って、海を眺めていたのだ……。

彼はわずかの間まどろんでいたらしい。目を開けると、そこには静かに雫が座っていた。

午後になり、サマースクールの参加者で、行きの車中から顔見知りのちなつに誘われて、再度海岸を訪ねる。先輩の治美を加えた3人で談笑する楽しい時間…。

そして、日も沈んだ頃、彼はまたあの謎の少女と出会う。静かに「織姫と彦星」の伝説を語る少女。その彼女の雰囲気に覚えがあるのに、思い出せない主人公…。

▲かつて主人公は、この岬で海を眺めていた。「ひとりきり」で隣りには誰もいなかった…

どうして来たの？　もう来なくてもよかったのに

## 8月4日 もつれた運命の糸

3日目の午前中、寮の手伝いをする由織と語らう主人公。その独特のスローな話し方が、彼女のおっとりした人柄を物語っていた……。

午後に参加したビーチバレー大会。彼とペアになった女のコは、昨日夕食を届けてくれた少女だった。彼女は「森沢奈緒」と自己紹介する。主人公と奈緒のコンビは善戦し、みごと決勝戦まで勝ち進んでいったのだ。

ビーチバレーを終え、風呂に入ろうとしたところで、由織と小さな少年に出会った。金髪碧眼の彼は、管理人さんの息子らしい。なぜか主人公を敵意をこめて見上げる彼…。

日も暮れて、部屋にもどろうとした彼は、脱衣所から出てきた関西弁の少女と出くわす。奇妙なひとり言を疑問に思って話しかけると、彼女は激しく驚く。どうやら後ろ暗いことがあるらしい。厳しく問いつめる主人公は、彼女としばらくもめた末に、なぜか、ちなつの裸をのぞく羽目に……。

さらに偶然会った奈緒と話し、今度こそ部屋に帰ろうとすると、またもや縁側に昨日の少女の姿を見つける。彼女は楽しそうに笑い、主人公を傍らに導くと、彼に問いかけてきた。

「よしひろくんは、うんめいって信じる?」

そして、昨晩の話の続きをゆっくりと語りだす……。彼女にとって、この物語がとても大切な宝物であるような慈しみをこめて……。

うんめいって信じる?

織姫と彦星の出会いも、うんめいだったのかなあ

◀おたがいに固まる主人公とちなつ。2人とも「蛇ににらまれたカエル」状態……

### ▶Route Check▶

ビーチバレーでいくつかの選択肢が出現するが、深景チャートを進めるには、すべてどちらを選んでも問題ない。つぐみの下着盗みイベントでは「話に乗るフリ」「頑固さに折れる」を選ぶと、脱衣所でちなつに会える。

## 8月5日 目覚めていく想い

くすくす…いーけないんだ女の子のはだかを見るなんて

8月5日、今日も早朝の散歩に出た主人公は、今度は浜辺に向かった。朝のおだやかな海を眺める彼の耳に、どこからか聞こえる少女の笑い声。そちらをうかがうと、あの少女が一糸まとわぬ姿で、波と戯れていた……。

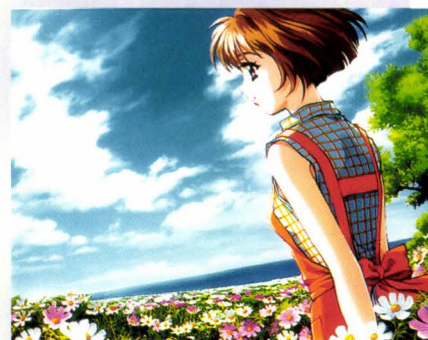
少女は、彼の眼の前で何度も、水をすくい上げては身体にかけるという仕草をくり返す。不思議な清らかさに包まれた光景に見とれる主人公……。やがて彼の存在に気づいた女のコは、ひとつ微笑みを残して姿を消した。

そしてその日、生徒たちと参加したハイキング。ちなつや奈緒と話しながら山道を歩いていると、道端にあの関西弁の少女が座りこんでいた。捻挫しているらしい彼女を背負って下山する主人公。道すがら、ようやく「津賀島つぐみ」という彼女の名前を知るのだった……。

午後、主人公は例の少女に誘われて、由織とともに一面のコスモス畑を訪れていた。可憐な花弁が潮風に揺れる様を、夢見心地で見守る2人……。そして少女は、そんな主人公たちをうれしそうに眺めていた。

やがて夜。主人公の部屋に微かな風鈴の音が届いた。まるで彼を呼んでいるように……。ある予感を持って音をたどると、風鈴を揺らしながら、予想どおり少女が彼を待っていた。

深い海の色にも似た風鈴をもてあそびながら、少女はふたたび話の続きを語りだす。織姫と彦星が織りなす「運命」の物語を……。

▶白やピンクの、可憐な少女めいた花々が、夏の強い日差しの下で輝く。ここは別世界

### ▶Route Check▶

朝の散歩では「松原に向かう」を選択。すると、謎の少女が水浴びしているシーンが見られる。ただし、このイベントは見なくても攻略に支障はない。

## 8月6日 彼岸の先にあるもの

8月6日がやってきた。その日、主人公は海岸で寄せては返す波を見つめていた。傍らには誰もいない。ただ波の音だけが響いている。海と空と自分、ただそれだけが存在する空間は、自然と彼に7年前を思い起こさせた。

あのときも、自分はここに座ってひとり海を見ていた。すべてを捧げていた陸上を、脚のケガで断念せざるを得なくなった自分。もう2度と走れなくなった自分。何もかもが嫌になり、家を飛び出した。そしてこの海にたどりついたのだ。この誰もいない海に……!?

その瞬間、頭の中を何かが走り抜けた。同時にあふれてくるイメージ……足音、声、香り、姿。それはやがて明確な像を結んだ……。

◀あふれ出した記憶が、奔流となって押し寄せてくる。この女性は……

### そして…僕は「彼岸」を突き抜けた──

彼は「深景」を取りもどした。2度と失わないよう、想い出を必死に抱きしめる。そのとき、後ろからひどく静かな声がかけられた。いつのまにか、あの少女が立っていたのだ。少女の、怖いまでに美しく透明な瞳が、またたきもせずに、主人公を見つめてくる……。

気づいたときには、目の前に織姫がいた。彼女は、深景への想いを取りもどした彼を痛ましげに見つめて告げる。深い悲しみに満ちた声で、彼にとって一番恐ろしいことを……。

しかし、深景を失う恐怖から織姫を激しく拒絶する主人公。突然世界が反転し、彼は放り出された。深く長い暗闇に…。そして……。

**私は、海で…待ってるから**

すべてを思い出し、織姫の元に帰った彼は、彼女の言うとおりにしようと決心する。もう、悲しい想いはしたくなかったのだ。

固い口調で話す主人公を、わずかに寂しげな顔で見つめた織姫は、そっと「糸」を断ち切る……。またも暗闇に落ちた彼は、どこかでつぶやく声を聞いた気がした……。

▶望んでいたのはささやかな幸せ。彼女と過ごす穏やかな日々。それだけだった

## 8月7日 いつか還る海

海辺で過ごす最後の日が始まった。主人公は、別れを惜しんであたりを散策していた。

いつか少女と訪れたコスモス畑では、由織が花の世話をしていた。あの少女の話をすると、彼女の口からは意外な言葉が漏れる……。

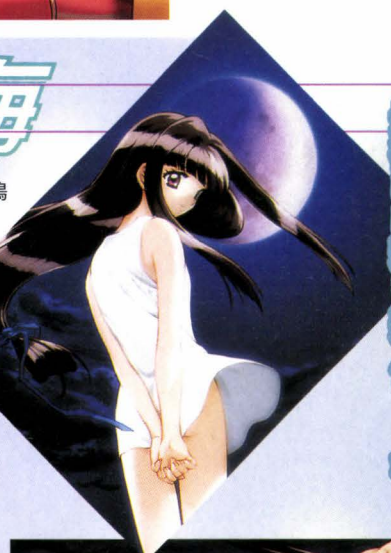
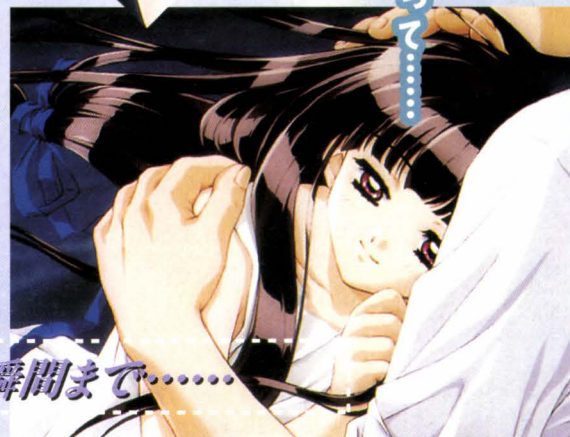
疑問を感じながら花畑から帰る途中、今度は岩陰で奈緒に出会う。彼女は迷いのない眼差しで「受け取った想い」について語る。

そして午後、旅館跡地で人影を見かけた。あの少女かと、影を呼び止めた彼の前に現れたのは、つぐみ。わずかに落胆する主人公に、つぐみは不思議な慰めの言葉を口にする……。

何かがズレているような違和感を抱えたまま、最後の夜がやってきた。微かに聞こえる風鈴の音に、顔がほころぶ。少女はきちんと存在しているのだ……。しかし、いつもの場所に出向いた彼を迎えたのは、雫だった。

彼女は何も言わず、ただ風鈴を鳴らす。彼の心の奥にある何かを呼び覚ますように…。やがて雫は、1枚の小さな絵をそっと彼に差し出した。

その「絵」を見た瞬間、彼はすべての真実を悟った…。

同時に、昨日の「さよなら」が、彼を絶望に陥れる。もう間に合わないのだろうか……?

**心のどこかで信じてた──。最後には私を選んでくれるって……**

*最後までこうしていよう*
*ふたりでこうしていられる、最後の瞬間まで……*

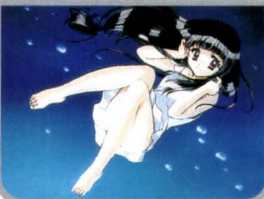
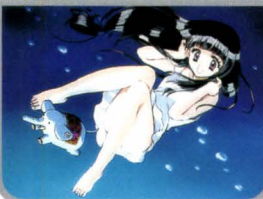
MIKAGE

心に刻みこまれた想い出は、色あせることなく――

# ETERNAL MEMORY for 深景

夢の中の、遠い面影…

D35 無邪気に波と遊ぶ少女

C72 「海の国」は一面の青

お月様が微笑んでる…

今こそが、永遠の一瞬

誰よりも大切な面影…

A07 凛とした瞳に映るのは

B63 真剣な表情で筆を握る

A50 初めて恋人になった日

B52 遙か遠くを見つめて…

A61 無防備な彼女の横顔

A61 一番幸せだった時間…

A71 2人で童心にもどって

A80 告げられた悲しい事実

A80 深景の涙が胸を濡らす

E06 きらめく夏の日の一瞬

E36 笑顔で再会を誓い合う

望んだのは小さな幸せ

2人の愛を確かめよう…

愛しているからこそ…

一緒に感じてほしいの

あふれる想い出の数々

そして、永遠の別れ…

『運命さえも超えて結ばれた絆、いつまでも忘れない……』

深景の攻略はP.95より

※シーンナンバーは、そのCGが初出した番号になっています。

# Refrain:Three

［スペシャル編］

シナリオ、茂原雅人。キャラクターデザイン・原画、門井亜矢。2人の「想い」とキーワードで『リフレインブルー』を読み解く。

夏の日が暮れていく。
ラベンダー色に染まりゆく空。
夕暮れの作り出す残照は、
いつまでも優しく優しく、
僕たちを温かな光で包み込んでいた…。

Refrain Blue

# PRODUCTION FILE *

SCENARIO WRITER
#Masato Shigehara

シナリオライターによって語られる「秘密」と「真実」!

## 茂原雅人 [しげはら　まさと]

**PROFILE**

■富山県富山市出身。2歳で石川県に引っ越す。
■1月23日生まれ。
同じ日生まれの有名人にジャイアント馬場、千葉真一、ハンフリー・ボガート。
■自己分析すると……典型的分裂症!?

**FAVORITE**

NOVEL＊星新一、筒井康隆、新井素子などを愛読。
読みやすいショートストーリーが好き。
CINEMA＊『ニューシネマ・パラダイス』。
GAME＊RPG（『ファイナル・ファンタジー』シリーズなど）。
最近は忙しくて遊べないのが悩みの種です。
COLOR＊黒。冬の日没間近、西空のグラデーション。
FLOWER＊ゲーム中にも出てくる『露草』と『コスモス』。
子どもの頃に自宅の庭で栽培していたせいか、とくにコスモスに対しては思い入れがあります。
PERSON＊ショートショートの神様・星新一氏。
自分にないものを持っている人は、誰でも尊敬に値すると思っています。

# Making of "Refrain Blue"

**今まで見てきたいろいろな作品（小説、映画など）に影響を受けているので、特定の誰かの影響というのはありませんが、『リフレインブルー』に限っていえば、新井素子氏の『グリーン・レクイエム』や、北野武監督の映画『あの夏、いちばん静かな海。』などにインスパイアされました。**

## 蜻蛉海岸を訪ねて……。

地理上のモデルは、和歌山県の白浜海岸周辺。基本的に関西地方の太平洋側です。なぜ関西地方なのかといえば、深景の出身地に関係があります。

また海そのものについては、千葉県の九十九里海岸へ取材に行きました。

## その男、松永善博。

主人公は、ドラマ『高校教師』の羽村先生がモデルです。

そして『松永善博』という名前の由来は、競馬ファンの方なら分かるのではないでしょうか。

## 星と海をめぐる伝説。

『七夕伝説』は、従来の七夕伝説に「羽衣伝説」「鶴の恩返し」「浦島太郎」をミックスさせました。作品の軸となる話ですが、私自身なかなかうまくいったと思っています。

『海の国』は「浦島太郎」の竜宮城を多少意識していますが、基本的にオリジナルです。『つきとにんぎょひめ』は、とくに元となったものはありません。

### MEMO

「グリーン・レクイエム」●コミックやラジオドラマにまで展開された、新井素子原作の異色SF。続編もあり。

「あの夏、いちばん静かな海。」●北野武の第3回監督作品。ブルーリボン作品賞・監督賞を受賞した叙情的フィルム。真木蔵人主演。

白浜●和歌山県南西部の地名。温泉が多く、風光明媚な観光地としてにぎわう。

九十九里●千葉県の東部に広がる砂浜。その長さが、約60kmにもおよぶことからついた地名。

「高校教師」●'93年1月〜、TBS系で放映されたドラマ。

「松永善博」●松永昌博騎手と義父の松永善晴調教師に由来。

七夕伝説、羽衣伝説●中国からアジア全域に広く伝わる、天上の星々にまつわる説話。P.103に関連記事あり。

鶴の恩返し●戯曲「夕鶴」の素材となった日本の民話。

浦島太郎●「浦島伝説」の主人公である漁師の名。

# FILE#1 Characters

**女の子キャラクターに関しては、とくにモデルはいません。**
**ちなみにヒロインの名字には、すべて『水』に関係のある字がついています。**

## 津賀島つぐみ。今明かされる、出生の秘密と彼女の想い……

関西弁に苦しめられた『つぐみ』。外見もイメージするのが難しかったです。そのせいで他の子に比べてシナリオが短くなってしまったのが、ちょっぴり心残りです。

つぐみの出身地は、京都府の南部あたりです。母親は風俗嬢で男に貢いでいましたが、つぐみが産まれたことが原因で捨てられたため、彼女に辛く当たっていました。娘への愛情もまったく持っていなかったようです。そしてバス停に置き去りにされたところを保護されたつぐみは、津賀島家に養子として引き取られました。またつぐみが募金しているのも、孤児関連の団体に対してです。それはつぐみ自身と違い、いまだに引き取り手の見つからない孤児たちを思ってのことです。

## 川奈由織。設定とストーリーの気になる関係は…？

おっとりしているキャラも好みなので、『由織』もけっこう気に入っています。

由織の設定に関しては、あえて多くを語らずに伏せておきました。それは他のキャラのストーリーがみんな「設定がそのまま話に結びついていた」ので、たまには違うパターンで行こうと考えたためなのですが、少し説明不足だったかもしれません。ただ、よく読んでいただければ、彼女が川奈家に束縛されることを嫌って家を飛び出したことや、外の世界へ連れ出してくれる人を待ち望んでいたことなども、分かると思います。

## 早瀬雫。彼女なくして『リフレインブルー』は生まれなかった!?

お気に入りのキャラクターは全員です…と言いたいところですが、やはりひいきのキャラクターはいます。『深景』は別格の存在としても、個人的にいちばんのお気に入りは『雫』です。その理由は「大人しい子が好み」ということと、キャラ的に得意で書きやすかったため。作品の基本イメージとなったキャラということもあり、雫にはかなり思い入れがあります。

彼女が髪の毛を伸ばしている理由は、キャラクターデザインの関係上です(笑)。とくに深い意味はなくて、雫本人もよく分かっていないのでしょう。

# FILE#2 Stories

**深景は主人公の悲しみを失くすために、運命の糸を織りなす者となったのです。深景の『想い』が残る蜻蛉海岸だからこそ、彼女は主人公の夢に干渉できたのです。**

## 奈緒が受け取った手紙

遅れてきた「先輩からの手紙」には、彼の夢が叶ったあとのことについて、書かれていました。それを奈緒に直接伝えなかったのは、あえて自分の心に留めておくことで、より決意を固める意味もあったのでしょう。

## 深景との別れ。その真相

彼女との別れに３種類のパターンがあるのは、主人公の歩む運命が、少しずつ変化していっているのです。それがすなわち、織姫の言うところの『運命の縦糸』です。置き手紙で別れるのも、再会を誓って別れるのも、死を看取るのも……すべてが真実であり、主人公のたどる運命のひとつです。そして、その縦糸に見合った横糸（＝女の子）が、織姫によって結びつけられているのです。

## 砂に埋めた由織の玉手箱

まだ砂浜に埋まったままです。由織が主人公と結ばれた以上、おそらく永遠に掘り出されることはないでしょう。過去は過去として砂の下に埋めて、彼らはこれからの人生をともに歩んでいくのです。

## 魔法の10円玉の行方は……

人は、いろいろな『運命』を歩む可能性を持っています。深景編で主人公が体験する新婚生活も、そんな可能性のひとつです（ただそれは、実際にはたどり着けるはずのない偽りの運命なのですが)。そして謎の少女がちなつに語った『海の向こう(『彼岸』と同義)』というのも、この『今とは違う別の運命』のことを指しています。だからちなつが電話を掛けたとき、運命を超えて主人公の家につながったのです。

SPECIAL CUT

ベストを挙げれば『雫の子ども時代のシーン』。雫そのものへの思い入れに加えて、もっとも思いどおりに書けたシーンだからです。また、ラストシーンもわりと評判がいいようなので、まあよかったかなと思っています。音楽・映像効果などの演出を見ても、あのシーンがもっとも凝っていますからね。

# 「深景」という存在。

『永遠の存在』でしょう。

運命の糸が「深景自身」の手で断ち切られてしまったため、この先どんな運命を巡ろうとも、主人公が深景と出会うことはありません。

たった一度きりの再会……それが七夕の奇跡の代償でした。その代わり、主人公の心の中にある『想い出の海』という還るべき場所を見つけた彼女は、運命さえも超えた『永遠の想い』となることが出来たのです。

## After "Refrain Blue"

まずは『リフレインブルー』をプレイしてくださった皆さんに、心から御礼申し上げます。
今回私は初めて『もの創り』というものに携わったのですが、
その道のりは思いのほか長く、葛藤と試行錯誤と徹夜（泣）の連続でした。
「本当に自分に出来るのか？」と、プレッシャーにつぶされそうになったこともあります。
そんな難産（だと自分では思っている）の末に生まれた『リフレインブルー』ですが、
私がゲーム作りを通じて伝えたいと思っている『メッセージ』は伝わったでしょうか？
もしほんの少しでも、皆さんの心に残るものがありましたら幸いです。
これからは「あいつのゲームだから買ってやるか」と皆さんに言っていただけるように、
ボチボチがんばっていく所存ですので、ぜひとも応援してやってください。

そして願わくば……。
あなただけの『深景』が、ずっとあなたの想い出とともにありますように——。

# Encyclopedia of Refrain Blue

エンサイクロペディア

星

月

花

Legends, Folklore and other Knowledge

蜻蛉海岸にやさしく寄せる波の音にのって、静かに語られる伝説や童話。海辺で揺れる花々にたくされた想い…。
天体にまつわる伝説や民俗、そして花言葉まで。ためになる『リフレインブルー』知識編。

「それは、ほしが降る夜にはじまったおはなし…」

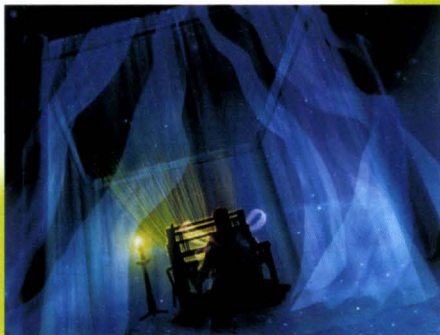
## 【七夕伝説】【たなばたでんせつ】

天帝の娘、織姫（織女：こと座のヴェガ）と彦星（牽牛：わし座のアルタイル）の恋物語。機織りを仕事とする織姫と、天の牛飼いだった彦星。互いに惹かれあうあまり仕事を忘れ、身分違いの恋に落ちたふたりは、天帝の怒りにふれ、天の川の両岸に離ればなれにされてしまう……。そして１年にたった１度だけ逢うことを許されたのが、７月７日、七日月の夜。雨が降ると天の川の水があふれ、月の渡し船は漕ぎ出すことができないが、代わって白鳥座がその大きな翼を川に架けてくれる。こうして星々に祝福され、恋人たちの想いは天空を翔ける…。

この説話は「天女の羽衣」伝説ともミックスされながら中国から朝鮮半島、東南アジア、そして日本へと伝わっている。アジアに分布する羽衣伝説の多くが、天から降りてくる天女は「星」であるとしているのに対し、ヨーロッパの羽衣伝説には、星は登場しないのが特徴である。

棚機女（たなばたつめ）とも呼ばれる織姫であるが、日本独自の民話では「澄んだ泉の底で機を織る乙女」の物語というものも存在する。また浦島伝説でも、乙姫が竜宮城で機を織っているという説があり、この「水中の織姫」は「水」でケガレを清める、農村の行事と重なっているようだ。本来、日本の民間行事としての「七夕」は、天の恵み……雨のほうがよいのである。

運命を織りなす者として『リフレインブルー』で主人公の夢の中に現れる織姫。彼女の紡いだ「絆」は、いったいどんな布に仕上がったのだろうか。

## 【七夕まつり】【たなばたまつり】

五節句のひとつで、陰暦７月７日の行事。この夜、天の恋人たちに供え物をして、女性は機織りや裁縫などの上達を祈れば叶えられるという中国の宮廷行事「乞巧奠（きっこうでん）」の伝来により、奈良時代の昔から貴族社会では星祭りを行った。

一方、日本の農村では、豊作祈願やお盆の準備のため水浴するなどの「みそぎ」と前者が合体した習俗が多く見られ、地方によってその祭り方はさまざまである。後者の場合、織姫と彦星の逢瀬を祝う意味とは違い「七夕様」が田畑や漁場に降臨する、というとらえ方のようだ。

また、笹飾りが広まったのは江戸時代といわれている。五色の短冊はたくさん吊るすほどよいとされ、吹き流しは織姫の使う織り糸に見立てられている。この笹飾りの儀式は、中国や東南アジアの七夕には見られないものである。

星

Stellar Myth & Legends

# 月 MOON MONTH LUNA

「日が沈むと海は真っ暗になってしまいます。暗くて寂しいので、人魚はお月様とお話をします…」

## 【月の名前】【つきのなまえ】

薄雲にさえぎられ、ほのかに照らす秋の薄月。春の夜に柔らかく霞む朧月、淡月。冬の空に冴える寒月。氷輪は氷のように冷たく輝く月。水をたたえた淵に映る潭月（たんげつ）。夜明けの空に残る有明の月。清く澄んだ名月は明月。海面に浮かぶ月影は海月。三日月は月の剣。冴えて白い月の光は月の霜。夜空を渡る月の舟……。

季節、形、見る場所ごとに、日本人は古より「月」を愛で、その光に、空に、夜に、美しい名前をつけていた。『リフレインブルー』でも、月にまつわるエピソードは多い。深景が「お月様が笑ってるわ」と見上げたのは三日月。そして、主人公に語った童話は『つきとにんぎょひめ』。水中を照らす月の光。それに導かれるように泳ぐ人魚。誰の想像の中にも幻想的な光景が広がったはず。一方、雫は海に眠る兄との約束を「月の舟」にたくしている。彼女の想いをのせた舟は、はるかな星の海へと漕ぎ出していった……。また、朝の林の中で露草の葉に光る「しずく」を見つめていた彼女。草の上に玉を置いたような、はかなげな水滴…露の異名を「月の雫」という。

## 【お月見】【おつきみ】

春夏秋冬で月の趣はそれぞれ違うが、お月見をするのにもっともよい季節とされているのは、月の光が一段とはっきり冴えてくる秋の夜。

陰暦では7、8、9月が秋にあたり、真ん中の8月15日の十五夜の月を「仲秋の名月」と呼び、江戸の昔から、人々の楽しみとして花見とともに親しまれていた。次いで美しいとされるのは、陰暦9月13日の十三夜の月で「後の月」という。

日本の多くの地方では、この仲秋の名月と後の月の2回、月見だんごをお供えするなどして、観月を楽しんでいる。収穫祭り、または豊穣祈願といった性格も持っていたようだ。西日本には、綱引きや相撲をして、夜通し遊ぶ行事として現在まで残っている地方もある。また中国では、月に供えられるのはだんごではなく、月餅である。

## 【暦】【こよみ】

地球の周りを公転している月。太陽光を受けて輝くこの天体は、太陽と地球に対する位置により地上から見える形が変化し、新月（朔）・上弦・満月（望）・下弦と、満ち欠けをくり返していく。29.5日周期の「朔望月」と呼ばれる、この現象を基準にして作った暦を「太陰暦」という。

満ち欠けする月、またその夜にも日本人は風流な名前をつけて楽しんでいる。陰暦16日の夜は十六夜（いざよい）、陰暦17日の月は立待月（たちまちづき）、18日は居待月（いまちづき）、19日は寝待月（ねまちづき）、20日は更待月（ふけまちづき）、そして願いがかなうという、23日の月が上るのを夜半まで待つことを「二十三夜待ち」と呼ぶ。「笑ってる」ように見える三日月は、陰暦で毎月3日の夜に上る細い弓形の月のことである。

## 【月の言葉】【つきのことば】

夜が暗かった時代。人々にとって、よい意味でも悪い意味でも、月の存在は大きかった。それだけに、月に関することわざや慣用句、そして俗信や迷信の類も数多く語り継がれている。

りっぱなものと比較されて、引き立たない様を「月の前の灯火」。月や花といった美しいもの、よいことには、何かしら差し障りが多いことを「月に叢雲（むらくも）花に風」。「月夜に釜を抜かれる」とは、明るい月夜なのに釜を盗まれてしまう、つまり、ひどく油断することのたとえ。

「エンドウやソラマメは闇夜に種をまけ」「球根は闇夜に、穀物は月夜にまけ」など、農耕のための天気に関する俗信から、「三日月に豆腐を上げて拝むと病気にならない」や「十三夜様を拝むと成功する」といった月の形の変化にともなう言い伝えまで、月は人々の暮らしに関わっている。

また月の満ち欠けは潮の干満に影響をおよぼすことから、昔の漁師や航海士たちは、陰暦によって厄日を知り、海難を警戒していた。「何月何日には船を出してはならない」という類のものは、命をかけて伝承されてきた俗信といえるだろう。

「お月様は空気が澄んでいるほど、白く見えるんですよ」

「あの苗が大きく育って、花を付けるようになる頃…また見に来れば、
きっと想い出せるわ。この私たちの夏の日の想い出を…」

## 【アスター】

学名：Aster L.
英名：Aster
キク科

花びらが放射状に開いていることから、ギリシャ語で「星」を意味する花、アスター。フラワーアレンジメントによく使われており、若い女性の人気を得ている。またエゾギクとはアスターの一年草のことをいう。

「私の愛はあなたよりも深い」という花言葉が主人公と由織の想いを育て、咲かせた…。花びらの色は紅、白、藍、紫、ピンクと種類が多く、一重や八重といった分類も含めて、アスターの仲間は、500種類にもおよぶ。そのため、花言葉は色や品種による解釈もあるが、総じて「多様性」とも言われている。

## 【ゲッカビジン】

学名：Epiphyllum oxpetalum(DC.)Haw.
英名：Dutchman's pipe cactus
サボテン科

"A Queen of the Night" と称され、夏の夜に大輪の白い花を咲かせるクジャクサボテン。

たった一夜、数時間だけその艶やかな姿を闇の中に浮かび上がらせ、ゆっくりと瞬きをするようにしぼんでしまう。その美しさの残像と、芳香だけを人々の胸に残して……。夏の夜の夢をふたたび見ようと、栄養剤や温度調節にあくせくする人々の想いをよそに、気まぐれに開花する月下美人の花言葉は「デリカシー」。『リフレインブルー』では、深景と主人公の想いを受けて、蜻蛉海岸に幻想的な花を咲かせた。

## 【コスモス】

学名：Cosmos Cav.
英名：Cosmos
キク科

可憐な花だけど、どこか頼りなげで、そして寂しい……。

日本人の情緒をこれでもかと、くすぐるように揺れるコスモスの群れは、澄んだ秋空によく映える。実際の性質は強く、種はほぼ全国に飛び、道端でも芽を出す。作品中、深景が「風に倒されても、力強く咲くコスモスの花が好き…」と語るが、そのときの主人公の感想と同様、しなやかでいて芯は強い、深景自身とコスモスの姿はどこか重なる。また、由織のもっとも好きな花のひとつでもある。花言葉は、白い花が「清潔」、ピンクの花は「愛情」。

## 【ツユクサ】

学名：Commelina L.
英名：Day flower
ツユクサ科

朝露の中で出会った長い髪の少女、雫。彼女の足元には露草が青紫色の小さな花を咲かせていた。

夏の朝、道端によく見られる露草は、古くは染料として用いられており『リフレインブルー』でも由織が雫に露草を手でしぼって見せている。また染料とする場合は色が落ちやすいことから、万葉集には移ろいやすい恋心の比喩として「つき草」の名で登場している。

花言葉は「恋の心変わり」。

## 【ハマユウ】

学名：Crinum L.
英名：Crinum
ヒガンバナ科

蜻蛉海岸の碧い海を背に、優雅に白い花びらを揺らす浜木綿。それを見て由織は、花は野に咲くほうがいい、と主人公にもらす。彼女がこの花にたくした想いは何だったのか？

海水に浮いて、どこかへと漂っていく浜木綿の種。花言葉は「どこか遠くへ」。どこからかたどり着き、またどこかへ漂い花を咲かせる不思議な性質を持っている。暖地の海岸線に自生し、清々しい香りを運んでくれる。

## 【ヒガンバナ】

学名：Lycoris radiata(L'Her)Herb.
英名：Red spider lily
ヒガンバナ科

秋の彼岸の頃、線香花火にも似た、炎のような花が道端を彩り、人目を引く。彼岸、それも墓場によく咲く因果からなのか、別名を地獄花、死人花、そして曼珠沙華ともいう。野に群生するその姿は、赤く華やかながら、一抹の寂しさを感じさせる……。

作品中、花火を楽しみながら彼岸花について主人公に話す深景。このとき、彼女は自分の運命をどうとらえていたのだろうか。花言葉は「あきらめ」。

# Flowers 花

参考文献：「大辞泉」松村明・監修（小学館）／「月からのシグナル」根本順吉・著（筑摩書房）／「宙の名前」林完次・写真、文（光琳社出版）／「366日の誕生花物語」植松黎・著（日本法令）
イラスト：Yasuhiro DanJo

# 日々是「門井亜矢」

**波の音とともに想い出すキャラクターたちの笑顔、涙……。万人の心に永遠の夏を生み出した門井亜矢さんの日常。**

hibi-kore(kadoi aya)

"Refrain Blue"……

『エルフから今まで出ていたゲームと、「感じ」を変えて作ったものです（と、門井は思っている）。人間、立ち止まっていてはいけません。
動かないと。変えていかないと。
作る側としてもじたばたしました。
そして、出来上がったストーリーの中で
キャラクターたちもじたばた悩んでいます。
とにかくゲームを最後までプレイして下さい。
動くこと、変わることはまず、そこからスタートします。
—"リフレインブルー" を楽しんでもらえたらうれしいです。—』

## 門井流「極楽時間（オフ）」の過ごし方

### 『1週間以上』あったら

**ぜったいハワイへ行く!**

暖かく、湿気のない気候が
私を呼んでいるー♪
でも、バリもいいかな。
**緑の匂いのするところで**
だらーんと過ごすのが理想的。
うあああ、
こんなこと書いていたら
行きたくなってしまったー。
休めないのにー。

### 『1日』あったら

**昼間はごろごろ寝ていて夕方から遊びにいく。**

あついせいか おなかまる出しで ねる うちのこ。

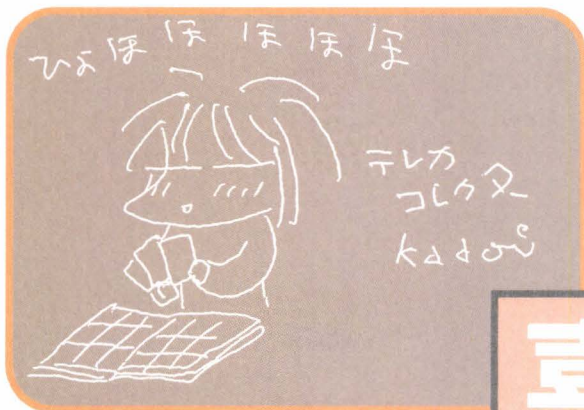
### 『数時間』あったら

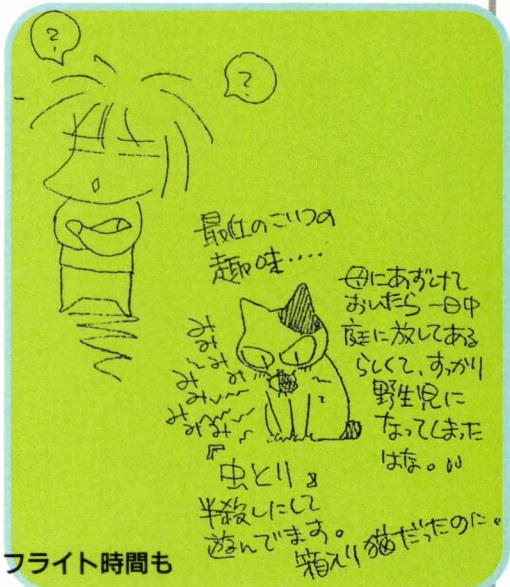
本屋へ行く、か、スーパーで**衝動買い**する。楽しい本と安くて新鮮な野菜や肉に出会うのが一番簡単な私の**極楽**。

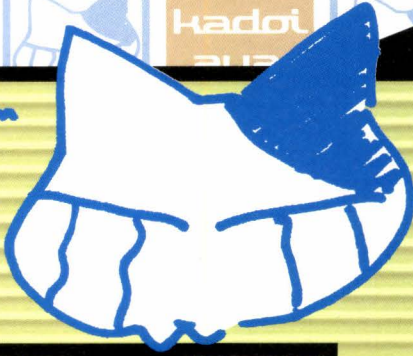
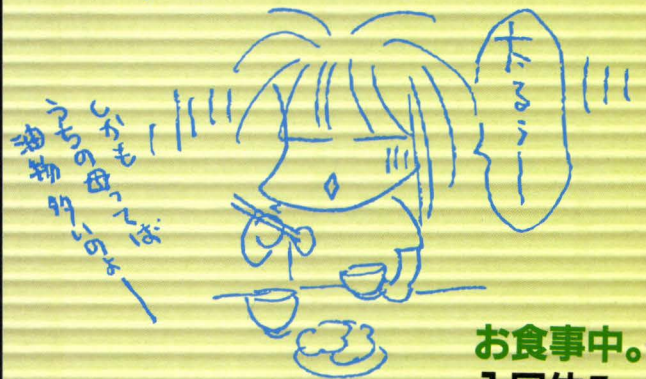
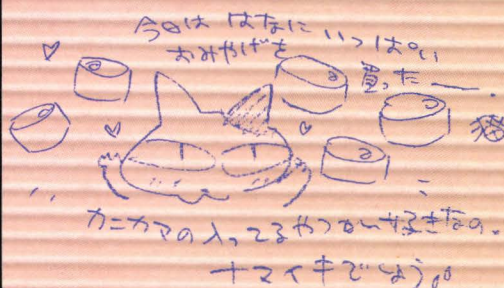
今日のうちの晩ゴハンはゴーヤチャンプルです。
沖縄の料理好きなの

# 喜 KI 怒 DO 哀 AI 楽 RAKU

**出来上がったイラストを誉めてもらった。とーってもうれしかった。**
（この時のために私は絵を描いているのだ。難しいことを考えてなんて描いてないのだッ）

**貧血**おきるくらい走って乗った**中央特快**（中央線の特別快速。特快に限らず、中央線は毎日のように人身事故等で遅れが出る。※編集部注）が止まった。
いーかげん中央線に飛びこむのはやめろッつーの。
密かに**樹海**の奥一っの方に入るとかしてほしいものです。
どうしても死にたい人は。

●タクシーのメーターが、降りる間際に上がった……。
●コカ・コーラ　プレゼンツのglobeのライブが**57口**も申し込んだのにハズレた……。（コーラの本数にして285本だよ、アンタ……）
●机におもいっきり紅茶をこぼしたら、そーゆー時に限って引き出しまで開けてあってえらい目にあった。

**ハワイに行こうと思って**予定をたてた。

ホテルも調べて、フライト時間も調べて、エルフにも
**「私、10日くらいいないからー♥」**
と伝え、それはそれは楽しい時間だった。
**……が、**
連休で飛行機の席がまったく取れなかった……。いいんだ。
旅行は
**予定をたてている時が**
一番楽しいんだ。
…………。
（哀しい出来事になってしまった）

kadoi.印
双【すごろく】六
遊び方
●4人まで遊べます。各自の駒を用意します。
●順番にサイコロを振り、出た目の数だけ自分の駒を進めていってください。
●早くGOALにたどり着いた人が勝ちです。
……極楽とも修羅ともつかぬ、門井亜矢さんの徒然なる日々を一緒に巡りましょう。ところで、門井ファンなら本のカバーは取ってみましたね!?
START
1マスもどる
ちなつにささがきを教える
徹夜がキツいんですけど
トシのせいでしょうか….
仮眠のため2回休み
たちくらむ私。
なんじゃあのラフは…
立ちくらみでもう1回STARTから!!
いいですかー?
いいといってくれ…
だめ。
1マスもどる
運命の糸が切れる
3マスすすむ
わたくし、新高円寺までラーメンたべにいってきます。
しゃかしゃか
1回休み
あわわわわ
2マスすすむ
5マスもどる
おるすばん
しかも大ッキライな病院のホテルへ。
ガーン
留守番で1回休み
ユウキと遊ぶ
密航して5マスすすむ
108

わたくし今日
エレガントを目指して
パーマを
かけたら
パーフィーに
なって
しまったよ。
再度美容院へ。3マスもどる
織姫の夢を見る
1マスもどる
すんませんーーーー。
なんか
おもうように進まなくってーーー。
ならばもどってみる。10マス
2マスすすむ
なんだか
ズキズキ
してきました。
親知らずで1回休み
1マスもどる
GOAL!!
イラストを描いて、
漫画を描いて、
小説のカットを描いて、
ゲームを作る!!
イラスト集と漫画の単行本
というのをまず形にしたい
と思います。
1マスもどる
ジョナサンを飛ばす
うちにいると ゴハンたべるので
太るぅー
しかも
うちの母ってば
油物好いのよーー
お食事中。
1回休み
2マスもどる
はなちゃんに早くゴハンを
食べさせたいので2マスすすむ
今日は はなに いっぱい
おみやげを 買ったーー
猫かー!
カニカマの入ってるやつが好きなの。
ナマイキでしょう。
「セイシュンのザセツ」で1回休み

会員だけのスペシャル企画や特典がいっぱい！　18歳以上のファンなら誰でも入会できるよ！

**①エルフファンクラブ・オリジナル会員証の発行。**
**②情報満載の会報をCD－ROMで年３回発行。**

**動作環境**

- ●日本語版Windows95・98が適切な状態で動作する環境。
- ●CPU：Pentium133MHz以上（推奨166MHz以上）。
- ●必要メモリ：32MB以上（推奨48MB以上）。
- ●CD－ROMドライブ：８倍速以上。
- ●640×480ドット・High Color以上（推奨24bitカラー以上）が表示可能なディスプレイ及びビデオカード。
  ※ただし、ディスプレイ・ドライバがWindows95・98に正しく対応していること。
- ●PCM音声を再生可能な音源カード。※ただし、Windows95・98に正しく対応していること。

**③会報では毎号、さまざまなプレゼント企画も実施中。**

**④新作のダイレクトメールを発送。**

★2001年からは、さらにスゴイ数々の特典を実施する予定！
■入会時に必要な金額　入会費1,000円＋年会費2,000円＝3,000円
■有効期間　入会日より１年間有効
■入会方法　「氏名・生年月日の確認をとれるもの（運転免許証・健康保険証・パスポート等）のコピーと、氏名・住所・電話番号・生年月日・性別・職業・お持ちのパソコンの機種」を明記したメモを、現金書留にて3,000円（おつりのないように）とともに下記までお送りください。

**宛先➔〒166-8528　東京都杉並区高円寺北2-3-17　高円寺NKビル４Ｆ**
**株式会社エルフ「エルフファンクラブ」係**

エルフファンクラブ会報は、１年間に３回、CD－ROMで発行され、会員の手元に届けられている。会報は18禁なので、もちろん18歳以上であることが入会の条件となっている。

会員からの手紙やイラストを紹介する「お便りコーナー」や会員プレゼントといったレギュラー企画の他、ミニゲームや新作ソフト紹介など毎回充実した特集が設けられている。最新作のVol.40には、エルフ初期の名作『ぴんきい・ぽんきい（第１集）』が収録されていた。

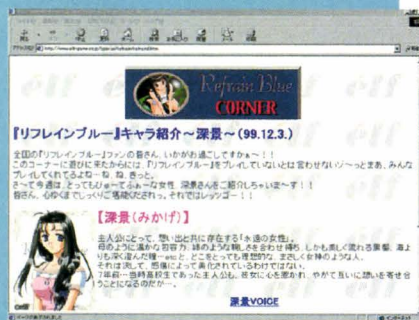
▲会報Vol.40の画面。毎号多彩な企画が楽しめる

## HOME PAGE guide

http://www.elf-game.co.jp

もっとエルフを知りたい！　そんなアナタは毎週金曜日に更新されている、エルフホームページへ今すぐアクセス!!　新作ソフトやグッズの紹介、ファンクラブの入会ご案内からエルフのスタッフ募集まで、あらゆるエルフ情報を網羅したボリュームたっぷりのホームページだ。

プレゼント企画やゲーム内容のQ&A、投稿イラストコーナーなど、参加できる楽しい企画がいっぱい……。おまけに、ムービーや壁紙のダウンロードもOK！

◆18歳未満の方はご覧になれませんので
ご了承ください。

▲「リフレインブルー」キャラクター紹介コーナー

### A 「リフレインブルー」非売品ポスター
10名様

パッケージ内のイラストを使用した、店頭告知用ポスター。

### B 「リフレインブルー」オリジナルテレホンカード
10名様

「永遠の海」からあなたを見つめ続ける、無垢な視線…。50度数のテレカ。

巻末のとじこみハガキのプレゼント記号AかBに○印を付け、ご郵送ください。〆切りは2000年９月末日の消印有効です。

FOR ADULT ONLY

# ELF SOFT LINE-UP

美少女ゲーム界のトップ・ブランド［エルフ］が贈る、珠玉のラインナップ！

**Windows95/98 COLLECTION**

※18歳未満の方はご購入になれません。※価格はすべて税抜です。

## 同級生

20世紀を代表する恋愛ゲームは、甘く、せつない夏物語……

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥8,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium133MHz以上（推奨166MHz以上）●必要メモリ：32ＭＢ以上（推奨48ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：８倍速以上●640×480ドット・High Colorの表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectX5.1以降に対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectX5.1以降に対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量350ＭＢ以上

## 同級生2

記録的な超ヒット作品。卒業前の冬を、キミは誰と過ごす？

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥9,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium100MHz以上（推奨133MHz以上）●必要メモリ：16ＭＢ以上（推奨32ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：４倍速以上●640×480ドット・256色以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量110ＭＢ以上

## 野々村病院の人々

ミステリアスな病院を舞台に、頭脳の限界に挑む推理ＡＶＧ

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／１枚）
●価格／￥7,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium75MHz以上●必要メモリ：16ＭＢ以上●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：推奨４倍速以上●640×480ドット・256色以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量１ＭＢ以上

## 河原崎家の一族

古い洋館、妖艶な女主人。淫靡な誘惑に禁断の扉が開く……

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／１枚）
●価格／￥7,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium100MHz以上（推奨133MHz以上）●必要メモリ：16ＭＢ以上（推奨32ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：４倍速以上●640×480ドット・256色以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量30ＭＢ以上

## 下級生

よりリアルに、もっとせつなく…。究極ともいえる恋愛ＳＬＧ

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥9,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium100MHz以上（推奨133MHz以上）●必要メモリ：16ＭＢ以上（推奨32ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：推奨４倍速以上●640×480ドット・256色以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量150ＭＢ以上（推奨320ＭＢ以上）

## 遺作

考えて、解く、サスペンスＡＶＧ。壮絶な知能戦の開幕……!!

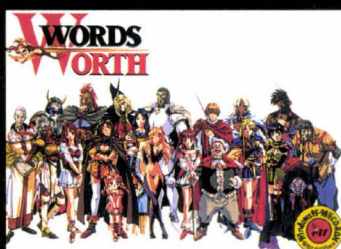
◆2000.3.31 Mac版・発売予定

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／１枚）
●価格／￥8,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium133MHz以上（推奨166MHz以上）●必要メモリ：32ＭＢ以上（推奨48ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：４倍速以上（推奨８倍速以上）●640×480ドット・High Color以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量160ＭＢ以上

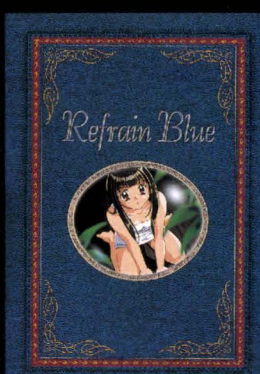
## 臭作

悪夢ふたたび！　天下御免の鬼畜男「臭作」の美学がここに

◆Mac版・好評発売中！

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／１枚）
●価格／￥8,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium100MHz以上（推奨133MHz以上）●必要メモリ：16ＭＢ以上（推奨32ＭＢ以上）●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：４倍速以上●640×480ドット・256色以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectXに対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectXに対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量60ＭＢ以上

## ワーズ・ワース

真実を語る石板をめぐって…

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥8,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：ＶＲＡＭが４ＭＢ以上の３Ｄアクセラレータカードを搭載している場合はPentium133MHz以上、３Ｄアクセラレータカードを搭載していない場合はPentium200MHz以上（アクセラレータカードのドライバがDirectX6.1以降に正しく対応していること）●必要メモリ：32ＭＢ以上●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：８倍速以上（ムービーを含めてフルインストールした場合は８倍速以下のドライブでも可）●640×480ドット・High Color以上が表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（ディスプレイドライバがDirectX6.1以降に正しく対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（サウンドドライバがDirectX6.1以降に正しく対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量370ＭＢ以上

## リフレインブルー

あの夏が、ずっと海で待っている。想い出は波の音とともに…

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥8,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium133MHz以上（推奨166MHz以上）●必要メモリ：32ＭＢ以上（推奨48ＭＢ以上）※Windows98SECOND EDITIONを使用の場合は48ＭＢ以上●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：８倍速以上●640×480ドット・Full Color（24bit）またはTrue Colorが表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectX6.1以降に正しく対応していること）●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectX6.1以降に正しく対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量400ＭＢ以上

## 恋姫

記憶からも消えかけた大切な約束。あの故郷へ帰らなければ…

●対応機種／Windows95・98対応マシーン（ＣＤ－ＲＯＭ／２枚）
●価格／￥6,800
●日本語Windows95・98が適切な状態で動作する環境●ＣＰＵ：Pentium133MHz以上（推奨166MHz以上）●必要メモリ：32ＭＢ以上（推奨48ＭＢ以上）※Windows98SECOND EDITIONを使用の場合は48ＭＢ以上●ＣＤ－ＲＯＭドライブ：８倍速以上●640×480ドット・High Colorが表示可能なディスプレイ及びアクセラレータカード（DirectX6.1以降に正しく対応していること）※ＶＲＡＭが２ＭＢ以上必要●ＰＣＭ音声を再生可能な音源カード（DirectX6.1以降に正しく対応していること）●Win95・98で動作可能なマウス●ＨＤＤ：空き容量200ＭＢ以上

◆通信販売に関しては「エルフユーザーサポート」係：TEL.03-3337-0995まで。（平日10時～18時、土曜12時～18時営業）

エルフ監修

# リフレインブルー完全ガイド

Refrain Blue Perfect Guide

*

STAFF

［誕生花／花言葉］

編集・制作進行　石川順子［シャクヤク／恥じらい］
編集・制作補助　田中英理子［菩提樹／夫婦愛］
ライティング　手賀沼らん［山吹／金運］
吾妻橋シュリ［ひなげし／浪費］
瀬戸音人［アカンサス／不死］
ゲーム解析・データデバッグ　代々木良栄［エキナケア／優しさ］
マップ制作協力　茂原雅人［スノーフレーク／記憶］
宗像知行［カーネーション／女性の愛］
カバー&本文デザイン　白井典子［林檎／誘惑］
カバー&ピンナップイラスト　門井亜矢［柳／憂い］
CGワーク　élf
Special Visual Effect　檀上康弘［マーガレット／恋占い］

Special Thanks To

田原勲［クロッカス／若返り］玉水香織［トネリコ／威厳］下田篤［うつぼぐさ／優しく癒す］蛭田昌人［けし／もろい愛］（élf）

監修・協力　㈱エルフ

平成12年4月25日　第1刷発行

編集人　高橋栄造［エレムルス／逆境］
発行人　金子陽一［オレガノ／輝き］
発行所　辰巳出版株式会社
〒160-0022　東京都新宿区新宿2丁目15番14号　辰巳ビル
TEL.03-5360-8088（代表）　FAX.03-5360-8951

写植・版下　有限会社平山写真植字社
印刷・製本　大日本印刷株式会社



参考文献：「366日の誕生花物語」植松黎・著（日本法令）